

令和 7 年度
高山市まちづくりアンケート調査
—報告書—

令和 7 年 8 月
高山市

目次

第1章 調査の概要

1	調査の目的	1
2	調査の期間	1
3	調査の項目	1
4	調査の方法	1
5	回収結果	1
6	標本の構成	2
7	その他	2

第2章 調査結果の分析

1 高山市への想いや生活環境について

1	高山市への「誇り」や「愛着」	3
2	高山市への定住意向	9
3	高山市の暮らしやすさ	18
4	日常生活での不安	26
5	働く場としての高山市の魅力	34

2 高山市の市政運営について

1	市政運営への関心	42
2	今後の重要課題	45
3	取り組みの現在の満足度	53
4	取り組みの今後の重要度	62

3 協働のまちづくりについて

1	まちづくり協議会への参加状況	72
2	町内会への加入状況	78

4 高山市のまちづくりに関するご意見など

	自由記述	86
--	------	----

第1章 調査の概要

1 調査の目的

高山市第八次総合計画の計画期間における市民意識の経年比較、評価検証等

2 調査の期間

令和7年5月14日～6月17日

3 調査の項目

○高山市への想いや生活環境について

- ・高山市への「誇り」や「愛着」
- ・高山市への定住意向
- ・高山市の暮らしやすさ
- ・日常生活での不安
- ・働く場としての高山市の魅力

○高山市の市政運営について

- ・市政運営への関心
- ・今後の重要課題
- ・高山市の取り組みに対する現在の満足度・今後の重要度

○協働のまちづくりについて

- ・まちづくり協議会への参加状況
- ・町内会への加入状況

○高山市のまちづくりに関するご意見など（自由記述）

4 調査の方法

調査地域 高山市内全地域

実施方法 郵送による配布、郵送・インターネットによる回答、無記名式

調査対象 18歳以上の市民、3,000人

抽出方法 令和7年5月1日現在の住民基本台帳から無作為抽出

5 回収結果

発送数 3,000人

回収数 1,235人

回収率 41.2%

6 標本の構成

		件数 (件)	構成比 (%)
性別	男性	511	41.4
	女性	609	49.3
	無回答（選択しない含む）	115	9.3
年齢	10・20代	58	4.7
	30代	121	9.8
	40代	179	14.5
	50代	194	15.7
	60代	269	21.8
	70代以上	403	32.6
	無回答	11	0.9
居住地域	高山地域	786	63.6
	東地区	68	5.5
	西地区	83	6.7
	南地区	94	7.6
	北地区	118	9.6
	山王地区	109	8.8
	江名子地区	53	4.3
	新宮地区	71	5.8
	三枝地区	39	3.2
	大八地区	68	5.5
	岩滝地区	12	1.0
	花里地区	71	5.8
	丹生川地域	57	4.6
	清見地域	44	3.6
	荘川地域	25	2.0
	一之宮地域	41	3.3
	久々野地域	51	4.1
	朝日地域	31	2.5
	高根地域	10	0.8
	国府地域	98	7.9
	上宝・奥飛騨温泉郷地域	56	4.5
	無回答	36	2.9

		件数 (件)	構成比 (%)
家族構成	単身世帯	119	9.6
	夫婦のみ	344	27.9
	二世帯世帯 （うち中学生以下の子と同居）	540 (175)	43.7 (14.2)
	三世帯世帯 （うち中学生以下の子と同居）	181 (95)	14.7 (7.7)
	その他（※1）	27	2.2
	無回答	24	1.9
職業	農林畜産業	71	5.8
	自営業	137	11.1
	会社員・公務員・団体職員	406	32.9
	パート・アルバイト・内職	220	17.8
	家事従事者	63	5.1
	学生	9	0.7
	無職	280	22.7
	その他（※2）	27	2.2
定住年数	無回答	22	1.8
	1年未満	19	1.5
	1年以上～5年未満	45	3.6
	5年以上～10年未満	41	3.3
	10年以上～20年未満	73	5.9
	20年以上	1,046	84.7
	無回答	11	0.9
居住形態	持ち家（分譲マンション・家族所有含む）	1,102	89.2
	借家（アパート含む）	112	9.1
	間借	2	0.2
	社宅・寮	6	0.5
	その他（※3）	2	0.2
	無回答	11	0.9
「その他」の内容			
※1 四世代世帯、兄弟と同居、 など			
※2 会社役員 など			
※3 施設入所 など			

7 その他

・この報告書における「回答率」は、次の計算式により算出している。

回答率＝回答数／標本数

回答率は百分率（％）で、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計値が必ずしも100％とならない。また、2つ以上の回答を求めたものについての合計値は100％を超える。

第2章 調査結果の分析

1 高山市への想いや生活環境について

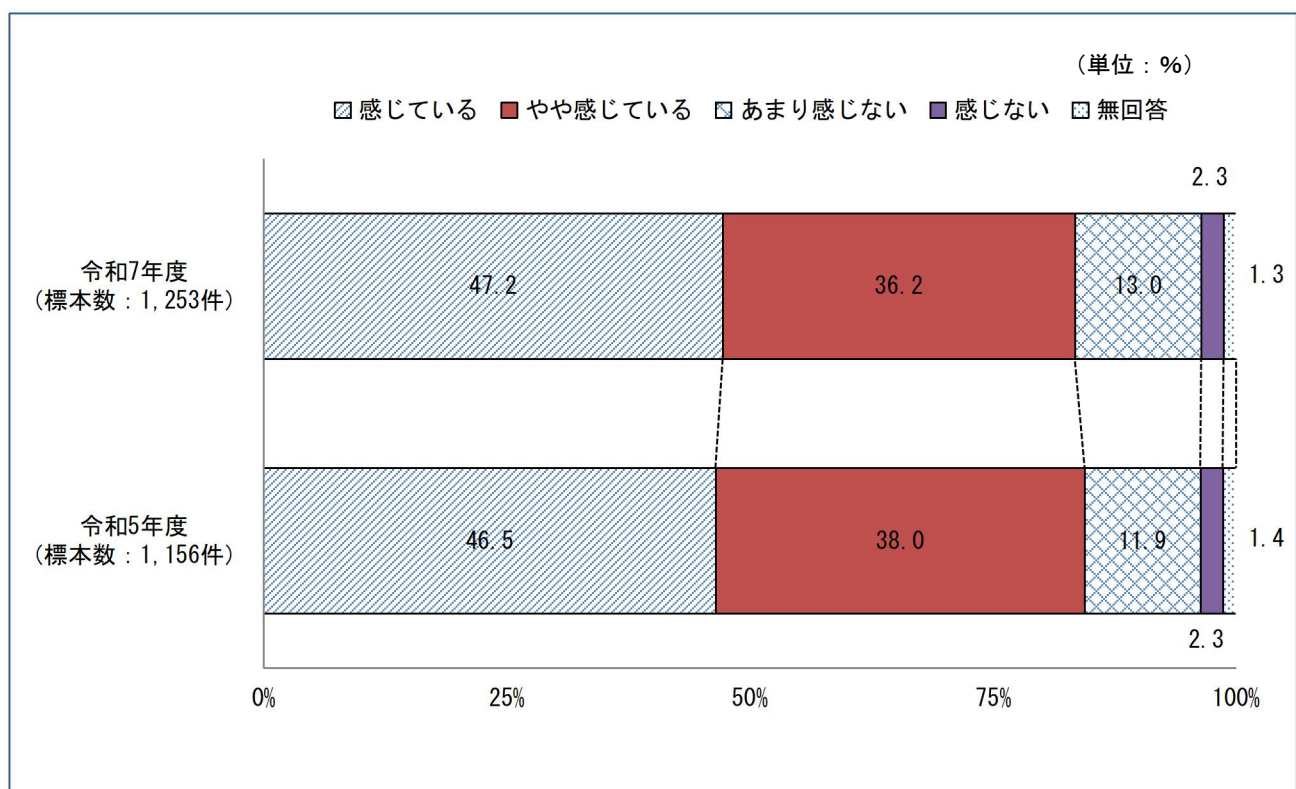
1 高山市への「誇り」や「愛着」

- ・「感じている」の割合が最も高い。
- ・「感じている」の割合については、前回（R5）の調査結果に比べ0.7ポイント上昇している。一方、「やや感じている」の割合が1.8ポイント低下している。
- ・「感じている」と「やや感じている」を合わせると83.4%を占めているが、前回（R5）の調査結果（84.4%）に比べ1.0ポイント低下している。

問1 あなたは、高山市に対し「誇り」や「愛着」を感じていますか。（1つに○印）

	回答数（件）	回答率（％）
感じている	583	47.2
やや感じている	447	36.2
あまり感じない	161	13.0
感じない	28	2.3
無回答	16	1.3
計	1,235	

（標本数：1,235件）



属性別集計（年齢別、居住地域別）

		標本数 (件)	高山市への「誇り」や「愛着」(%)				
			感じている	やや感じている	あまり感じない	感じない	無回答
年齢	10代・20代	58	55.2	31.0	13.8	0.0	0.0
	30代	121	34.7	38.8	19.0	6.6	0.8
	40代	179	39.7	44.1	12.3	3.9	0.0
	50代	194	42.8	38.1	17.5	1.5	0.0
	60代	269	50.2	35.3	12.6	1.5	0.4
	70代以上	403	53.8	32.8	9.4	1.0	3.0
居住地域	高山地域	786	47.7	36.0	12.8	2.2	1.3
	東地区	68	44.1	29.4	20.6	2.9	2.9
	西地区	83	50.6	36.1	8.4	3.6	1.2
	南地区	94	39.4	43.6	13.8	3.2	0.0
	北地区	118	47.5	33.9	16.9	1.7	0.0
	山王地区	109	54.1	29.4	11.0	2.8	2.8
	江名子地区	53	39.6	47.2	11.3	1.9	0.0
	新宮地区	71	46.5	35.2	14.1	1.4	2.8
	三枝地区	39	48.7	41.0	7.7	2.6	0.0
	大八地区	68	50.0	35.3	11.8	1.5	1.5
	岩滝地区	12	50.0	33.3	16.7	0.0	0.0
	花里地区	71	53.5	36.6	8.5	0.0	1.4
	丹生川地域	57	57.9	33.3	8.8	0.0	0.0
	清見地域	44	43.2	40.9	15.9	0.0	0.0
	荘川地域	25	48.0	24.0	16.0	8.0	4.0
	一之宮地域	41	36.6	36.6	26.8	0.0	0.0
	久々野地域	51	41.2	35.3	13.7	5.9	3.9
	朝日地域	31	54.8	32.3	12.9	0.0	0.0
	高根地域	10	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	国府地域	98	46.9	40.8	12.2	0.0	0.0
	上宝・奥飛騨温泉郷地域	56	42.9	35.7	16.1	5.4	0.0

【年齢別】

- ・「感じている」と「やや感じている」を合わせた割合は、70代以上（86.6%）が最も高く、30代（73.5%）が最も低い。

【居住地域別】

- ・「感じている」と「やや感じている」を合わせた割合は、高根地域（100.0%）が最も高く、次いで丹生川地域（91.2%）、花里地区（90.1%）が高い。一方、荘川地域（72.0%）が最も低く、次いで一之宮地域（73.2%）、東地区（73.5%）が低い。

属性別集計（定住年数別）

		標本数 (件)	高山市への「誇り」や「愛着」(%)				
			感じている	やや感じている	あまり感じない	感じない	無回答
定住年数	1年未満	19	21.1	36.8	36.8	5.3	0.0
	1年以上～5年未満	45	31.1	44.4	13.3	11.1	0.0
	5年以上～10年未満	41	31.7	41.5	19.5	7.3	0.0
	10年以上～20年未満	73	42.5	41.1	15.1	1.4	0.0
	20年以上	1,046	49.6	35.1	12.3	1.6	1.3

【定住年数別】

- ・「感じている」と「やや感じている」を合わせた割合は、20年以上（84.7%）が最も高く、1年未満（57.9%）が最も低い。

1-2 高山市への「誇り」や「愛着」を感じるところ

- ・「自然環境」の割合が最も多い。
- ・順位については前回（R5）の調査結果と比べると「町並み・景観」と「歴史・文化」、「住民活動」と「教育環境」は入れ替わっているが、ほぼ同じである。

問1-2 問1で、「感じている」または「やや感じている」に○をつけた方に伺います。どんなところに「誇り」や「愛着」を感じますか。（3つまで○印）

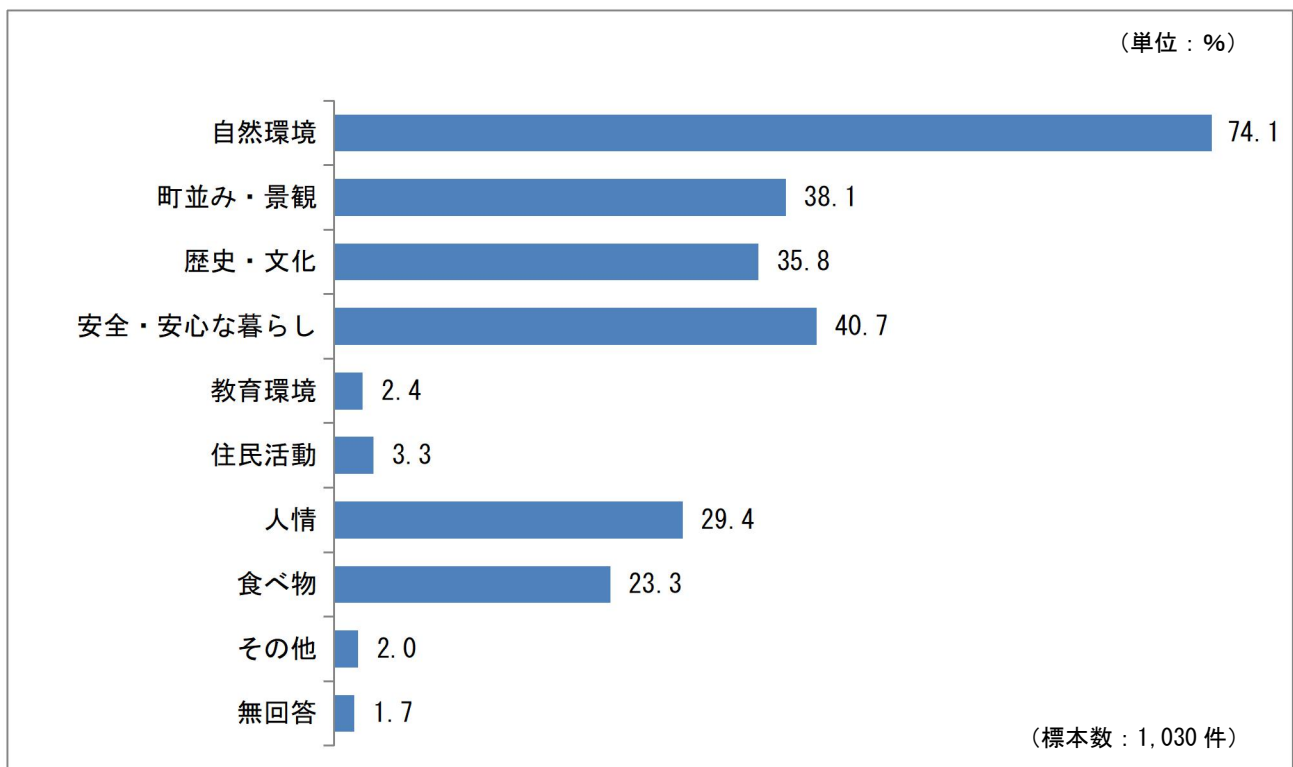
順位		回答数 (件)	回答率 (%)	前回（R5）	
				順位	回答率(%)
1	自然環境	763	74.1	1	76.5
2	安全・安心な暮らし	419	40.7	2	38.7
3	町並み・景観	392	38.1	4	35.2
4	歴史・文化	369	35.8	3	36.1
5	人情	303	29.4	5	28.7
6	食べ物	240	23.3	6	24.1
7	住民活動	34	3.3	8	2.4
8	教育環境	25	2.4	7	2.7
	その他	21	2.0		1.5
	無回答	17	1.7		1.3
計		2,583			

（標本数：1,030 件）

（標本数：976 件）

※「その他」の内容

- ・「生まれ育った場所だから」、「観光地として有名なところ」 など



属性別集計（年齢別、居住地域別、定住年数別）

		標本数 (件)	高山市への「誇り」や「愛着」を感じる場所(%)									
			自然環境	安全・安心な暮らし	町並み・景観	歴史・文化	人情	食べ物	住民活動	教育環境	その他	無回答
年齢	10代・20代	50	58.0	40.0	66.0	22.0	38.0	18.0	2.0	4.0	2.0	6.0
	30代	89	61.8	34.8	56.2	31.5	23.6	31.5	1.1	6.7	2.2	2.2
	40代	150	68.0	30.7	44.7	32.7	18.7	34.7	0.7	4.7	2.7	2.7
	50代	157	66.2	36.3	38.9	35.7	25.5	30.6	1.9	1.9	2.5	2.5
	60代	230	83.0	37.8	38.3	45.2	26.5	20.9	2.2	0.9	3.0	0.9
	70代以上	349	79.9	50.1	25.5	34.4	38.1	15.5	6.6	1.4	0.9	0.6
居住地域	高山地域	658	69.5	39.2	45.7	39.4	29.0	24.2	2.4	2.6	1.7	1.2
	東地区	50	70.0	48.0	46.0	50.0	22.0	18.0	2.0	4.0	0.0	2.0
	西地区	72	72.2	43.1	51.4	38.9	19.4	23.6	1.4	0.0	4.2	0.0
	南地区	78	62.8	37.2	46.2	43.6	24.4	29.5	2.6	2.6	0.0	1.3
	北地区	96	69.8	44.8	43.8	36.5	38.5	13.5	2.1	5.2	2.1	1.0
	山王地区	91	71.4	31.9	52.7	50.5	23.1	27.5	2.2	0.0	4.4	0.0
	江名子地区	46	58.7	34.8	47.8	23.9	39.1	30.4	6.5	6.5	0.0	0.0
	新宮地区	58	75.9	37.9	43.1	32.8	25.9	31.0	5.2	0.0	1.7	0.0
	三枝地区	35	71.4	48.6	37.1	45.7	31.4	14.3	0.0	2.9	2.9	0.0
	大八地区	58	67.2	36.2	39.7	34.5	32.8	24.1	0.0	0.0	0.0	6.9
	岩滝地区	10	70.0	20.0	30.0	30.0	30.0	30.0	10.0	30.0	0.0	10.0
	花里地区	64	73.4	37.5	45.3	34.4	35.9	28.1	1.6	1.6	0.0	0.0
	丹生川地域	52	73.1	34.6	34.6	38.5	25.0	21.2	1.9	0.0	1.9	5.8
	清見地域	37	78.4	43.2	16.2	24.3	37.8	32.4	8.1	2.7	0.0	2.7
	荘川地域	18	83.3	50.0	11.1	38.9	22.2	22.2	5.6	5.6	5.6	5.6
	一之宮地域	30	86.7	53.3	20.0	36.7	23.3	23.3	3.3	6.7	3.3	0.0
	久々野地域	39	92.3	48.7	33.3	25.6	23.1	10.3	5.1	5.1	2.6	0.0
	朝日地域	27	85.2	40.7	18.5	37.0	40.7	29.6	3.7	0.0	3.7	0.0
	高根地域	10	100.0	50.0	0.0	30.0	20.0	40.0	0.0	10.0	0.0	0.0
	国府地域	86	81.4	46.5	29.1	26.7	27.9	19.8	7.0	1.2	2.3	3.5
	上宝・奥飛騨温泉郷地域	44	86.4	34.1	11.4	22.7	38.6	11.4	4.5	0.0	4.5	0.0

【年齢別】

- ・「10代・20代」を除いて、全ての年代で「自然環境」の割合が最も高い。「10代・20代」は「町並み・景観」の割合が最も高い。
- ・2番目に割合が高いのは、「町並み・景観」と回答している年代が多い。

【居住地域別】

- ・全ての地域で「自然環境」の割合が最も高い。
- ・高山地域よりも、支所地域の方が「自然環境」の割合が高い傾向にある。

属性別集計（年齢別、居住地域別、定住年数別）

		標本数 (件)	高山市への「誇り」や「愛着」を感じる場所(%)									
			自然環境	安全・安心な暮らし	町並み・景観	歴史・文化	人情	食べ物	住民活動	教育環境	その他	無回答
定住年数	1年未満	11	54.5	27.3	54.5	9.1	36.4	9.1	0.0	0.0	0.0	9.1
	1年以上～5年未満	34	58.8	35.3	67.6	29.4	20.6	29.4	8.8	8.8	5.9	2.9
	5年以上～10年未満	30	66.7	43.3	53.3	43.3	26.7	26.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	10年以上～20年未満	61	77.0	24.6	49.2	39.3	19.7	26.2	3.3	6.6	1.6	1.6
	20年以上	886	75.1	42.1	35.6	36.0	30.4	22.9	3.3	2.0	2.0	1.6

【定住年数別】

- ・「1年以上～5年未満」を除いて、全ての年数で「自然環境」の割合が最も高い（1年未満においては「町並み・景観」と同率）。
- ・「1年以上～5年未満」は「町並み・景観」の割合が最も高い。

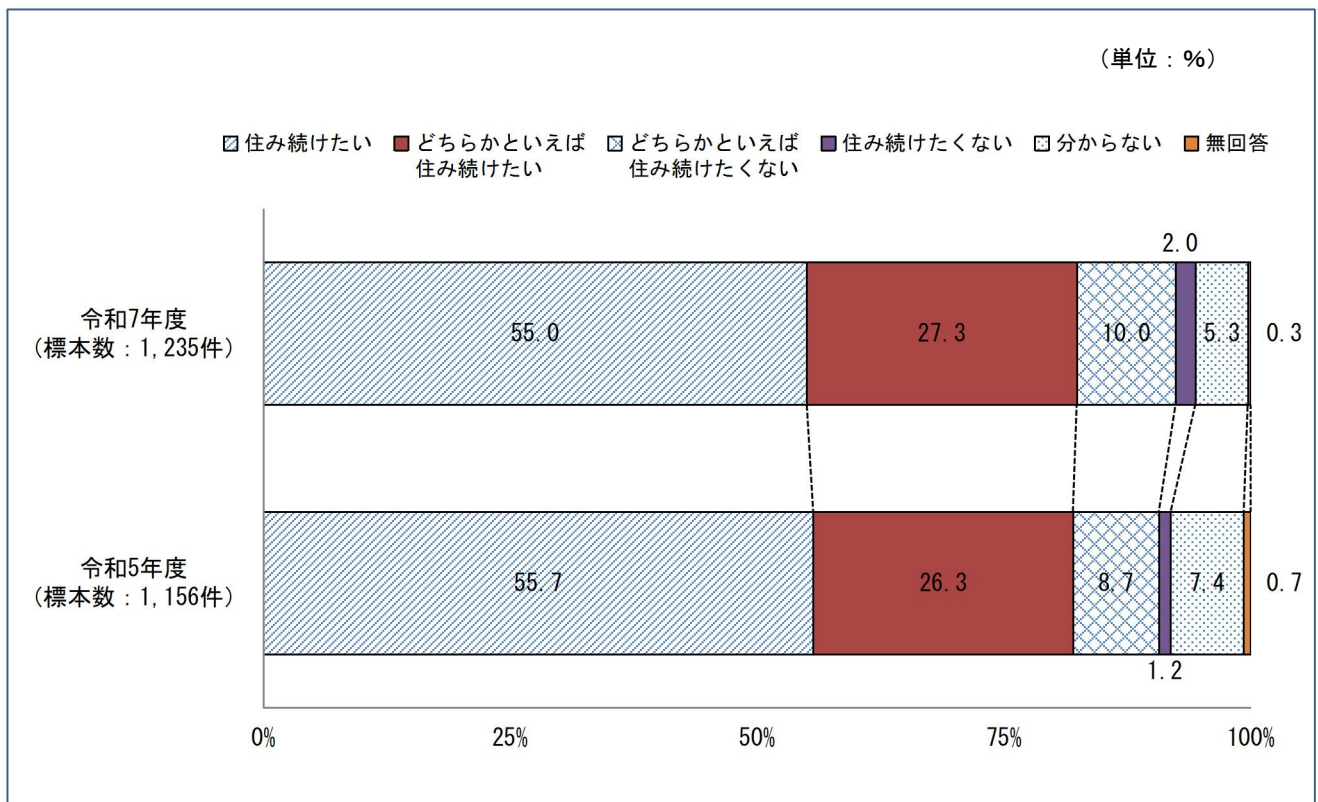
2 高山市への定住意向

- ・「住み続けたい」の割合が最も高い。
- ・「住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」を合わせると 82.3%を占めており、前回（R5）の調査結果（82.0%）に比べ 0.3 ポイント上昇している。

問2 あなたは、これからも高山市に住み続けたいと思いますか。（1つに○印）

	回答数 (件)	回答率 (%)
住み続けたい	679	55.0
どちらかといえば住み続けたい	337	27.3
どちらかといえば住み続けたくない	124	10.0
住み続けたくない	25	2.0
分からない	66	5.3
無回答	4	0.3
計	1,235	

(標本数：1,235 件)



属性別集計（年齢別、居住地域別）

		標本数(件)	高山市への定住意向(%)					
			住み続けたい	住み続けたい どちらかといえば	住み続けたくない どちらかといえば	住み続けたくない	分からない	無回答
年齢	10代・20代	58	36.2	41.4	13.8	1.7	6.9	0.0
	30代	121	38.0	37.2	11.6	3.3	9.9	0.0
	40代	179	41.3	34.6	12.8	3.9	7.3	0.0
	50代	194	45.4	33.5	12.9	2.1	5.7	0.5
	60代	269	59.1	23.4	10.8	1.9	4.5	0.4
	70代以上	403	70.7	19.1	5.7	1.0	3.2	0.2
居住地域	高山地域	786	54.1	28.2	9.9	2.3	5.5	0.0
	東地区	68	52.9	26.5	11.8	1.5	7.4	0.0
	西地区	83	47.0	37.3	4.8	3.6	7.2	0.0
	南地区	94	48.9	27.7	7.4	3.2	12.8	0.0
	北地区	118	55.1	29.7	8.5	2.5	4.2	0.0
	山王地区	109	54.1	26.6	13.8	0.9	4.6	0.0
	江名子地区	53	62.3	18.9	11.3	3.8	3.8	0.0
	新宮地区	71	50.7	32.4	11.3	2.8	2.8	0.0
	三枝地区	39	59.0	30.8	10.3	0.0	0.0	0.0
	大八地区	68	57.4	25.0	8.8	2.9	5.9	0.0
	岩滝地区	12	33.3	58.3	8.3	0.0	0.0	0.0
	花里地区	71	63.4	19.7	12.7	1.4	2.8	0.0
	丹生川地域	57	59.6	24.6	12.3	0.0	3.5	0.0
	清見地域	44	54.5	31.8	6.8	4.5	2.3	0.0
	荘川地域	25	48.0	28.0	24.0	0.0	0.0	0.0
	一之宮地域	41	51.2	17.1	17.1	0.0	12.2	2.4
	久々野地域	51	66.7	17.6	5.9	2.0	7.8	0.0
	朝日地域	31	61.3	25.8	12.9	0.0	0.0	0.0
	高根地域	10	50.0	40.0	0.0	0.0	10.0	0.0
	国府地域	98	58.2	28.6	6.1	1.0	5.1	1.0
	上宝・奥飛騨温泉郷地域	56	51.8	23.2	12.5	5.4	7.1	0.0

【年齢別】

- ・「住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」を合わせた割合は、70代以上（89.8%）が最も高く、30代（75.2%）が最も低い。

【居住地域別】

- ・「住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」を合わせた割合は、岩滝地区（91.6%）が最も高く、次いで高根地域（90.0%）、三枝地区（89.8%）が高い。一方、一之宮地域（68.3%）が最も低く、次いで上宝・奥飛騨温泉郷地域（75.0%）、荘川地域（76.0%）が低い。

属性別集計（定住年数別、居住形態別）

		標本数(件)	高山市への定住意向(%)					
			住み続けたい	どちらかといえば住み続けたい	どちらかといえば住み続けたくない	住み続けたくない	分からない	無回答
定住年数	1年未満	19	36.8	21.1	15.8	21.1	5.3	0.0
	1年以上～5年未満	45	35.6	42.2	4.4	6.7	11.1	0.0
	5年以上～10年未満	41	31.7	31.7	29.3	0.0	7.3	0.0
	10年以上～20年未満	73	39.7	32.9	11.0	5.5	11.0	0.0
	20年以上	1,046	58.2	26.3	9.4	1.2	4.6	0.3
居住形態	持ち家（分譲マンション含む）	1,102	57.0	26.4	10.1	1.5	4.8	0.3
	借家（アパート含む）	112	38.4	38.4	8.0	5.4	9.8	0.0
	間借	2	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	社宅・寮	6	0.0	16.7	33.3	33.3	16.7	0.0
	その他	2	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0

【定住年数別】

- ・「住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」を合わせた割合は、20年以上（84.5%）が最も高く、1年未満（57.9%）が最も低い。

【居住形態別】

- ・「住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」を合わせた割合は、持ち家（83.4%）が最も高く、社宅・寮（16.7%）が最も低い。

2-2 高山市に住み続けたくない理由

- ・「道路事情や交通の便が悪い」の割合が最も高い。
- ・前回（R5）の調査結果と比較すると上位2位に変動はない（R5については「地域行事や近所付き合いが面倒」が同率）。
- ・前回（R5）の調査結果に比べ割合が特に変動したのは、「道路事情や交通の便が悪い」が14.6ポイント上昇し、「地域行事や近所付き合いが面倒」が13.6ポイント低下している。

問2-2 問2で、「住み続けたくない」または「どちらかといえば住み続けたくない」に○をつけた方に伺います。高山市に住み続けたくない主な理由は何ですか。（3つまで○印）

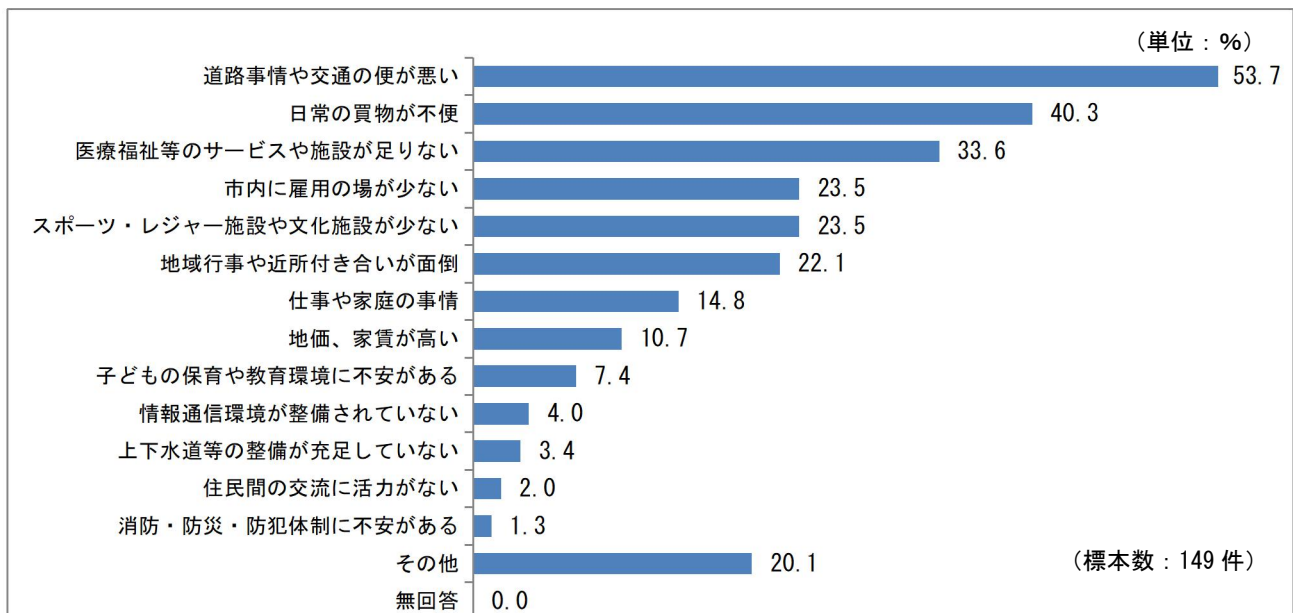
順位		回答数 (件)	回答率 (%)	前回 (R5)	
				順位	回答率
1	道路事情や交通の便が悪い	80	53.7	1	39.1
2	日常の買物が不便	60	40.3	2	35.7
3	医療福祉等のサービスや施設が足りない	50	33.6	5	28.7
4	市内に雇用の場が少ない	35	23.5	6	27.0
	スポーツ・レジャー施設や文化施設が少ない	35	23.5	4	33.0
6	地域行事や近所付き合いが面倒	33	22.1	2	35.7
7	仕事や家庭の事情	22	14.8	7	17.4
8	地価、家賃が高い	16	10.7	9	9.6
9	こどもの保育や教育環境に不安がある	11	7.4	8	13.9
10	情報通信環境が整備されていない	6	4.0	10	2.6
11	上下水道等の整備が充足していない	5	3.4	13	0.0
12	住民間の交流に活力がない	3	2.0	10	2.6
13	消防・防災・防犯体制に不安がある	2	1.3	12	1.7
	その他	30	20.1		24
	無回答	0	0.0		0
計		388			

（標本数：149件）

（標本数：115件）

※「その他」の内容

- ・「冬の生活が厳しい（寒さ、除雪の苦労など）」、「何をするにも不便」など



属性別集計(年齢別)

		年齢					
		10代・20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
標本数(件)		9	18	30	29	34	27
高山市に住み続けたくない理由(%)	道路事情や交通の便が悪い	44.4	33.3	56.7	44.8	61.8	66.7
	日常の買物が不便	44.4	33.3	30.0	31.0	41.2	59.3
	医療福祉等のサービスや施設が足りない	0.0	11.1	23.3	51.7	38.2	44.4
	市内に雇用の場が少ない	33.3	38.9	16.7	31.0	20.6	11.1
	スポーツ・レジャー施設や文化施設が少ない	33.3	44.4	23.3	13.8	17.6	22.2
	地域行事や近所付き合いが面倒	22.2	27.8	16.7	37.9	20.6	11.1
	仕事や家庭の事情	44.4	5.6	20.0	17.2	8.8	11.1
	地価、家賃が高い	11.1	33.3	10.0	10.3	5.9	3.7
	こどもの保育や教育環境に不安がある	0.0	16.7	16.7	3.4	0.0	7.4
	情報通信環境が整備されていない	11.1	5.6	6.7	3.4	2.9	0.0
	上下水道等の整備が充足していない	0.0	0.0	6.7	0.0	5.9	3.7
	住民間の交流に活力がない	0.0	0.0	3.3	3.4	0.0	3.7
	消防・防災・防犯体制に不安がある	0.0	5.6	0.0	0.0	2.9	0.0
	その他	11.1	0.0	30.0	13.8	26.5	25.9
	無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

【年齢別】

- ・30代、50代を除いて、「道路事情や交通の便が悪い」の割合が最も高い(10代・20代においては、「日常の買物が不便」「仕事や家庭の事情」が同率)。
- ・30代は「スポーツ・レジャー施設や文化施設が少ない」の割合が高い。
- ・50代は「医療福祉等のサービスや施設が足りない」の割合が高い。
- ・住み続けたくない理由の割合が高い項目を見ると、各年代においてばらつきがある。

属性別集計（居住地域別）

		居住地域											
		高山地域	東地区	西地区	南地区	北地区	山王地区	江名子地区	新宮地区	三枝地区	大八地区	岩滝地区	花里地区
標本数（件）		96	9	7	10	13	16	8	10	4	8	1	10
高山市に住み続けたくない理由（％）	道路事情や交通の便が悪い	51.0	66.7	57.1	30.0	61.5	50.0	50.0	50.0	25.0	75.0	0.0	40.0
	日常の買物が不便	27.1	0.0	28.6	20.0	15.4	31.3	37.5	40.0	75.0	50.0	0.0	10.0
	医療福祉等のサービスや施設が足りない	30.2	22.2	14.3	30.0	46.2	43.8	25.0	30.0	25.0	25.0	0.0	20.0
	市内に雇用の場が少ない	21.9	33.3	0.0	10.0	30.8	25.0	12.5	40.0	25.0	12.5	100.0	10.0
	スポーツ・レジャー施設や文化施設が少ない	33.3	22.2	28.6	50.0	23.1	37.5	37.5	60.0	25.0	25.0	0.0	20.0
	地域行事や近所付き合いが面倒	17.7	33.3	0.0	20.0	23.1	18.8	12.5	0.0	50.0	25.0	0.0	10.0
	仕事や家庭の事情	14.6	11.1	28.6	20.0	15.4	6.3	12.5	10.0	0.0	0.0	100.0	30.0
	地価、家賃が高い	15.6	33.3	0.0	20.0	30.8	6.3	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	30.0
	こどもの保育や教育環境に不安がある	5.2	0.0	0.0	10.0	7.7	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	10.0
	情報通信環境が整備されていない	4.2	11.1	0.0	30.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	上下水道等の整備が充足していない	4.2	11.1	14.3	0.0	7.7	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	住民間の交流に活力がない	2.1	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	消防・防災・防犯体制に不安がある	2.1	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0
	その他	22.9	11.1	28.6	20.0	15.4	6.3	50.0	20.0	25.0	37.5	0.0	40.0
	無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

属性別集計（居住地域別）

		居住地域								
		丹生川地域	清見地域	莊川地域	一之宮地域	久々野地域	朝日地域	高根地域	国府地域	上宝・奥飛騨温泉郷地域
標本数（件）		7	5	6	7	4	4	0	7	10
高山市に住み続けたくない理由（％）	道路事情や交通の便が悪い	28.6	60.0	16.7	71.4	75.0	75.0	—	71.4	70.0
	日常の買物が不便	57.1	80.0	83.3	57.1	75.0	50.0	—	42.9	80.0
	医療福祉等のサービスや施設が足りない	28.6	40.0	33.3	28.6	25.0	50.0	—	71.4	50.0
	市内に雇用の場が少ない	42.9	20.0	33.3	28.6	50.0	0.0	—	14.3	10.0
	スポーツ・レジャー施設や文化施設が少ない	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	—	14.3	0.0
	地域行事や近所付き合いが面倒	42.9	40.0	16.7	42.9	25.0	75.0	—	28.6	10.0
	仕事や家庭の事情	14.3	60.0	16.7	14.3	0.0	0.0	—	14.3	10.0
	地価、家賃が高い	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0
	こどもの保育や教育環境に不安がある	14.3	0.0	16.7	0.0	0.0	50.0	—	14.3	10.0
	情報通信環境が整備されていない	0.0	0.0	0.0	28.6	0.0	0.0	—	0.0	0.0
	上下水道等の整備が充足していない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	14.3	0.0
	住民間の交流に活力がない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	14.3	0.0
	消防・防災・防犯体制に不安がある	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0
	その他	28.6	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	—	28.6	20.0
	無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0

【居住地域別】

※居住地域の標本数が少ないため、分析は行わない。

属性別集計（定住年数別）

		定住年数				
		1年未満	1年以上～5年未満	5年以上～10年未満	10年以上～20年未満	20年以上
標本数（件）		7	5	12	12	111
高山市に住み続けたくない理由（％）	道路事情や交通の便が悪い	71.4	40.0	33.3	50.0	55.9
	日常の買物が不便	57.1	40.0	25.0	50.0	40.5
	医療福祉等のサービスや施設が足りない	0.0	0.0	25.0	25.0	39.6
	市内に雇用の場が少ない	0.0	20.0	33.3	25.0	24.3
	スポーツ・レジャー施設や文化施設が少ない	57.1	20.0	41.7	16.7	19.8
	地域行事や近所付き合いが面倒	0.0	0.0	16.7	25.0	25.2
	仕事や家庭の事情	28.6	60.0	16.7	25.0	10.8
	地価、家賃が高い	14.3	40.0	25.0	8.3	8.1
	こどもの保育や教育環境に不安がある	0.0	0.0	16.7	8.3	7.2
	情報通信環境が整備されていない	14.3	20.0	8.3	0.0	2.7
	上下水道等の整備が充足していない	0.0	20.0	0.0	0.0	3.6
	住民間の交流に活力がない	0.0	0.0	0.0	0.0	2.7
	消防・防災・防犯体制に不安がある	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8
	その他	14.3	0.0	16.7	25.0	21.6
	無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

【定住年数別】

- ・ 1年未満、10年以上は「道路事情や交通の便が悪い」の割合が最も高い（10年以上～20年未満は「日常の買物が不便」が同率）。

属性別集計（居住形態別）

		居住形態				
		持ち家（分譲マンション・家族所有含む）	借家（アパート含む）	間借	社宅・寮	その他
標本数（件）		127	15	1	4	1
高山市に住み続けたくない理由（％）	道路事情や交通の便が悪い	54.3	46.7	0.0	75.0	100.0
	日常の買物が不便	40.9	40.0	0.0	50.0	0.0
	医療福祉等のサービスや施設が足りない	38.6	6.7	0.0	0.0	0.0
	市内に雇用が少ない	26.0	13.3	0.0	0.0	0.0
	スポーツ・レジャー施設や文化施設が少ない	20.5	46.7	0.0	25.0	0.0
	地域行事や近所付き合いが面倒	26.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	仕事や家庭の事情	13.4	13.3	0.0	75.0	0.0
	地価、家賃が高い	6.3	53.3	0.0	0.0	0.0
	こどもの保育や教育環境に不安がある	7.1	6.7	0.0	25.0	0.0
	情報通信環境が整備されていない	3.1	13.3	0.0	0.0	0.0
	上下水道等の整備が充足していない	3.1	6.7	0.0	0.0	0.0
	住民間の交流に活力がない	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0
	消防・防災・防犯体制に不安がある	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	21.3	13.3	100.0	0.0	0.0
	無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

【居住形態別】

- ・持ち家は「道路事情や交通の便が悪い」の割合が最も高い。

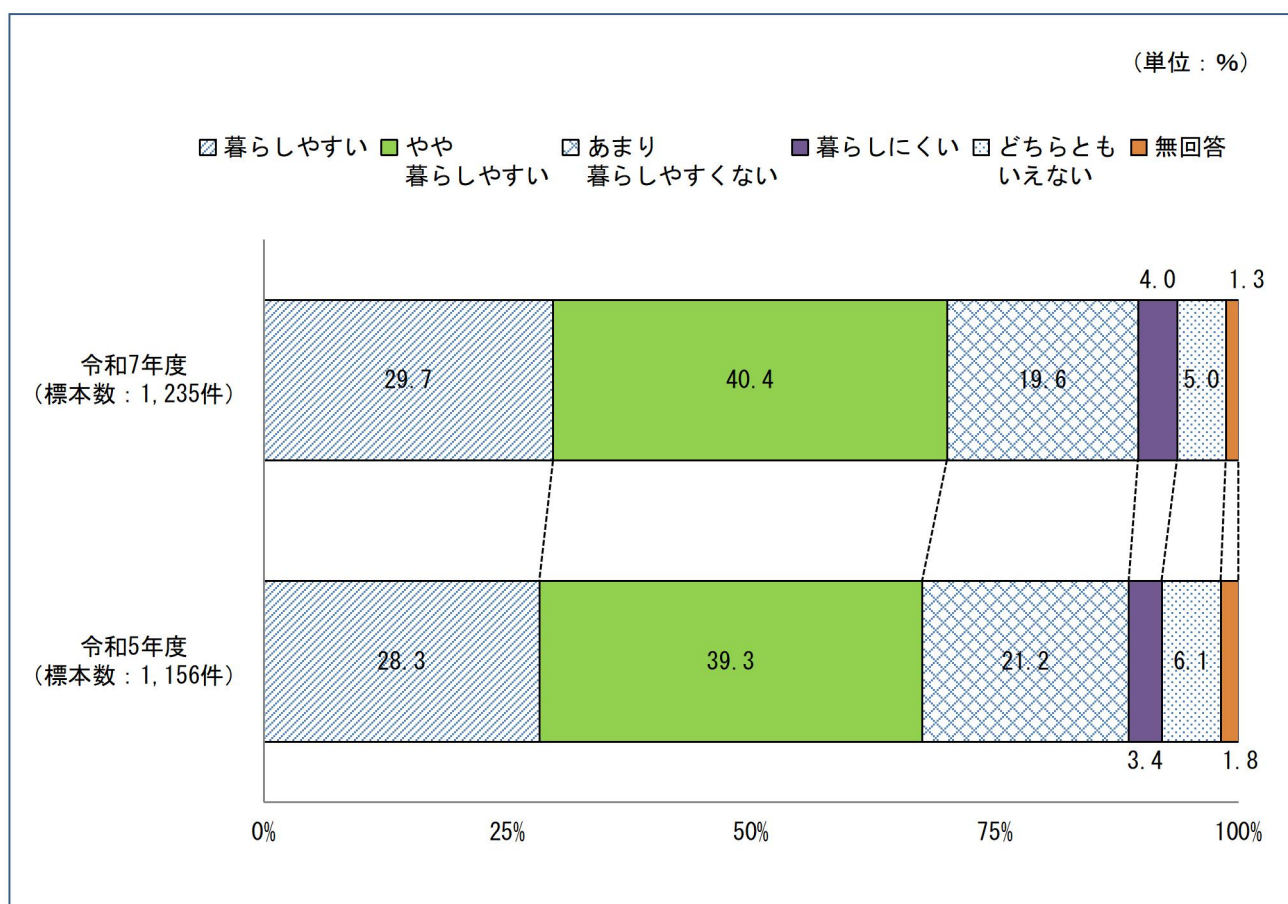
3 高山市の暮らしやすさ

- ・「やや暮らしやすい」の割合が最も高い。
- ・「暮らしやすい」と「やや暮らしやすい」を合わせると 70.1%を占めており、前回（R5）の調査結果（67.6%）に比べ 2.5 ポイント上昇している。

問3 全体的に、高山市の暮らしやすさについてどのようにお考えですか。（1つに○印）

	回答数 (件)	回答率 (%)
暮らしやすい	367	29.7
やや暮らしやすい	499	40.4
あまり暮らしやすくない	242	19.6
暮らしにくい	49	4.0
どちらともいえない	62	5.0
無回答	16	1.3
計	1,235	

(標本数：1,235 件)



属性別集計（年齢別、居住地域別）

		標本数 (件)	高山市の暮らしやすさ（％）					
			暮らしやすい	やすい やや暮らし	やすい あまり暮らし	暮らしにくい	ない どちらともいえ	無回答
年齢	１０代・２０代	58	44.8	36.2	15.5	1.7	1.7	0.0
	３０代	121	21.5	44.6	19.8	5.8	7.4	0.8
	４０代	179	24.6	44.1	22.3	5.6	3.4	0.0
	５０代	194	24.2	43.8	23.7	4.1	4.1	0.0
	６０代	269	27.9	41.3	21.2	5.2	3.0	1.5
	７０代以上	403	36.5	36.7	15.4	2.0	6.7	2.7
居住地域	高山地域	786	30.4	41.9	17.6	3.4	5.6	1.1
	東地区	68	32.4	39.7	17.6	7.4	2.9	0.0
	西地区	83	27.7	50.6	10.8	4.8	6.0	0.0
	南地区	94	23.4	42.6	23.4	5.3	4.3	1.1
	北地区	118	28.8	49.2	14.4	2.5	5.1	0.0
	山王地区	109	36.7	35.8	17.4	0.9	9.2	0.0
	江名子地区	53	22.6	50.9	15.1	5.7	5.7	0.0
	新宮地区	71	29.6	38.0	23.9	4.2	2.8	1.4
	三枝地区	39	41.0	33.3	15.4	0.0	7.7	2.6
	大八地区	68	27.9	36.8	22.1	2.9	7.4	2.9
	岩滝地区	12	33.3	33.3	16.7	0.0	16.7	0.0
	花里地区	71	36.6	38.0	15.5	1.4	2.8	5.6
	丹生川地域	57	33.3	38.6	22.8	3.5	1.8	0.0
	清見地域	44	20.5	40.9	25.0	9.1	4.5	0.0
	荘川地域	25	16.0	36.0	40.0	4.0	0.0	4.0
	一之宮地域	41	17.1	39.0	24.4	4.9	12.2	2.4
	久々野地域	51	23.5	45.1	17.6	7.8	5.9	0.0
	朝日地域	31	22.6	41.9	25.8	6.5	0.0	3.2
	高根地域	10	40.0	30.0	30.0	0.0	0.0	0.0
	国府地域	98	38.8	40.8	16.3	0.0	4.1	0.0
	上宝・奥飛騨温泉郷地域	56	23.2	23.2	35.7	12.5	3.6	1.8

【年齢別】

- ・「暮らしやすい」と「やや暮らしやすい」を合わせた割合は、１０代・２０代（81.0％）が最も高く、３０代（66.1％）が最も低い。

【居住地域別】

- ・「暮らしやすい」と「やや暮らしやすい」を合わせた割合は、国府地域（79.6％）が最も高く、次いで西地区（78.3％）、北地区（78.0％）が高い。一方、上宝・奥飛騨温泉郷地域（46.4％）が最も低く、次いで荘川地域（52.0％）、一之宮地域（56.1％）が低い。

属性別集計（家族構成別）

		標本数 (件)	高山市の暮らしやすさ（％）					
			暮らしやすい	やや暮らしやすい	あまり暮らしや すくない	暮らしにくい	どちらともいえない	無回答
家族構成	単身世帯	119	27.7	41.2	12.6	8.4	8.4	1.7
	夫婦のみ	344	29.4	40.1	21.2	2.3	5.2	1.7
	二世世代世帯（親と子）	540	28.3	42.6	20.0	4.4	3.9	0.7
	（うち中学生以下の子と同居）	(175)	(32.0)	(38.9)	(21.7)	(4.0)	(3.4)	(0.0)
	三世世代世帯（親と子と孫）	181	34.8	34.3	21.5	3.3	5.5	0.6
	（うち中学生以下の子と同居）	(95)	(32.6)	(36.8)	(21.1)	(4.2)	(5.3)	(0.0)
	その他	27	33.3	44.4	18.5	0.0	3.7	0.0

【家族構成別】

- ・「暮らしやすい」と「やや暮らしやすい」を合わせた割合は、その他を除くと二世世代世帯（70.9％）が最も高く、次いで夫婦のみ（69.5％）となっている。

3-2 暮らしにくさを感じる場所

- ・「道路事情や交通の便が悪い」の割合が最も高い。
- ・前述の「高山市に住み続けたくない理由」（P12 参考）の1位から3位の順位とも同じである。
- ・1位から4位の順位は、前回（R5）の調査結果と同じである。
- ・前回（R5）の調査結果に比べ割合が特に変動したのは、「道路事情や交通の便が悪い」が12.0ポイント上昇し、「こどもの保育や教育環境に不安がある」が6.5ポイント低下している。

問3-2 問3で、「暮らしにくい」または「あまり暮らしやしくない」に○をつけた方に伺います。どんなところに暮らしにくさを感じますか。（3つまで○印）

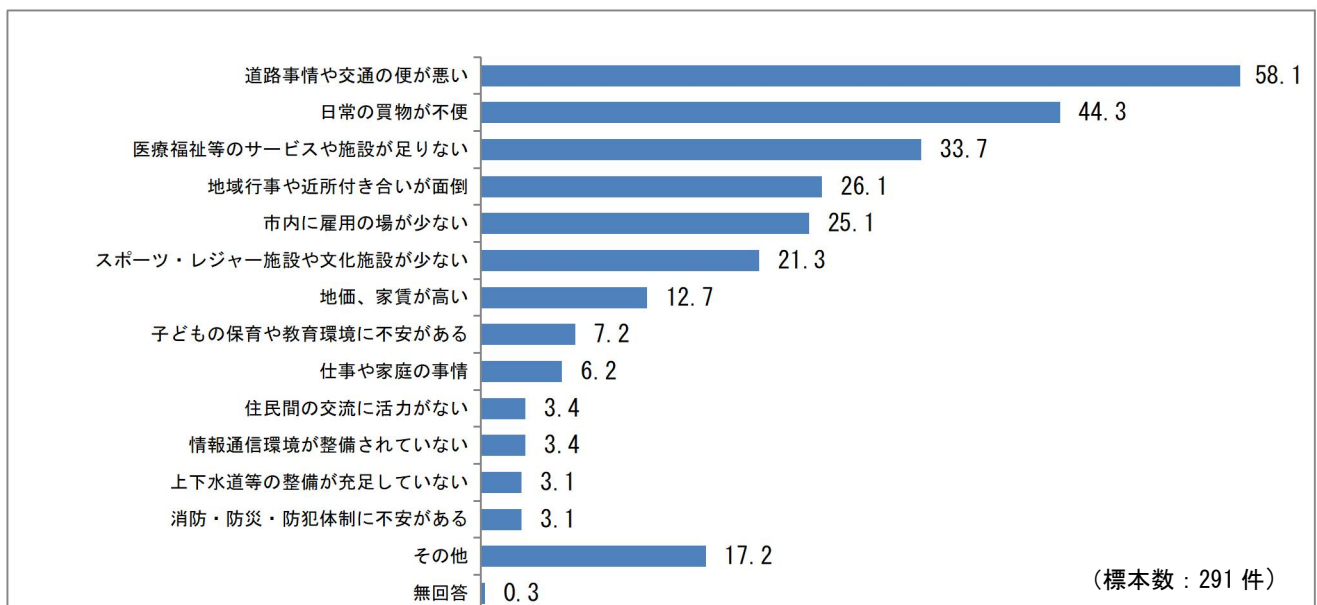
順位		回答数 (件)	回答率 (%)	前回 (R5)	
				順位	回答率 (%)
1	道路事情や交通の便が悪い	169	58.1	1	46.1
2	日常の買物が不便	129	44.3	2	40.1
3	医療福祉等のサービスや施設が足りない	98	33.7	3	31.0
4	地域行事や近所付き合いが面倒	76	26.1	4	28.2
5	市内に雇用の場が少ない	73	25.1	6	21.1
6	スポーツ・レジャー施設や文化施設が少ない	62	21.3	5	27.5
7	地価、家賃が高い	37	12.7	8	10.6
8	こどもの保育や教育環境に不安がある	21	7.2	7	13.7
9	仕事や家庭の事情	18	6.2	9	4.9
10	住民間の交流に活力がない	10	3.4	11	4.2
	情報通信環境が整備されていない	10	3.4	10	4.6
12	上下水道等の整備が充足していない	9	3.1	12	1.8
	消防・防災・防犯体制に不安がある	9	3.1	12	1.8
	その他	50	17.2		13.0
	無回答	1	0.3		1.1
計		772			

(標本数：291 件)

(標本数：284 件)

※「その他」の内容

- ・「冬の生活が不便」、「物価が高い」、「観光客の急増」 など



属性別集計（年齢別）

		年齢別（単位：％）					
		10代・20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
標本数（件）		10	31	50	54	71	70
暮らしにくさを感じるところ（％）	道路事情や交通の便が悪い	60.0	41.9	60.0	50.0	56.3	68.6
	日常の買物が不便	70.0	41.9	36.0	37.0	36.6	60.0
	医療福祉等のサービスや施設が足りない	10.0	25.8	24.0	40.7	23.9	50.0
	地域行事や近所付き合いが面倒	20.0	32.3	36.0	33.3	26.8	12.9
	市内に雇用の場が少ない	10.0	16.1	28.0	38.9	33.8	10.0
	スポーツ・レジャー施設や文化施設が少ない	50.0	41.9	22.0	11.1	22.5	15.7
	地価、家賃が高い	10.0	32.3	12.0	5.6	11.3	12.9
	こどもの保育や教育環境に不安がある	10.0	6.5	16.0	5.6	5.6	4.3
	仕事や家庭の事情	20.0	3.2	10.0	5.6	5.6	4.3
	住民間の交流に活力がない	0.0	0.0	0.0	7.4	2.8	5.7
	情報通信環境が整備されていない	10.0	3.2	2.0	3.7	2.8	2.9
	上下水道等の整備が充足していない	0.0	3.2	2.0	1.9	1.4	7.1
	消防・防災・防犯体制に不安がある	0.0	0.0	4.0	3.7	4.2	2.9
	その他	10.0	9.7	20.0	13.0	23.9	17.1
	無回答	0.0	3.2	0.0	0.0	0.0	0.0

【年齢別】

- ・ 10代・20代を除いては「道路事情や交通の便が悪い」の割合が最も高い。
- ・ 2番目に高いものは「日常の買物が不便」と回答している年代が多い。

属性別集計（居住地域別）

		居住地域											
		高山地域	東地区	西地区	南地区	北地区	山王地区	江名子地区	新宮地区	三枝地区	大八地区	岩滝地区	花里地区
標本数（件）		165	17	13	27	20	20	11	20	6	17	2	12
暮らしにくさを感じるところ（％）	道路事情や交通の便が悪い	53.3	35.3	53.8	40.7	50.0	50.0	36.4	75.0	83.3	82.4	100.0	33.3
	日常の買物が不便	32.1	17.6	38.5	22.2	30.0	30.0	36.4	60.0	33.3	29.4	50.0	25.0
	医療福祉等のサービスや施設が足りない	35.2	35.3	7.7	33.3	45.0	40.0	45.5	30.0	16.7	35.3	50.0	50.0
	地域行事や近所付き合いが面倒	24.2	29.4	15.4	14.8	20.0	20.0	18.2	25.0	33.3	35.3	50.0	41.7
	市内に雇用の場が少ない	26.1	23.5	0.0	33.3	20.0	35.0	27.3	20.0	33.3	41.2	0.0	25.0
	スポーツ・レジャー施設や文化施設が少ない	27.9	35.3	46.2	33.3	25.0	15.0	18.2	40.0	33.3	17.6	0.0	16.7
	地価、家賃が高い	18.8	11.8	0.0	25.9	35.0	15.0	27.3	15.0	16.7	11.8	0.0	25.0
	こどもの保育や教育環境に不安がある	6.1	5.9	7.7	7.4	10.0	10.0	0.0	5.0	0.0	0.0	0.0	8.3
	仕事や家庭の事情	6.1	5.9	15.4	7.4	15.0	5.0	0.0	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	住民間の交流に活力がない	4.2	11.8	0.0	3.7	10.0	5.0	0.0	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	情報通信環境が整備されていない	3.6	5.9	0.0	3.7	5.0	5.0	0.0	5.0	0.0	5.9	0.0	0.0
	上下水道等の整備が充足していない	3.0	5.9	0.0	0.0	5.0	0.0	9.1	0.0	16.7	5.9	0.0	0.0
	消防・防災・防犯体制に不安がある	2.4	11.8	0.0	3.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	その他	18.8	23.5	38.5	14.8	20.0	15.0	27.3	10.0	0.0	23.5	0.0	16.7
	無回答	0.6	0.0	0.0	3.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

属性別集計（居住地域別）

		居住地域								
		丹生川地域	清見地域	莊川地域	一之宮地域	久々野地域	朝日地域	高根地域	国府地域	上宝・奥飛騨温泉郷地域
標本数（件）		15	15	11	12	13	10	3	16	27
暮らしにくさを感じるところ（％）	道路事情や交通の便が悪い	46.7	73.3	63.6	66.7	76.9	40.0	100.0	43.8	81.5
	日常の買物が不便	53.3	60.0	90.9	50.0	46.2	60.0	100.0	37.5	74.1
	医療福祉等のサービスや施設が足りない	26.7	53.3	18.2	8.3	23.1	40.0	33.3	25.0	40.7
	地域行事や近所付き合いが面倒	40.0	20.0	18.2	41.7	30.8	30.0	33.3	37.5	18.5
	市内に雇用の場が少ない	20.0	20.0	18.2	33.3	53.8	10.0	33.3	12.5	22.2
	スポーツ・レジャー施設や文化施設が少ない	6.7	6.7	9.1	16.7	23.1	20.0	0.0	25.0	3.7
	地価、家賃が高い	6.7	13.3	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	6.3	0.0
	こどもの保育や教育環境に不安がある	13.3	6.7	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	6.3	18.5
	仕事や家庭の事情	6.7	0.0	18.2	0.0	7.7	0.0	0.0	12.5	3.7
	住民間の交流に活力がない	0.0	13.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3	0.0
	情報通信環境が整備されていない	0.0	0.0	0.0	8.3	7.7	0.0	0.0	12.5	0.0
	上下水道等の整備が充足していない	6.7	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	6.3	3.7
	消防・防災・防犯体制に不安がある	13.3	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	6.3	0.0
	その他	13.3	13.3	9.1	25.0	7.7	20.0	0.0	25.0	14.8
	無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

【居住地域別】

- ・高山地域では、多くの地区で「道路事情や交通の便が悪い」の割合が最も高く、次いで多いのが「医療福祉等のサービスや施設が足りない」の割合である。
- ・支所地域では、多くの地域で「道路事情や交通の便が悪い」の割合が最も高く、次いで多いのが「日常の買物が不便」の割合である。

属性別集計（家族構成別）

		家族構成						
		単身世帯	夫婦のみ	二世代世帯 (うち中学生以下の子と同居)		三世代世帯 (うち中学生以下の子と同居)		その他
標本数（件）		25	81	132	(45)	45	(24)	5
暮らしにくさを感じるところ(%)	道路事情や交通の便が悪い	44.0	64.2	56.8	(60.0)	60.0	(54.2)	60.0
	日常の買物が不便	64.0	46.9	43.9	(40.0)	33.3	(29.2)	20.0
	医療福祉等のサービスや施設が足りない	32.0	37.0	32.6	(28.9)	31.1	(50.0)	40.0
	地域行事や近所付き合いが面倒	4.0	25.9	28.8	(33.3)	31.1	(33.3)	20.0
	市内に雇用の場が少ない	24.0	27.2	24.2	(22.2)	28.9	(25.0)	0.0
	スポーツ・レジャー施設や文化施設が少ない	20.0	27.2	19.7	(31.1)	15.6	(16.7)	20.0
	地価、家賃が高い	32.0	9.9	12.1	(20.0)	6.7	(4.2)	40.0
	こどもの保育や教育環境に不安がある	4.0	4.9	6.8	(11.1)	15.6	(25.0)	0.0
	仕事や家庭の事情	8.0	3.7	6.1	(4.4)	8.9	(8.3)	0.0
	住民間の交流に活力がない	4.0	3.7	2.3	0.0	6.7	0.0	0.0
	情報通信環境が整備されていない	4.0	4.9	2.3	(2.2)	4.4	(8.3)	0.0
	上下水道等の整備が充足していない	0.0	3.7	3.0	(2.2)	2.2	(4.2)	0.0
	消防・防災・防犯体制に不安がある	4.0	0.0	3.0	0.0	6.7	(4.2)	0.0
	その他	16.0	13.6	16.7	(6.7)	20.0	(20.8)	40.0
	無回答	0.0	0.0	0.8	(2.2)	0.0	0.0	0.0

【家族構成別】

- ・単身世帯を除いて、「道路事情や交通の便が悪い」の割合が最も高く、次いで「日常の買物が不便」が高い。

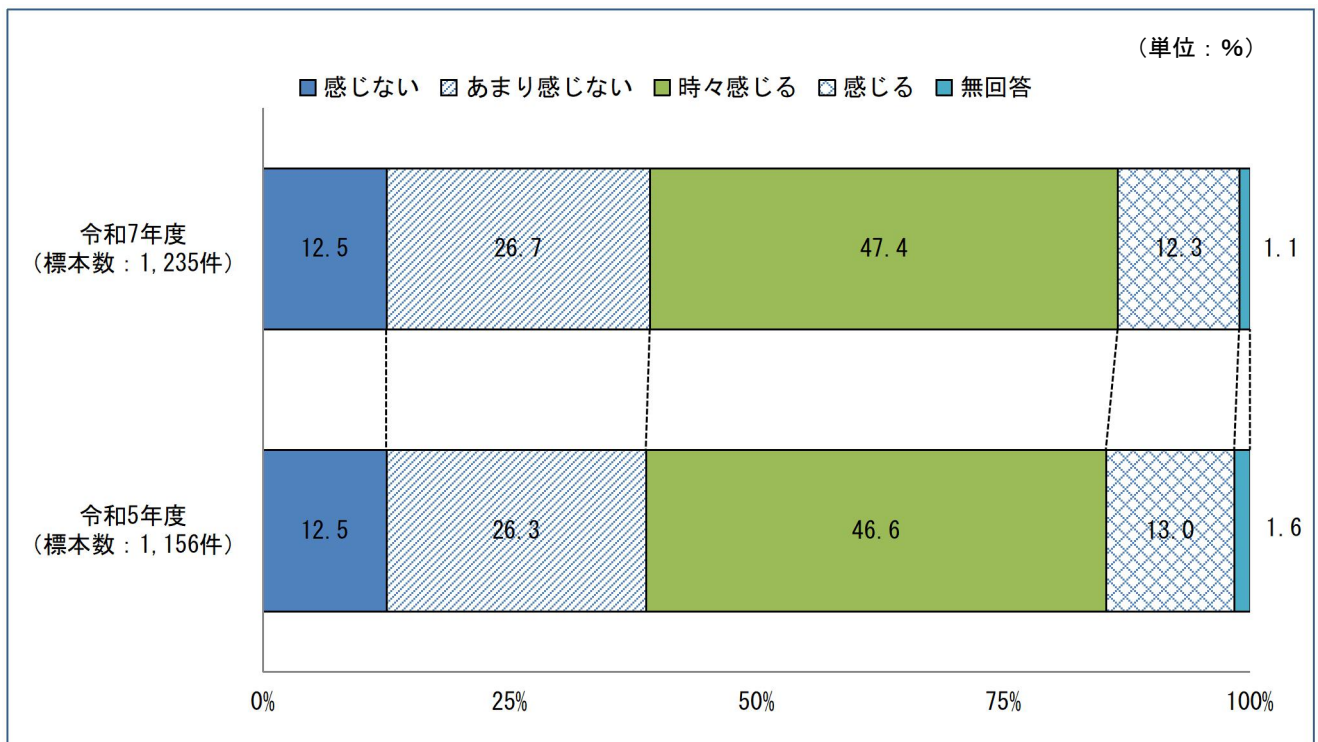
4 日常生活での不安

- ・「時々感じる」の割合が最も高い。
- ・「感じる」と「時々感じる」を合わせると 59.7%を占め、前回（R5）の調査結果（59.6%）に比べ、0.1ポイント低下している。

問4 あなたは、日常の暮らしの中で不安を感じることはありますか。（1つに○印）

	回答数 (件)	回答率 (%)
感じない	154	12.5
あまり感じない	330	26.7
時々感じる	586	47.4
感じる	152	12.3
無回答	13	1.1
計	1,235	

(標本数：1,235件)



属性別集計（年齢別、居住地域別）

		標本数 (件)	暮らしの中での不安 (%)				
			感じない	あまり感じない	時々感じる	感じる	無回答
年齢	10代・20代	58	29.3	41.4	20.7	8.6	0.0
	30代	121	19.8	24.8	38.0	16.5	0.8
	40代	179	12.3	26.3	49.2	12.3	0.0
	50代	194	10.3	19.6	53.1	16.5	0.5
	60代	269	8.9	26.4	51.7	11.9	1.1
	70代以上	403	11.2	28.8	48.6	9.4	2.0
居住地域	高山地域	786	12.3	27.9	46.8	12.0	1.0
	東地区	68	10.3	32.4	44.1	11.8	1.5
	西地区	83	8.4	25.3	55.4	9.6	1.2
	南地区	94	8.5	27.7	51.1	11.7	1.1
	北地区	118	16.1	31.4	38.1	13.6	0.8
	山王地区	109	13.8	22.9	49.5	11.0	2.8
	江名子地区	53	17.0	37.7	34.0	11.3	0.0
	新宮地区	71	14.1	21.1	52.1	11.3	1.4
	三枝地区	39	23.1	15.4	43.6	17.9	0.0
	大八地区	68	8.8	25.0	51.5	14.7	0.0
	岩滝地区	12	0.0	41.7	58.3	0.0	0.0
	花里地区	71	9.9	35.2	43.7	11.3	0.0
	丹生川地域	57	10.5	19.3	59.6	10.5	0.0
	清見地域	44	4.5	22.7	50.0	20.5	2.3
	荘川地域	25	12.0	8.0	72.0	8.0	0.0
	一之宮地域	41	12.2	24.4	46.3	17.1	0.0
	久々野地域	51	11.8	31.4	47.1	7.8	2.0
	朝日地域	31	9.7	22.6	48.4	19.4	0.0
	高根地域	10	0.0	40.0	40.0	20.0	0.0
	国府地域	98	15.3	31.6	42.9	9.2	1.0
	上宝・奥飛騨温泉郷地域	56	12.5	16.1	51.8	19.6	0.0

【年齢別】

- ・「感じる」と「時々感じる」を合わせた割合は、50代（69.6%）が最も高く、10代・20代（29.3%）が最も低い。

【居住地域別】

- ・「感じる」と「時々感じる」を合わせた割合は、荘川地域（80.0%）が最も高く、次いで上宝・奥飛騨温泉郷地域（71.4%）、清見地域（70.5%）が高い。一方、江名子地区（45.3%）が最も低く、次いで北地区（51.7%）、国府地域（52.1%）が低い。

属性別集計（家族構成別）

		標本数 (件)	暮らしの中での不安（％）				
			感じない	あまり感じない	時々感じる	感じる	無回答
家族構成	単身世帯	119	17.6	25.2	44.5	10.9	1.7
	夫婦のみ	344	11.9	24.4	49.7	13.1	0.9
	二世世代世帯	540	11.9	27.4	46.9	12.8	1.1
	（うち中学生以下の子と同居）	(175)	(16.0)	(24.6)	(40.6)	(17.7)	(1.1)
	三世世代世帯	181	11.6	30.4	47.5	9.4	1.1
	（うち中学生以下の子と同居）	95	(8.4)	(31.6)	(48.4)	(11.6)	0.0
	その他	27	22.2	22.2	44.4	11.1	0.0

【家族構成別】

- ・「感じる」と「時々感じる」を合わせた割合は、夫婦のみ（62.8％）が最も高く、単身世帯（55.4％）が最も低い。

4-2 不安を感じるところ

- ・「経済的な不安」の割合が最も高い。
- ・1位から6位までは、前回（R5）の調査結果と同じである。
- ・前回（R5）の調査結果に比べ、「防犯、治安に対する不安」の割合が大きく上昇しており、「子育てに対する不安」の割合が低下している。

問4-2 問4で、「感じる」または「時々感じる」に○をつけた方に伺います。どんなところに不安を感じますか。（3つまで○印）

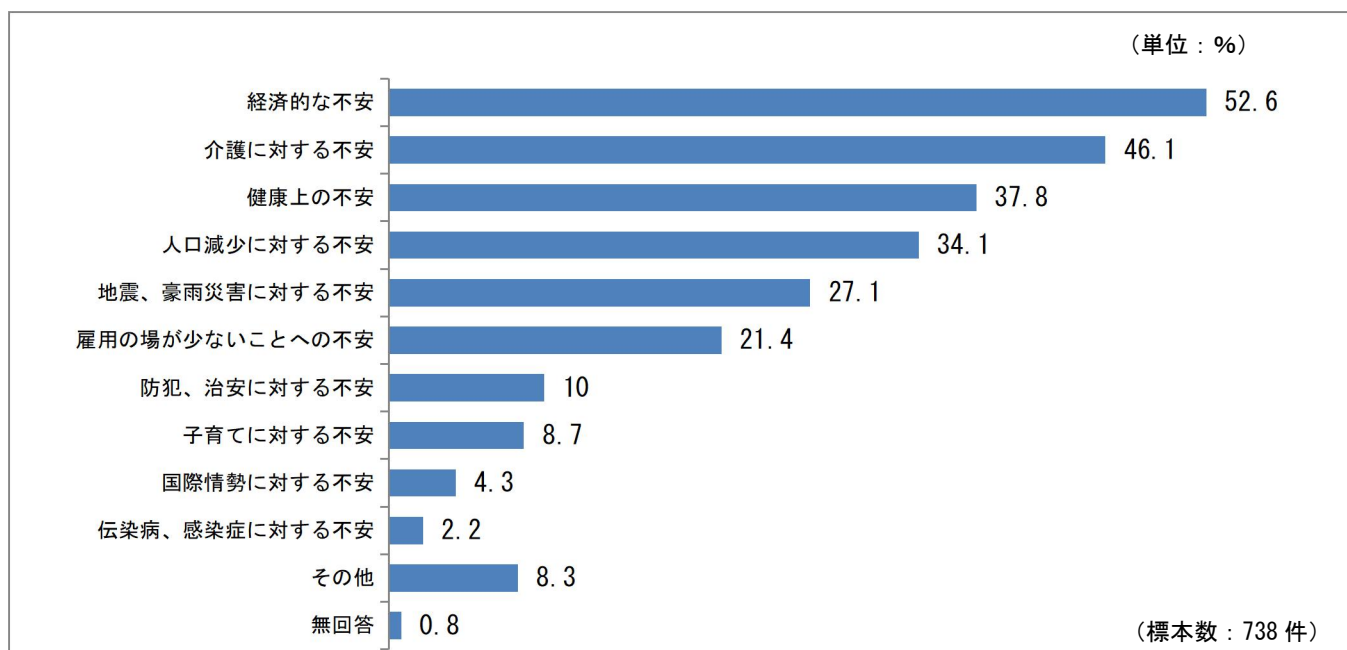
順位		回答数（件）	回答率（%）	前回（R5）	
				順位	回答率（%）
1	経済的な不安	388	52.6	1	54.9
2	介護に対する不安	340	46.1	2	43.5
3	健康上の不安	279	37.8	3	34.1
4	人口減少に対する不安	252	34.1	4	31.9
5	地震、豪雨災害に対する不安	200	27.1	5	25.7
6	雇用場の少ないことへの不安	158	21.4	6	22.1
7	防犯、治安に対する不安	74	10.0	8	5.5
8	子育てに対する不安	64	8.7	7	11.3
9	国際情勢に対する不安	32	4.3	10	4.1
10	伝染病、感染症に対する不安	16	2.2	9	4.5
11	その他	61	8.3		6.4
12	無回答	6	0.8		0.1
計		1,870			

（標本数：738件）

（標本数：689件）

※「その他」の内容

- ・「若者の減少」、「観光客急増による治安悪化」 など



属性別集計（年齢別）

		年齢					
		10代・20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
標本数（件）		17	66	110	135	171	234
不安を感じるところ(%)	経済的な不安	82.4	68.2	60.9	59.3	46.8	41.9
	介護に対する不安	23.5	21.2	29.1	39.3	55.6	59.4
	健康上の不安	0.0	7.6	22.7	33.3	41.5	55.6
	人口減少に対する不安	41.2	30.3	35.5	37.8	37.4	29.9
	地震、豪雨災害に対する不安	23.5	19.7	30.9	18.5	33.3	27.8
	雇用の場が少ないことへの不安	17.6	36.4	26.4	26.7	22.2	11.5
	防犯、治安に対する不安	23.5	9.1	10.9	9.6	8.8	9.8
	子育てに対する不安	23.5	34.8	21.8	5.2	2.9	0.4
	国際情勢に対する不安	0.0	6.1	2.7	4.4	6.4	3.4
	伝染病、感染症に対する不安	0.0	4.5	2.7	0.7	1.8	2.6
	その他	5.9	4.5	10.0	4.4	11.7	8.5
	無回答	0.0	1.5	0.9	1.5	0.0	0.9

【年齢別】

- ・ 50代以下は「経済的な不安」の割合が最も高い。
- ・ 60代以上は「介護に対する不安」の割合が最も高い。
- ・ 「介護に対する不安」「健康上の不安」の割合は、年代が上がるにつれて高くなっている。一方で、「経済的な不安」の割合は、年代が上がるにつれて低くなっている。

属性別集計（居住地域別）

		居住地域											
		高山地域	東地区	西地区	南地区	北地区	山王地区	江名子地区	新宮地区	三枝地区	大八地区	岩滝地区	花里地区
標本数（件）		462	38	54	59	61	66	24	45	24	45	7	39
不安を感じるところ（％）	経済的な不安	54.8	50.0	42.6	54.2	59.0	59.1	62.5	53.3	54.2	60.0	14.3	61.5
	介護に対する不安	44.6	50.0	44.4	45.8	44.3	42.4	41.7	40.0	54.2	37.8	85.7	43.6
	健康上の不安	39.6	34.2	38.9	39.0	42.6	42.4	50.0	42.2	45.8	33.3	28.6	33.3
	人口減少に対する不安	28.1	26.3	27.8	32.2	18.0	30.3	12.5	31.1	25.0	33.3	57.1	33.3
	地震、豪雨災害に対する不安	26.6	23.7	18.5	28.8	24.6	24.2	25.0	26.7	37.5	35.6	57.1	23.1
	雇用の場が少ないことへの不安	20.1	13.2	24.1	27.1	16.4	22.7	4.2	28.9	8.3	17.8	28.6	20.5
	防犯、治安に対する不安	12.1	15.8	14.8	16.9	13.1	9.1	4.2	8.9	16.7	15.6	0.0	5.1
	子育てに対する不安	10.0	10.5	3.7	11.9	8.2	7.6	8.3	13.3	16.7	4.4	14.3	20.5
	国際情勢に対する不安	4.3	5.3	9.3	3.4	4.9	4.5	0.0	2.2	8.3	0.0	0.0	5.1
	伝染病、感染症に対する不安	3.0	7.9	3.7	3.4	1.6	1.5	0.0	6.7	0.0	2.2	0.0	2.6
	その他	8.9	10.5	11.1	6.8	14.8	9.1	4.2	8.9	0.0	8.9	14.3	5.1
無回答		1.1	0.0	0.0	3.4	1.6	0.0	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6

属性別集計（居住地域別）

		居住地域								
		丹生川地域	清見地域	庄川地域	一之宮地域	久々野地域	朝日地域	高根地域	国府地域	上宝・奥飛騨温泉郷地域
標本数（件）		40	31	20	26	28	21	6	51	40
不安を感じるところ（％）	経済的な不安	50.0	48.4	50.0	53.8	50.0	47.6	16.7	51.0	45.0
	介護に対する不安	37.5	45.2	60.0	50.0	46.4	47.6	66.7	64.7	37.5
	健康上の不安	25.0	45.2	40.0	42.3	35.7	28.6	33.3	35.3	35.0
	人口減少に対する不安	37.5	58.1	50.0	19.2	39.3	57.1	83.3	35.3	65.0
	地震、豪雨災害に対する不安	25.0	19.4	35.0	23.1	35.7	42.9	50.0	25.5	22.5
	雇用の方が少ないことへの不安	27.5	16.1	25.0	23.1	21.4	38.1	16.7	15.7	25.0
	防犯、治安に対する不安	12.5	0.0	0.0	19.2	0.0	0.0	0.0	7.8	2.5
	子育てに対する不安	10.0	3.2	0.0	3.8	7.1	9.5	0.0	7.8	7.5
	国際情勢に対する不安	12.5	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	5.9	0.0
	伝染病、感染症に対する不安	2.5	0.0	0.0	0.0	0.0	4.8	0.0	0.0	0.0
	その他	7.5	12.9	5.0	3.8	3.6	4.8	16.7	7.8	10.0
	無回答	0.0	0.0	0.0	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

【居住地域別】

- ・「経済的な不安」の割合は多くの地域で最も高く、次いで「介護に対する不安」の割合が多い。
- ・「人口減少に対する不安」の割合は、高山地域と支所地域で傾向が異なり、高山地域で50%以上は11地区中1地区、支所地域で50%以上は9地域中5地域となっている。

属性別集計（家族構成別）

		家族構成						
		単身世帯	夫婦のみ	二世代世帯 （うち中学生以下の子と同居）	三世代世帯 （うち中学生以下の子と同居）	その他		
標本数（件）		66	216	322	(102)	103	(57)	15
不安を感じるところ（％）	経済的な不安	53.0	44.4	57.8	(62.7)	55.3	(49.1)	53.3
	介護に対する不安	34.8	49.1	44.1	(24.5)	50.5	(43.9)	60.0
	健康上の不安	47.0	50.0	29.5	(10.8)	29.1	(26.3)	53.3
	人口減少に対する不安	22.7	33.3	39.8	(47.1)	29.1	(33.3)	20.0
	地震、豪雨災害に対する不安	31.8	26.9	25.8	(21.6)	27.2	(21.1)	26.7
	雇用の場が少ないことへの不安	16.7	16.2	26.7	(36.3)	18.4	(14.0)	26.7
	防犯、治安に対する不安	16.7	9.7	9.6	(13.7)	7.8	(10.5)	13.3
	子育てに対する不安	3.0	3.2	12.1	(32.4)	15.5	(24.6)	0.0
	国際情勢に対する不安	4.5	3.2	3.1	(2.0)	8.7	(14.0)	6.7
	伝染病、感染症に対する不安	1.5	3.2	1.6	(2.0)	1.9	(3.5)	6.7
	その他	12.1	9.3	7.5	(5.9)	8.7	(8.8)	0.0
	無回答	1.5	0.5	1.2	(1.0)	0.0	0.0	0.0

【家族構成別】

- ・夫婦のみとその他を除いて、「経済的な不安」の割合が最も高い。
- ・２番目に割合が高いのは、「介護に対する不安」と回答している家族構成が多い。

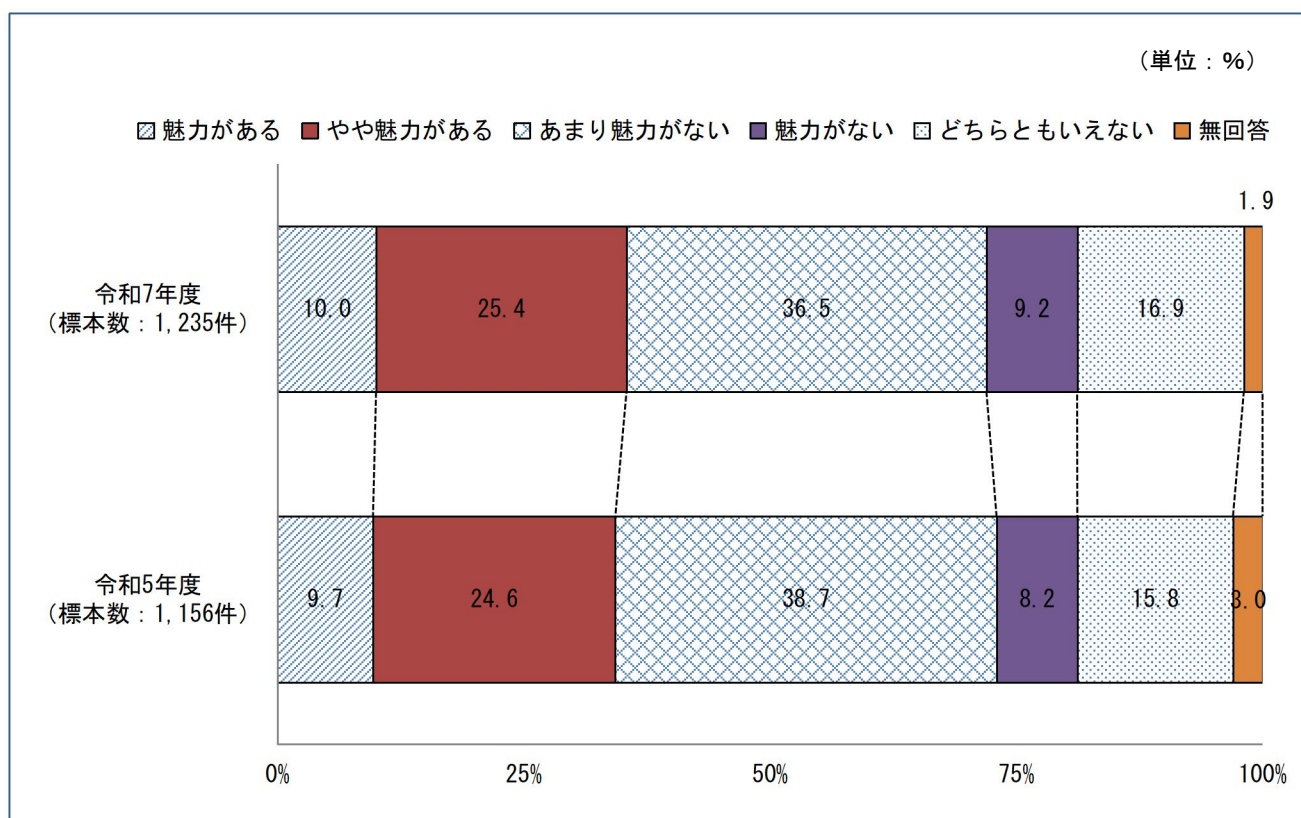
5 働く場としての高山市の魅力

- ・「あまり魅力がない」の割合が最も高い。
- ・「魅力がない」と「あまり魅力がない」を合わせると 45.7%を占めているが、前回（R5）の調査結果（46.9%）に比べると 1.2 ポイント低下している。一方で、「魅力がある」と「やや魅力がある」を合わせると 35.4%を占めており、前回（R5、34.3%）と比べると 1.1 ポイント上昇している。

問5 あなたは、働く場としての高山市に魅力を感じますか。（1つに○印）

	回答数 (件)	回答率 (%)
魅力がある	124	10.0
やや魅力がある	314	25.4
あまり魅力がない	451	36.5
魅力がない	114	9.2
どちらともいえない	209	16.9
無回答	23	1.9
計	1,235	

(標本数：1,235 件)



属性別集計（性別、年齢別）

		標本数 (件)	高山市の働く場としての魅力（％）					
			魅力がある	やや魅力がある	あまり魅力がない	魅力がない	どちらともいえない	無回答
性別	男	511	12.3	26.6	35.2	11.4	13.1	1.4
	女	609	8.2	24.8	39.2	7.7	18.4	1.6
年齢	１０代・２０代	58	24.1	29.3	25.9	10.3	10.3	0.0
	３０代	121	12.4	27.3	34.7	14.0	11.6	0.0
	４０代	179	11.7	23.5	40.2	14.0	10.6	0.0
	５０代	194	9.3	25.3	41.8	10.8	12.9	0.0
	６０代	269	6.7	26.8	42.4	9.7	14.1	0.4
	７０代以上	403	8.9	24.8	31.0	4.5	25.6	5.2

【性別】

- ・男女ともに「あまり魅力がない」の割合が最も高い。

【年齢別】

- ・「魅力がある」と「やや魅力がある」を合わせた割合は、１０代・２０代（53.4％）が最も高く、６０代（33.5％）が最も低い。年齢が上がるにつれてその割合は低くなる傾向にある。

属性別集計（居住地域別）

		標本数(件)	高山市の働く場としての魅力（％）					
			魅力がある	やや魅力がある	あまり魅力がない	魅力がない	どちらともいえない	無回答
居住地域	高山地域	786	10.1	24.2	35.4	10.4	18.2	1.8
	東地区	68	10.3	22.1	36.8	13.2	16.2	1.5
	西地区	83	6.0	27.7	34.9	8.4	21.7	1.2
	南地区	94	10.6	17.0	39.4	13.8	18.1	1.1
	北地区	118	9.3	31.4	33.1	9.3	16.1	0.8
	山王地区	109	6.4	28.4	34.9	10.1	16.5	3.7
	江名子地区	53	13.2	28.3	28.3	11.3	18.9	0.0
	新宮地区	71	9.9	21.1	38.0	9.9	18.3	2.8
	三枝地区	39	23.1	10.3	35.9	0.0	28.2	2.6
	大八地区	68	7.4	19.1	44.1	13.2	16.2	0.0
	岩滝地区	12	33.3	16.7	25.0	0.0	16.7	8.3
	花里地区	71	9.9	26.8	29.6	12.7	18.3	2.8
	丹生川地域	57	19.3	15.8	50.9	8.8	5.3	0.0
	清見地域	44	9.1	25.0	43.2	4.5	15.9	2.3
	荘川地域	25	4.0	40.0	32.0	8.0	16.0	0.0
	一之宮地域	41	4.9	17.1	46.3	12.2	14.6	4.9
	久々野地域	51	7.8	37.3	33.3	5.9	13.7	2.0
	朝日地域	31	9.7	19.4	48.4	9.7	9.7	3.2
	高根地域	10	10.0	40.0	20.0	0.0	30.0	0.0
	国府地域	98	9.2	29.6	36.7	3.1	18.4	3.1
	上宝・奥飛騨温泉郷地域	56	7.1	37.5	32.1	8.9	12.5	1.8

【居住地域別】

- ・「魅力がある」と「やや魅力がある」を合わせた割合は、岩滝地区、高根地域（同率 50.0%）が最も高く、次いで久々野地域（45.1%）が高い。一方、一之宮地域（22.0%）が最も低く、次いで大八地区（26.5%）、南地区（27.6%）が低い。

属性別集計（職業別）

		標本数(件)	高山市の働く場としての魅力（％）					
			魅力がある	やや魅力がある	あまり魅力がない	魅力がない	どちらともいえない	無回答
職業	農林畜産業	71	18.3	32.4	26.8	2.8	16.9	2.8
	自営業	137	14.6	28.5	31.4	14.6	8.8	2.2
	会社員・公務員・団体職員	406	9.9	25.4	44.1	11.1	9.6	0.0
	パート・アルバイト・内職	220	7.7	25.5	41.8	9.5	15.0	0.5
	家事従事者	63	6.3	20.6	25.4	3.2	41.3	3.2
	学生	9	44.4	11.1	33.3	11.1	0.0	0.0
	無職	280	6.1	23.6	31.4	6.4	27.5	5.0
	その他	27	18.5	25.9	29.6	11.1	11.1	3.7

【職業別】

- ・「魅力がある」と「やや魅力がある」を合わせた割合は、学生（55.5％）が最も高く、家事従事者（26.9％）が最も低い。

5-2 働く場としての魅力がない理由

- ・「給与水準が低い」の割合が最も高い。
- ・順位は、前回（R5）の調査結果と同じである。
- ・前回（R5）の調査結果に比べ、「雇用の場が少ない」と「職種が少ない」の割合が上昇している。

問5-2 問5で、「魅力がない」または「あまり魅力がない」に○をつけた方に伺います。その理由はなんですか。（2つまで○印）

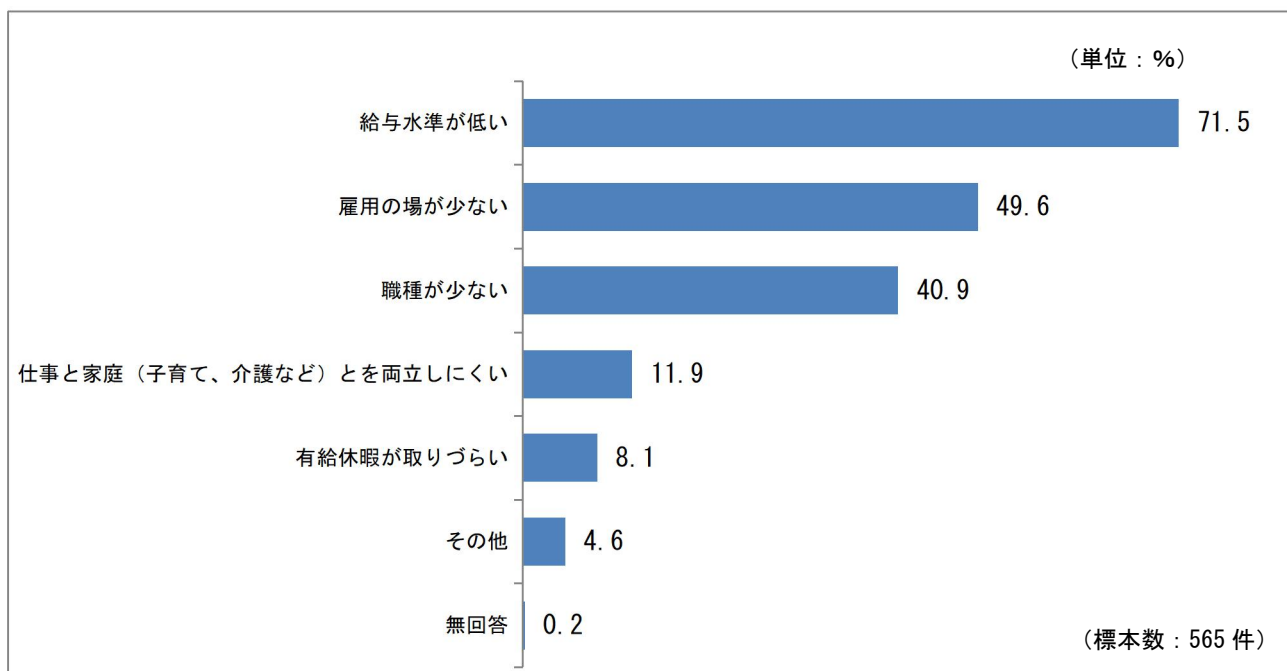
順位		回答数 (件)	回答率 (%)	前回（R5）	
				順位	回答率(%)
1	給与水準が低い	404	71.5	1	72.9
2	雇用の場が少ない	280	49.6	2	45.2
3	職種が少ない	231	40.9	3	35.8
4	仕事と家庭（子育て、介護など）とを両立しにくい	67	11.9	4	13.5
5	有給休暇が取りづらい	46	8.1	5	10.1
	その他	26	4.6		2.4
	無回答	1	0.2		0.9
計		1,055			

（標本数：565件）

（標本数：542件）

※「その他」内容

- ・「土日祝休みの仕事が少ない」「若者に魅力的な職場が少ない」 など



属性別集計（性別、年齢別）

		標本数(件)	働く場としての魅力がない理由(%)						
			給与水準が低い	雇用の場が少ない	職種が少ない	仕事と家庭とを両立しにくい	有給休暇が取りづらい	その他	無回答
性別	男	238	67.6	54.2	44.1	7.1	7.1	6.3	0.0
	女	286	74.5	44.4	38.5	16.1	9.4	3.5	0.3
年齢	10代・20代	21	66.7	52.4	52.4	4.8	0.0	4.8	0.0
	30代	59	72.9	33.9	42.4	13.6	16.9	1.7	0.0
	40代	97	79.4	32.0	39.2	17.5	12.4	7.2	0.0
	50代	102	76.5	52.9	33.3	8.8	6.9	2.9	1.0
	60代	140	72.1	53.6	43.6	12.9	6.4	6.4	0.0
	70代以上	143	61.5	60.8	42.7	9.8	4.9	3.5	0.0

【性別】

- ・男性、女性とも「給与水準が低い」の割合が最も高く、次いで「雇用の場が少ない」、「職種が少ない」の割合が高い。

【年齢別】

- ・全ての年代において「給与水準が低い」の割合が最も高い。

属性別集計（居住地域別）

		標本数 (件)	働く場としての魅力がない理由(%)						
			給与水準が低い	雇用の場が少ない	職種が少ない	仕事と家庭とを両立しにくい	有給休暇が取りづらい	その他	無回答
居住地域	高山地域	360	74.7	47.2	40.3	12.8	8.9	4.4	0.3
	東地区	34	55.9	50.0	50.0	11.8	8.8	8.8	0.0
	西地区	36	75.0	47.2	41.7	8.3	5.6	11.1	0.0
	南地区	50	84.0	54.0	30.0	10.0	6.0	4.0	0.0
	北地区	50	80.0	30.0	38.0	10.0	14.0	0.0	2.0
	山王地区	49	75.5	46.9	51.0	8.2	8.2	2.0	0.0
	江名子地区	21	76.2	47.6	47.6	14.3	4.8	0.0	0.0
	新宮地区	34	70.6	47.1	41.2	23.5	14.7	5.9	0.0
	三枝地区	14	64.3	50.0	50.0	21.4	7.1	0.0	0.0
	大八地区	39	76.9	56.4	30.8	10.3	7.7	5.1	0.0
	岩滝地区	3	33.3	66.7	66.7	33.3	33.3	0.0	0.0
	花里地区	30	80.0	46.7	30.0	20.0	6.7	6.7	0.0
	丹生川地域	34	67.6	47.1	38.2	14.7	5.9	11.8	0.0
	清見地域	21	90.5	38.1	23.8	23.8	4.8	0.0	0.0
	荘川地域	10	50.0	70.0	40.0	20.0	10.0	0.0	0.0
	一之宮地域	24	75.0	62.5	29.2	4.2	4.2	4.2	0.0
	久々野地域	20	60.0	55.0	50.0	0.0	0.0	10.0	0.0
	朝日地域	18	61.1	50.0	66.7	5.6	0.0	5.6	0.0
	高根地域	2	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	国府地域	39	71.8	46.2	41.0	10.3	15.4	0.0	0.0
	上宝・奥飛騨温泉郷地域	23	30.4	73.9	56.5	8.7	4.3	8.7	0.0

【居住地域別】

- ・「給与水準が低い」の割合が多く地域（地区）で最も高い。次いで、「雇用の場が少ない」が多く地域で高い。

属性別集計（職業別）

		標本数 (件)	働く場としての魅力がない理由(%)						
			給与水準が低い	雇用の場が少ない	職種が少ない	仕事と家庭とを両立しにくい	有給休暇が取りづらい	その他	無回答
職業	農林畜産業	21	52.4	57.1	33.3	19.0	4.8	0.0	0.0
	自営業	63	73.0	49.2	46.0	11.1	0.0	4.8	0.0
	会社員・公務員・団体職員	224	80.4	42.9	36.2	8.0	12.1	6.3	0.0
	パート・アルバイト・内職	113	70.8	47.8	40.7	19.5	7.1	1.8	0.9
	家事従事者	18	55.6	61.1	61.1	0.0	0.0	0.0	0.0
	学生	4	25.0	50.0	75.0	0.0	0.0	25.0	0.0
	無職	106	63.2	61.3	43.4	12.3	8.5	2.8	0.0
	その他	11	63.6	54.5	36.4	18.2	9.1	27.3	0.0

【職業別】

- ・ 農林畜産業、家事従事者、学生以外においては、「給与水準が低い」の割合が最も高い。
- ・ 農林畜産業と家事従事者は「雇用の場が少ない」の割合が最も高い（家事従事者は「職種が少ない」と同率）。
- ・ 学生は「職種が少ない」の割合が最も高い。

2 高山市の市政運営について

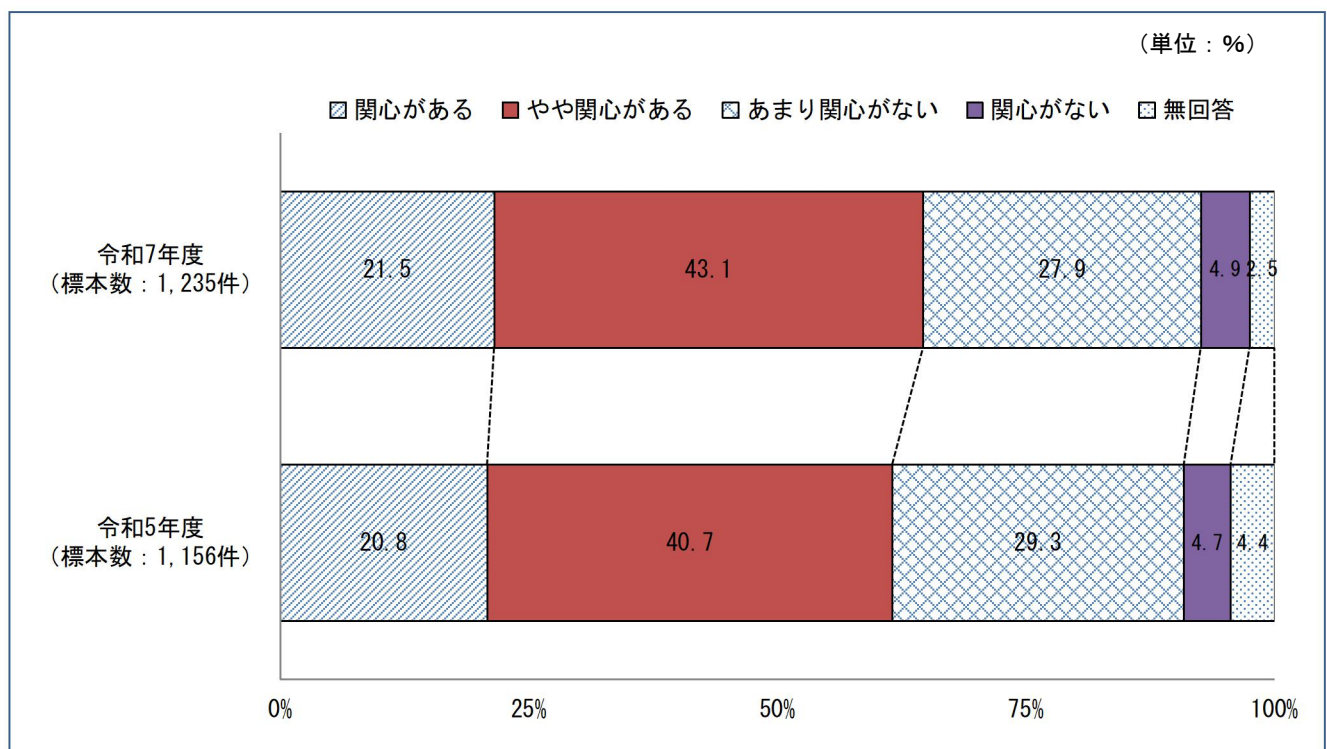
1 市政運営への関心

- ・「やや関心がある」の割合が最も高い。
- ・「関心がある」と「やや関心がある」を合わせると 64.6%を占めており、前回（R5）の調査結果（61.5%）に比べ 3.1 ポイントと上昇している。

問6 あなたは、高山市の市政運営に関心をお持ちですか。（1つに○印）

	回答数 (件)	回答率 (%)
関心がある	266	21.5
やや関心がある	532	43.1
あまり関心がない	345	27.9
関心がない	61	4.9
無回答	31	2.5
計	1,235	

(標本数：1,235 件)



属性別集計（年齢別）

		標本数 (件)	市政運営の関心（％）				
			関心がある	やや関心がある	あまり関心がない	関心がない	無回答
年齢	１０代・２０代	58	22.4	32.8	34.5	10.3	0.0
	３０代	121	26.4	32.2	30.6	10.7	0.0
	４０代	179	21.2	44.1	25.7	7.8	1.1
	５０代	194	21.6	33.0	37.1	5.2	3.1
	６０代	269	19.0	52.8	24.2	3.3	0.7
	７０代以上	403	21.8	45.2	25.6	2.2	5.2

【年齢別】

- ・「関心がある」と「やや関心がある」を合わせた割合は、４０代と６０代以上が６０％以上と高く、５０代が５４．６％と最も低い。

属性別集計（居住地域別、定住年数別）

		標本数 (件)	市政運営の関心 (%)				
			関心がある	やや関心がある	あまり関心がない	関心がない	無回答
居住地域	高山地域	786	21.8	44.1	27.5	4.5	2.2
	東地区	68	25.0	45.6	23.5	4.4	1.5
	西地区	83	14.5	50.6	25.3	7.2	2.4
	南地区	94	24.5	44.7	27.7	3.2	0.0
	北地区	118	22.9	40.7	30.5	4.2	1.7
	山王地区	109	19.3	43.1	26.6	7.3	3.7
	江名子地区	53	24.5	39.6	28.3	5.7	1.9
	新宮地区	71	21.1	43.7	28.2	4.2	2.8
	三枝地区	39	28.2	41.0	30.8	0.0	0.0
	大八地区	68	20.6	38.2	33.8	5.9	1.5
	岩滝地区	12	33.3	58.3	0.0	0.0	8.3
	花里地区	71	19.7	50.7	25.4	0.0	4.2
	丹生川地域	57	28.1	36.8	24.6	3.5	7.0
	清見地域	44	20.5	36.4	34.1	6.8	2.3
	荘川地域	25	12.0	52.0	20.0	12.0	4.0
	一之宮地域	41	22.0	36.6	34.1	4.9	2.4
	久々野地域	51	17.6	49.0	29.4	2.0	2.0
	朝日地域	31	22.6	45.2	29.0	3.2	0.0
	高根地域	10	20.0	50.0	20.0	0.0	10.0
	国府地域	98	24.5	38.8	29.6	5.1	2.0
	上宝・奥飛騨温泉郷地域	56	21.4	37.5	30.4	8.9	1.8
定住年数	1年未満	19	10.5	36.8	36.8	15.8	0.0
	1年以上～5年未満	45	15.6	44.4	22.2	15.6	2.2
	5年以上～10年未満	41	29.3	34.1	26.8	9.8	0.0
	10年以上～20年未満	73	19.2	53.4	23.3	2.7	1.4
	20年以上	1,046	21.9	43.0	28.2	4.2	2.7

【居住地域別】

- ・「関心がある」と「やや関心がある」を合わせた割合は、岩滝地区（91.6%）が最も高く、次いで東地区（70.6%）、花里地区（70.4%）が高い。一方、清見地域（56.9%）が最も低く、次いで一之宮地域（58.6%）、大八地区（58.8%）が低い。

【定住年数別】

- ・「関心がある」と「やや関心がある」を合わせた割合は、10年以上～20年未満（72.6%）が最も高く、1年未満（47.3%）が最も低い。

2 今後の重要課題

- ・「医療・福祉サービスの確保」の割合が最も高い。
- ・項目については、前回（R5）の調査結果と比べ順位の変動はあるものの、上位9位内は同じである。
- ・前回（R5）の調査結果に比べ、特に「医療・福祉サービスの確保」「人口減少への対応」「道路環境の整備や公共交通の充実」の割合が上昇し、「少子化対策」の割合が低下している

問7 あなたは、今後、高山市がどのようなことに重点的に取り組むべきだとお考えですか。
（3つまで○印）

順位		回答数 (件)	回答率 (%)	前回（R5）	
				順位	回答率(%)
1	医療・福祉サービスの確保	536	43.4	2	40.6
2	急激な高齢者の増加への対応	527	42.7	1	42.2
3	人口減少への対応	414	33.5	4	30.2
4	少子化対策	325	26.3	3	30.9
5	雇用の場の創出	234	18.9	5	19.6
6	地域経済の活性化	229	18.5	6	17.0
7	地震や豪雨災害などへの備え	203	16.4	7	14.6
8	道路環境の整備や公共交通の充実	173	14.0	8	10.9
9	農林畜産業の振興	127	10.3	9	9.1
10	安全安心の確保	90	7.3	14	5.5
11	学校教育や生涯学習の充実	85	6.9	12	7.8
12	地域力の向上や魅力ある地域づくり	84	6.8	10	8.8
13	自然環境の保全	79	6.4	11	8.2
14	効率的で持続可能な行財政運営の推進	68	5.5	15	4.9
15	観光の振興	66	5.3	13	5.8
16	伝統文化の保存・活用	55	4.5	17	4.4
17	自然エネルギーへの転換	34	2.8	16	4.7
18	郷土への誇り・愛着の醸成	34	2.8	20	2.0
19	文化芸術の振興	21	1.7	18	2.4
20	海外戦略	19	1.5	19	2.2
	その他	55	4.5		2.9
	無回答	7	0.6		1.1
	計	3,465			

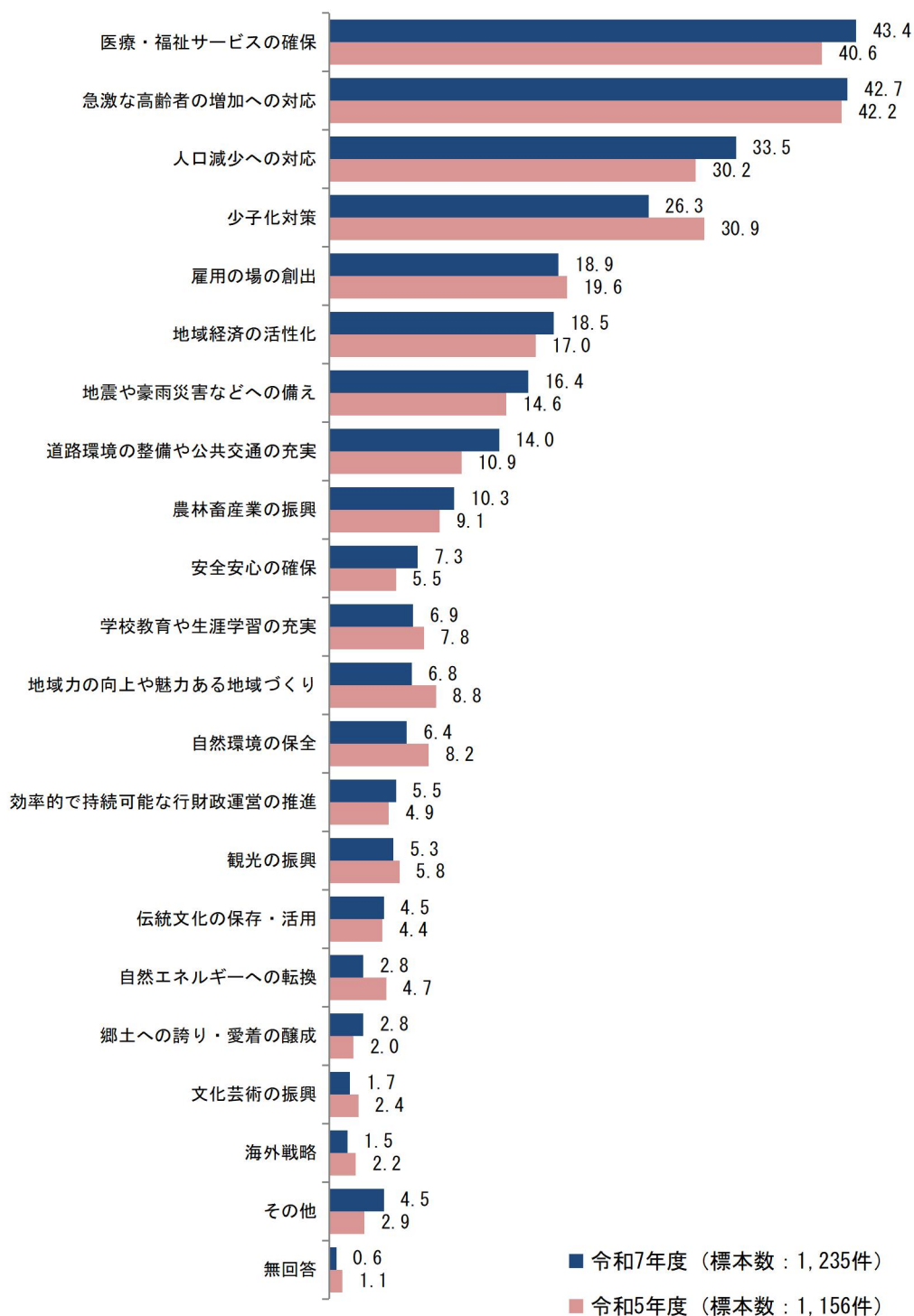
（標本数：1,235 件）

（標本数：1,156 件）

※「その他」内容

- ・「子育て環境の充実」、「若者の定住促進」 など

(単位：%)



属性別集計（年齢別）

		年齢					
		10代・20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
標本数（件）		58	121	179	194	269	403
今後の重要課題（％）	医療・福祉サービスの確保	32.8	33.1	35.8	45.9	48.7	46.2
	急激な高齢者の増加への対応	10.3	20.7	35.8	42.8	48.0	53.6
	人口減少への対応	20.7	29.8	30.2	30.4	33.1	39.5
	少子化対策	43.1	52.1	20.7	23.7	27.9	19.1
	雇用の場の創出	22.4	20.7	17.9	25.3	21.6	13.9
	地域経済の活性化	22.4	18.2	21.8	23.7	19.0	14.1
	地震や豪雨災害などへの備え	10.3	9.9	17.3	14.4	19.7	17.9
	道路環境の整備や公共交通の充実	17.2	15.7	15.6	12.9	14.1	12.4
	農林畜産業の振興	10.3	9.1	11.7	7.7	9.3	11.9
	安全安心の確保	3.4	6.6	5.0	4.6	7.4	9.9
	学校教育や生涯学習の充実	8.6	18.2	16.2	4.6	4.5	2.0
	地域力の向上や魅力ある地域づくり	8.6	7.4	6.1	5.2	6.3	7.4
	自然環境の保全	8.6	6.6	7.3	5.7	5.9	6.5
	効率的で持続可能な行財政運営の推進	3.4	6.6	5.6	5.7	4.8	5.5
	観光の振興	6.9	5.0	7.8	4.6	7.4	3.2
	伝統文化の保存・活用	10.3	3.3	6.7	3.1	4.8	3.5
	自然エネルギーへの転換	1.7	1.7	5.6	0.5	3.0	3.0
	郷土への誇り・愛着の醸成	1.7	2.5	3.4	1.0	1.9	4.2
	文化芸術の振興	6.9	1.7	0.6	1.0	2.2	1.5
	海外戦略	5.2	4.1	1.1	1.5	1.9	0.2
	その他	10.3	4.1	6.1	5.7	4.5	2.5
	無回答	0.0	0.0	0.6	0.5	0.4	1.0

【年齢別】

- ・ 40代から60代は「医療・福祉サービスの確保」の割合が最も高い（40代は「急激な高齢者の増加への対応」が同率）。
- ・ 70代以上は「急激な高齢者の増加への対応」の割合が最も高い。
- ・ 30代以下は「少子化対策」の割合が最も高い。

属性別集計（居住地域別）

		居住地域											
		高山地域	東地区	西地区	南地区	北地区	山王地区	江名子地区	新宮地区	三枝地区	大八地区	岩滝地区	花里地区
標本数（件）		786	68	83	94	118	109	53	71	39	68	12	71
今後の重要課題（％）	医療・福祉サービスの確保	45.2	42.6	42.2	44.7	47.5	48.6	45.3	40.8	41.0	45.6	33.3	50.7
	急激な高齢者の増加への対応	42.1	39.7	48.2	39.4	47.5	42.2	41.5	31.0	25.6	48.5	41.7	46.5
	人口減少への対応	31.6	32.4	32.5	37.2	28.8	28.4	26.4	29.6	35.9	27.9	33.3	38.0
	少子化対策	25.6	19.1	21.7	28.7	33.1	22.9	24.5	19.7	33.3	27.9	25.0	23.9
	雇用の場の創出	19.7	26.5	12.0	22.3	17.8	21.1	13.2	31.0	20.5	22.1	8.3	12.7
	地域経済の活性化	18.7	17.6	16.9	27.7	12.7	20.2	18.9	16.9	20.5	20.6	0.0	19.7
	地震や豪雨災害などへの備え	17.6	16.2	14.5	18.1	16.1	22.0	11.3	14.1	23.1	20.6	33.3	16.9
	道路環境の整備や公共交通の充実	14.2	10.3	10.8	18.1	12.7	12.8	13.2	16.9	15.4	19.1	50.0	8.5
	農林畜産業の振興	8.9	5.9	6.0	8.5	6.8	6.4	15.1	7.0	17.9	17.6	16.7	5.6
	安全安心の確保	8.3	11.8	8.4	11.7	5.9	6.4	9.4	8.5	5.1	11.8	8.3	4.2
	学校教育や生涯学習の充実	7.9	7.4	3.6	5.3	10.2	5.5	15.1	7.0	15.4	1.5	8.3	14.1
	地域力の向上や魅力ある地域づくり	5.7	4.4	4.8	4.3	6.8	4.6	9.4	5.6	0.0	7.4	16.7	7.0
	自然環境の保全	6.2	2.9	4.8	6.4	8.5	8.3	3.8	8.5	7.7	2.9	0.0	7.0
	効率的で持続可能な行財政運営の推進	6.4	2.9	6.0	10.6	4.2	8.3	1.9	8.5	7.7	4.4	0.0	8.5
	観光の振興	5.6	10.3	9.6	6.4	5.1	6.4	1.9	8.5	0.0	0.0	0.0	4.2
	伝統文化の保存・活用	3.8	2.9	10.8	1.1	1.7	6.4	1.9	4.2	0.0	2.9	0.0	4.2
	自然エネルギーへの転換	3.1	2.9	1.2	3.2	2.5	2.8	5.7	2.8	2.6	8.8	0.0	0.0
	郷土への誇り・愛着の醸成	2.5	2.9	2.4	2.1	4.2	1.8	0.0	4.2	2.6	2.9	0.0	1.4
	文化芸術の振興	1.8	1.5	4.8	6.4	0.8	0.0	0.0	2.8	0.0	0.0	0.0	0.0
	海外戦略	1.5	2.9	2.4	1.1	0.8	0.9	0.0	2.8	2.6	1.5	8.3	0.0
	その他	5.5	7.4	7.2	5.3	5.1	0.9	7.5	8.5	5.1	7.4	0.0	4.2
	無回答	0.5	0.0	1.2	0.0	0.0	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4

属性別集計（居住地域別）

		居住地域								
		丹生川地域	清見地域	莊川地域	一之宮地域	久々野地域	朝日地域	高根地域	国府地域	上宝・奥飛騨温泉郷地域
標本数（件）		57	44	25	41	51	31	10	98	56
今後の重要課題（％）	医療・福祉サービスの確保	38.6	45.5	28.0	46.3	37.3	48.4	20.0	41.8	41.1
	急激な高齢者の増加への対応	33.3	52.3	52.0	43.9	56.9	45.2	70.0	38.8	42.9
	人口減少への対応	40.4	36.4	60.0	29.3	33.3	48.4	50.0	30.6	44.6
	少子化対策	33.3	27.3	24.0	19.5	23.5	29.0	30.0	29.6	26.8
	雇用の場の創出	22.8	15.9	12.0	12.2	19.6	9.7	20.0	18.4	23.2
	地域経済の活性化	7.0	15.9	0.0	34.1	29.4	19.4	0.0	22.4	19.6
	地震や豪雨災害などへの備え	12.3	6.8	20.0	19.5	19.6	22.6	0.0	14.3	8.9
	道路環境の整備や公共交通の充実	14.0	15.9	16.0	14.6	13.7	9.7	30.0	7.1	23.2
	農林畜産業の振興	10.5	25.0	28.0	7.3	5.9	12.9	0.0	13.3	8.9
	安全安心の確保	7.0	0.0	8.0	2.4	5.9	3.2	10.0	6.1	3.6
	学校教育や生涯学習の充実	5.3	4.5	0.0	4.9	3.9	3.2	0.0	10.2	3.6
	地域力の向上や魅力ある地域づくり	7.0	4.5	12.0	4.9	9.8	9.7	30.0	11.2	1.8
	自然環境の保全	10.5	4.5	16.0	7.3	2.0	6.5	0.0	3.1	7.1
	効率的で持続可能な行財政運営の推進	3.5	2.3	12.0	2.4	2.0	0.0	0.0	6.1	5.4
	観光の振興	8.8	2.3	4.0	7.3	0.0	6.5	0.0	4.1	7.1
	伝統文化の保存・活用	3.5	13.6	0.0	14.6	2.0	9.7	0.0	1.0	3.6
	自然エネルギーへの転換	0.0	0.0	0.0	7.3	3.9	0.0	0.0	2.0	1.8
	郷土への誇り・愛着の醸成	5.3	0.0	0.0	4.9	2.0	3.2	10.0	2.0	1.8
	文化芸術の振興	3.5	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	1.8
	海外戦略	0.0	0.0	0.0	2.4	3.9	0.0	0.0	2.0	1.8
	その他	5.3	4.5	0.0	2.4	0.0	0.0	0.0	3.1	3.6
	無回答	1.8	0.0	0.0	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0

【居住地域別】

- ・全20地域（地区）中11地域で「医療・福祉サービスの確保」の割合が最も高い。それ以外の地域（地区）では高山地域は「急激な高齢者の増加への対応」の割合が最も高く、支所地域では「人口減少への対応」の割合が最も高い。

属性別集計（家族構成別）

		家族構成						
		単身世帯	夫婦のみ	二世代世帯	（うち中学生以下の子と同居）	三世代世帯	（うち中学生以下の子と同居）	その他
標本数（件）		119	344	540	(175)	181	(95)	27
今後の重要課題（％）	医療・福祉サービスの確保	46.2	47.1	43.0	(37.7)	37.0	(40.0)	37.0
	急激な高齢者の増加への対応	37.8	51.5	37.0	(30.3)	39.8	(36.8)	63.0
	人口減少への対応	27.7	38.4	33.1	(29.7)	32.0	(35.8)	22.2
	少子化対策	16.8	24.7	27.8	(37.7)	32.0	(41.1)	25.9
	雇用の場の創出	19.3	16.0	20.6	(23.4)	18.2	(10.5)	29.6
	地域経済の活性化	32.8	18.3	17.8	(18.9)	14.9	(16.8)	11.1
	地震や豪雨災害などへの備え	16.0	16.3	16.5	(10.9)	18.2	(14.7)	11.1
	道路環境の整備や公共交通の充実	18.5	11.9	13.9	(13.7)	13.8	(11.6)	25.9
	農林畜産業の振興	7.6	9.3	10.0	(11.4)	14.9	(15.8)	11.1
	安全安心の確保	11.8	6.4	6.7	(4.6)	6.1	(8.4)	14.8
	学校教育や生涯学習の充実	5.0	4.1	8.7	(19.4)	8.3	(12.6)	7.4
	地域力の向上や魅力ある地域づくり	6.7	7.0	6.1	(6.3)	7.7	(9.5)	7.4
	自然環境の保全	6.7	7.3	6.7	(4.6)	5.0	(7.4)	0.0
	効率的で持続可能な行財政運営の推進	9.2	5.2	5.4	(8.0)	4.4	(5.3)	3.7
	観光の振興	9.2	4.9	5.2	(2.9)	5.0	(3.2)	0.0
	伝統文化の保存・活用	10.1	3.5	3.7	(3.4)	5.5	(5.3)	0.0
	自然エネルギーへの転換	5.9	1.5	3.1	(2.9)	2.2	(3.2)	3.7
	郷土への誇り・愛着の醸成	4.2	3.5	1.1	(1.1)	5.5	(5.3)	0.0
	文化芸術の振興	5.0	1.2	1.9	(1.7)	0.6	0.0	0.0
	海外戦略	4.2	0.6	1.9	(2.9)	1.1	(1.1)	0.0
	その他	0.8	3.5	5.0	(4.0)	7.2	(5.3)	3.7
	無回答	0.0	0.6	0.9	(1.1)	0.0	0.0	0.0

【家族構成別】

- ・単身世帯と二世代世帯では「医療・福祉サービスの確保」の割合が最も多い。それ以外の家族構成では「急激な高齢者の増加への対応」の割合が最も高い。

属性別集計（職業別）

		職業							
		農林畜産業	自営業	会社員・公務員・団体職員	パート・アルバイト・内職	家事従事者	学生	無職	その他
標本数（件）		71	137	406	220	63	9	280	27
今後の重要課題（％）	医療・福祉サービスの確保	32.4	36.5	40.6	50.9	47.6	44.4	49.3	22.2
	急激な高齢者の増加への対応	33.8	37.2	36.2	44.5	42.9	33.3	55.4	25.9
	人口減少への対応	40.8	40.9	30.0	29.5	36.5	44.4	36.1	33.3
	少子化対策	35.2	23.4	33.3	22.3	15.9	33.3	20.7	29.6
	雇用の場の創出	9.9	13.1	22.2	26.4	14.3	11.1	15.4	18.5
	地域経済の活性化	22.5	27.7	22.4	9.5	17.5	11.1	14.3	25.9
	地震や豪雨災害などへの備え	12.7	15.3	15.0	16.4	19.0	0.0	18.6	25.9
	道路環境の整備や公共交通の充実	9.9	13.9	16.5	13.6	17.5	11.1	11.4	11.1
	農林畜産業の振興	42.3	6.6	7.1	7.7	12.7	0.0	10.4	3.7
	安全安心の確保	4.2	7.3	6.2	4.5	9.5	0.0	11.1	7.4
	学校教育や生涯学習の充実	2.8	4.4	9.9	8.2	7.9	0.0	2.9	22.2
	地域力の向上や魅力ある地域づくり	7.0	5.8	5.4	8.2	9.5	11.1	6.8	7.4
	自然環境の保全	11.3	8.8	5.2	7.7	1.6	11.1	6.1	0.0
	効率的で持続可能な行財政運営の推進	2.8	6.6	5.2	4.1	6.3	0.0	6.8	11.1
	観光の振興	5.6	10.9	4.2	5.5	4.8	0.0	4.3	11.1
	伝統文化の保存・活用	2.8	9.5	4.2	2.3	4.8	22.2	3.9	7.4
	自然エネルギーへの転換	4.2	2.9	2.5	3.6	1.6	0.0	2.5	3.7
	郷土への誇り・愛着の醸成	0.0	2.2	2.7	1.8	6.3	0.0	4.3	0.0
	文化芸術の振興	1.4	4.4	1.0	1.8	1.6	0.0	1.8	0.0
	海外戦略	0.0	2.9	2.5	0.5	0.0	0.0	1.1	3.7
	その他	2.8	4.4	4.7	5.0	1.6	22.2	2.5	18.5
	無回答	1.4	0.0	0.0	0.9	0.0	0.0	1.4	0.0

【職業別】

- ・会社員・公務員・団体職員、パート・アルバイト・内職、家事従事者、学生は「医療・福祉サービスの確保」の割合が最も高い（学生は「人口減少への対応」が同率）。
- ・自営業、学生、その他は「人口減少への対応」の割合が最も高い。
- ・農林畜産業は「農林畜産業の振興」の割合が、無職は「急激な高齢者の増加への対応」の割合がそれぞれ最も高い。

属性別集計（定住年数別）

		定住年数				
		1 年 未 満	1 年 以 上 ～ 5 年 未 満	5 年 以 上 ～ 10 年 未 満	10 年 以 上 ～ 20 年 未 満	20 年 以 上
標本数（件）		19	45	41	73	1,046
今後の重要課題（％）	医療・福祉サービスの確保	26.3	20.0	19.5	39.7	46.0
	急激な高齢者の増加への対応	21.1	17.8	24.4	32.9	45.2
	人口減少への対応	47.4	26.7	26.8	31.5	33.9
	少子化対策	26.3	40.0	36.6	28.8	25.3
	雇用の場の創出	10.5	17.8	22.0	19.2	19.1
	地域経済の活性化	52.6	22.2	24.4	17.8	17.7
	地震や豪雨災害などへの備え	0.0	13.3	17.1	11.0	17.2
	道路環境の整備や公共交通の充実	5.3	13.3	24.4	8.2	14.3
	農林畜産業の振興	5.3	11.1	7.3	13.7	10.1
	安全安心の確保	0.0	4.4	0.0	8.2	7.6
	学校教育や生涯学習の充実	5.3	24.4	14.6	13.7	5.4
	地域力の向上や魅力ある地域づくり	15.8	8.9	7.3	9.6	6.4
	自然環境の保全	0.0	6.7	12.2	6.8	6.3
	効率的で持続可能な行財政運営の推進	5.3	6.7	9.8	4.1	5.4
	観光の振興	26.3	11.1	7.3	6.8	4.6
	伝統文化の保存・活用	15.8	13.3	2.4	5.5	3.9
	自然エネルギーへの転換	0.0	4.4	4.9	4.1	2.6
	郷土への誇り・愛着の醸成	0.0	6.7	0.0	4.1	2.7
	文化芸術の振興	5.3	0.0	9.8	4.1	1.2
	海外戦略	0.0	8.9	0.0	2.7	1.2
	その他	5.3	6.7	9.8	4.1	4.2
	無回答	0.0	0.0	0.0	1.4	0.6

【定住年数別】

- ・ 10年以上は「医療・福祉サービスの確保」の割合が最も高い。
- ・ 1年以上～10年未満は「少子化対策」の割合が最も高い。
- ・ 1年未満は「人口減少への対応」の割合が最も高い。

3 取り組みの現在の満足度

- ・満足度の高い分野は、高い順に「上下水道」分野（89.3%）、「観光」分野（87.7%）、「生活環境」分野（86.2%）となっている。
- ・上位3分野について、初回調査（H26）からの順位の変化については下記のとおり
 - 「上下水道」：初回調査の2位以降は1位で順位が高い状態で推移
 - 「観光」：初回調査の4位から、順位が低下（R4調査で最低11位）したが、年々上昇
 - 「生活環境」：初回調査の1位から、順位が高い状態で推移（最低4位）
- ・満足度の低い分野は、低い順に「土地利用」分野（28.9%）、「産業人材」分野（32.3%）、「商業」分野（34.1%）となっている。
- ・下位3分野について、初回調査（H26）からの順位の変化については下記のとおり
 - 「土地利用」：初回調査以降、下位から2位又は3位で推移
 - 「産業人材」：初回調査（H31～）の36位から、低い順位を推移
 - 「商業」：初回調査の33位から、最高で28位の時もあったが、低い順位を推移
- ・前回（R5）の調査結果に比べ、特に「スポーツ」分野、「住宅・公園」分野の順位が大きく上昇している。

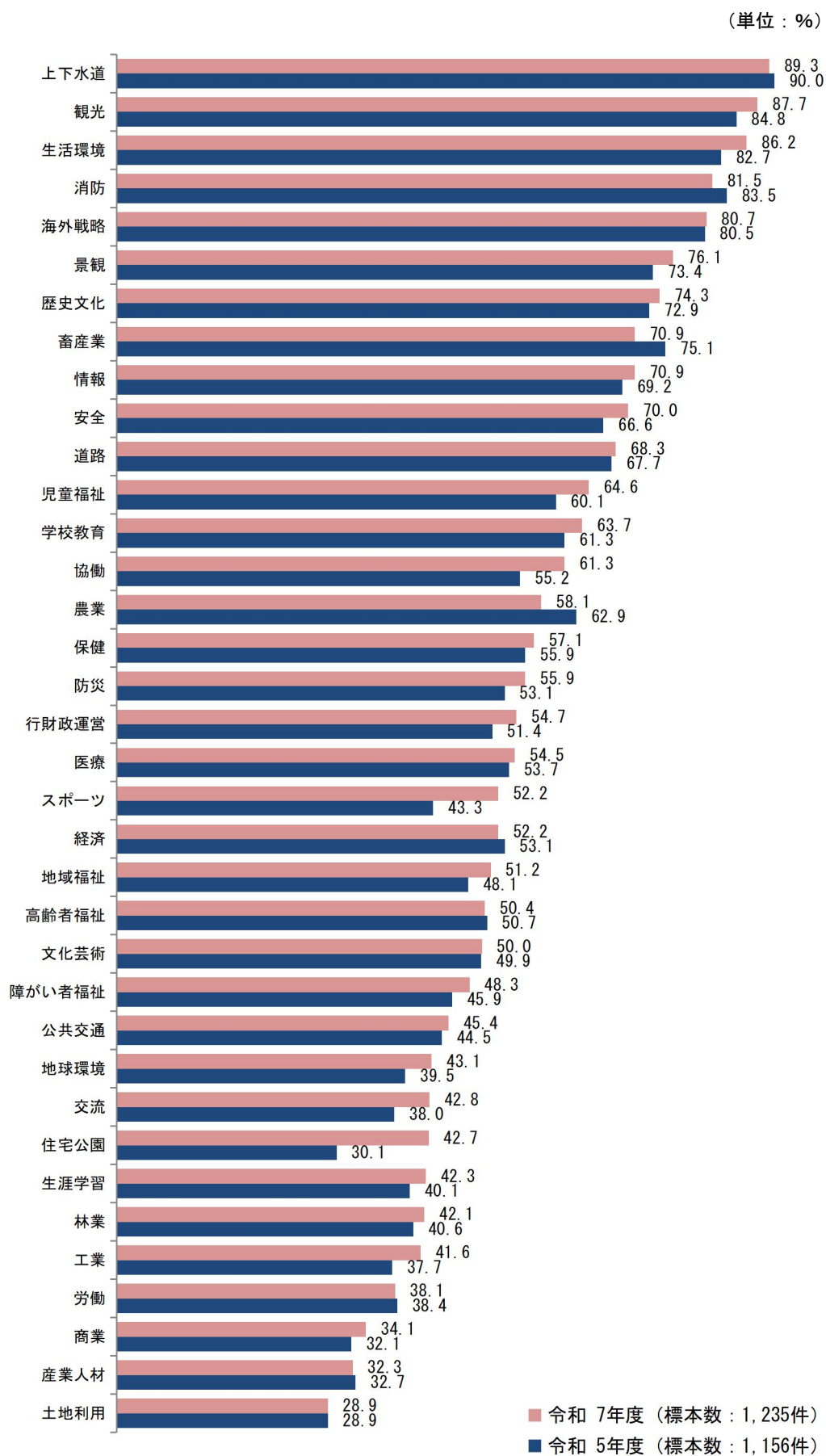
問8 あなたは、現在の高山市の行政サービスやまちづくりに関して、どのように感じていますか。
（現在の満足度）

（設問ごとにあてはまる番号にそれぞれ1つに○印）

（満足度の算出方法）

$$\text{満足度} = \frac{\text{「感じている」、「やや感じている」の合計}}{\text{「感じている」、「やや感じている」、「あまり感じない」、「感じていない」の合計}}$$

順位	満足度 (%)	分野	設問	回答数（件）					前回調査 (R5)	
			満足度指標	感じている	やや 感じている	あまり 感じない	感じて いない	無回答	順位	満足度 (%)
1	89.3%	上下水道	あなたは、「安全でおいしい水が提供され、污水处理が適切に行われている」と感じていますか。	711	375	113	17	19	1	90.0%
2	87.7%	観光	あなたは、「観光客で市内がにぎわい、観光産業が活性化している」と感じていますか。	653	405	111	38	28	2	84.8%
3	86.2%	生活環境	あなたは、「ごみ処理や分別収集が適切に行われ、良好な生活環境が保たれている」と感じていますか。	530	515	137	30	23	4	82.7%
4	81.5%	消防	あなたは、「消防・救急救助体制が整っている」と感じていますか。	422	561	190	33	29	3	83.5%
5	80.7%	海外戦略	あなたは、「外国人で市内がにぎわい、海外との人や物の交流が進んでいる」と感じていますか。	603	374	185	48	25	5	80.5%
6	76.1%	景観	あなたは、「町並み景観や農山村景観など地域の美しい景観が保たれている」と感じていますか。	383	535	236	52	29	7	73.4%
7	74.3%	歴史文化	あなたは、「文化財や伝承芸能が保存・継承され、郷土の歴史文化に誇りを持っている」と感じていますか。	369	522	255	54	35	8	72.9%
8	70.9%	畜産業	あなたは、「地元の畜産物が広く消費され、畜産業が活性化している」と感じていますか。	327	529	298	53	28	6	75.1%
	70.9%	情報	あなたは、「テレビ、ラジオ、インターネットなどを快適に視聴・利用できる環境が整っている」と感じていますか。	402	452	282	69	30	9	69.2%
10	70.0%	安全	あなたは、「犯罪や交通事故などが少なく、安全に暮らせる環境が整っている」と感じていますか。	264	582	297	65	27	11	66.6%
11	68.3%	道路	あなたは、「安全で快適に移動できる道路環境が整っている」と感じていますか。	270	556	303	81	25	10	67.7%
12	64.6%	児童福祉	あなたは、「こどもが健やかに育つ環境が整っている」と感じていますか。	248	530	359	68	30	14	60.1%
13	63.7%	学校教育	あなたは、「学校・家庭・地域が連携した児童生徒の教育環境が整っている」と感じていますか。	247	512	358	75	43	13	61.3%
14	61.3%	協働	あなたは、「市民、地域、行政が協働してまちづくりに取り組んでいる」と感じていますか。	217	523	391	76	28	16	55.2%
15	58.1%	農業	あなたは、「地元の農産物が広く消費され、農業が活性化している」と感じていますか。	199	503	419	87	27	12	62.9%
16	57.1%	保健	あなたは、「主体的な健康づくりや病気の予防に取り組む環境が整っている」と感じていますか。	202	492	440	82	19	15	55.9%
17	55.9%	防災	あなたは、「災害から命・財産を守るための準備や体制が整っている」と感じていますか。	173	500	442	89	31	18	53.1%
18	54.7%	行財政運営	あなたは、「効率的で良質な行政サービスが提供されている」と感じていますか。	194	464	438	108	31	20	51.4%
19	54.5%	医療	あなたは、「安心して医療を受けられる環境が整っている」と感じていますか。	248	418	392	164	13	17	53.7%
20	52.2%	スポーツ	あなたは、「スポーツをしたり、楽しんだりできる環境が整っている」と感じていますか。	177	448	462	110	38	26	43.3%
	52.2%	経済	あなたは、「市内で生産されたものが市内で販売、消費されるなど、地域内で経済が循環している」と感じていますか。	180	449	479	98	29	19	53.1%
22	51.2%	地域福祉	あなたは、「地域で支え合い、安心して暮らせる環境が整っている」と感じていますか。	150	471	488	105	21	23	48.1%
23	50.4%	高齢者福祉	あなたは、「高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らせる環境が整っている」と感じていますか。	161	454	475	130	15	21	50.7%
24	50.0%	文化芸術	あなたは、「文化芸術を鑑賞したり、活動が支援されて発表したりできる環境が整っている」と感じていますか。	172	429	482	119	33	22	49.9%
25	48.3%	障がい者福祉	あなたは、「障がい者が必要な支援を受け、自立して暮らせる環境が整っている」と感じていますか。	151	432	490	133	29	24	45.9%
26	45.4%	公共交通	あなたは、「日常的に利用できる公共交通体系が整っている」と感じていますか。	205	345	421	240	24	25	44.5%
27	43.1%	地球環境	あなたは、「自然環境の保全や自然エネルギーの活用をはじめ、地球環境を守る取り組みが進んでいる」と感じていますか。	166	350	545	135	39	29	39.5%
28	42.8%	交流	あなたは、「国内外の都市と様々な分野において交流が進んでいる」と感じていますか。	150	363	525	160	37	31	38.0%
29	42.7%	住宅公園	あなたは、「身近に憩える公園があり、快適な住宅環境が整っている」と感じていますか。	162	353	480	212	28	35	30.1%
30	42.3%	生涯学習	あなたは、「生涯学習に取り組む機会や学習成果を活かすことができる環境が整っている」と感じていますか。	129	374	576	111	45	28	40.1%
31	42.1%	林業	あなたは、「地元の木材が広く利用され、林業・木材産業が活性化している」と感じていますか。	142	366	518	180	29	27	40.6%
32	41.6%	工業	あなたは、「個性・魅力あるものづくりが行われ、工業が活性化している」と感じていますか。	119	381	580	122	33	32	37.7%
33	38.1%	労働	あなたは、「若者、女性をはじめ、働く意欲のある人の就労の場が確保されている」と感じていますか。	95	363	590	153	34	30	38.4%
34	34.1%	商業	あなたは、「個性・魅力ある商店経営が行われ、商業が活性化している」と感じていますか。	127	284	563	231	30	34	32.1%
35	32.3%	産業人材	あなたは、「地域産業が受け継がれるための人材の確保・後継者育成が進んでいる」と感じていますか。	107	281	639	174	34	33	32.7%
36	28.9%	土地利用	あなたは、「保全と開発とのバランスのとれた秩序ある土地利用が行われている」と感じていますか。	95	250	632	216	42	36	28.9%



属性別集計（年齢別）

		年齢					
		10代・20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
標本数（件）		58	121	179	194	269	403
取り組みに対する満足度（％）	上下水道	87.9	86.0	92.7	92.7	86.6	89.1
	観光	98.3	90.9	87.6	89.1	87.4	84.7
	生活環境	75.9	85.1	84.9	85.9	83.6	90.6
	消防	81.0	79.3	72.6	75.0	79.5	91.3
	海外戦略	91.4	86.0	87.7	82.4	82.2	73.0
	景観	86.2	87.6	74.9	82.8	70.9	72.0
	歴史文化	84.5	76.0	71.2	76.7	69.5	76.1
	畜産業	77.6	73.6	77.1	71.0	72.5	65.3
	情報	79.3	71.9	68.7	67.4	65.7	75.6
	安全	79.3	77.7	64.2	69.9	63.4	73.4
	道路	74.1	72.7	66.5	70.5	63.9	69.3
	児童福祉	75.9	68.3	60.3	61.7	61.7	67.6
	学校教育	69.0	65.3	62.9	62.5	60.7	66.2
	協働	56.9	61.2	60.9	60.1	58.3	65.4
	農業	79.3	61.2	61.2	56.8	56.9	54.3
	保健	58.6	54.5	51.4	47.2	54.6	67.4
	防災	65.5	57.0	51.7	55.4	51.3	59.6
	行財政運営	62.1	59.5	46.9	49.7	50.0	61.4
	医療	63.8	54.5	41.3	45.1	48.3	68.4
	スポーツ	63.8	54.5	50.0	51.8	45.5	56.2
	経済	67.2	57.9	56.2	49.2	46.8	51.3
	地域福祉	58.6	62.8	47.2	51.8	45.0	52.8
	高齢者福祉	63.8	56.2	52.8	43.0	46.1	52.4
	文化芸術	60.3	57.9	52.8	48.7	43.3	50.4
	障がい者福祉	65.5	56.2	43.3	45.6	38.7	54.2
	公共交通	55.2	53.7	43.0	39.1	41.3	49.0
	地球環境	62.1	57.9	40.3	42.7	34.2	43.7
	交流	58.6	44.6	45.8	39.6	40.4	42.0
	住宅公園	62.1	58.7	43.6	42.7	36.1	39.4
	生涯学習	51.7	45.8	39.3	39.6	37.7	46.0
	林業	53.4	57.9	53.9	47.4	33.7	33.1
	工業	56.9	50.4	41.6	37.8	39.6	40.0
	労働	56.9	43.0	35.8	37.2	29.7	41.9
	商業	53.4	50.4	32.4	29.7	27.9	34.0
	産業人材	44.8	26.4	27.5	32.8	28.1	37.8
	土地利用	41.4	38.0	25.8	31.8	24.5	27.3

【年齢別】

- ・30代以下と60代は「観光」、40代と50代は「上下水道」、70代以上は「消防」の割合が最も高い。

属性別集計（居住地域別）

		居住地域（高山地域）											
		高山地域	東地区	西地区	南地区	北地区	山王地区	江名子地区	新宮地区	三枝地区	大八地区	岩滝地区	花里地区
標本数（件）		786	68	83	94	118	109	53	71	39	68	12	71
取り組みに対する満足度（％）	上下水道	89.8	85.3	91.4	88.3	89.7	90.7	90.4	89.9	92.3	88.1	91.7	92.6
	観光	89.0	88.2	87.8	86.0	89.7	90.6	88.7	89.9	87.2	91.2	90.9	89.6
	生活環境	86.3	86.6	82.7	77.7	84.7	90.7	90.2	89.9	87.2	86.6	90.9	89.4
	消防	82.6	79.1	81.3	77.7	86.1	76.6	86.5	82.6	87.2	80.6	100.0	91.3
	海外戦略	81.9	83.8	79.0	82.8	82.9	84.1	75.0	82.6	84.6	74.6	100.0	83.8
	景観	77.1	73.1	78.5	61.7	78.6	82.2	80.4	81.2	73.7	80.6	81.8	81.2
	歴史文化	77.6	77.9	77.8	77.4	78.4	77.8	80.4	76.9	74.4	80.3	72.7	74.6
	畜産業	71.7	72.1	82.7	68.5	73.3	75.0	71.2	65.2	66.7	62.7	75.0	73.1
	情報	74.2	68.7	71.3	67.0	67.5	72.6	76.5	85.5	76.9	86.6	91.7	76.5
	安全	69.9	66.7	74.1	64.9	67.2	66.4	66.0	81.2	79.5	64.2	81.8	74.3
	道路	68.3	62.7	65.0	70.2	61.2	70.1	74.5	75.4	76.9	59.7	83.3	72.9
	児童福祉	63.2	61.8	53.2	59.1	65.2	66.4	65.4	66.2	68.4	61.8	63.6	67.2
	学校教育	61.6	55.9	51.3	54.9	65.5	60.4	66.7	61.8	65.8	65.2	90.9	69.2
	協働	61.1	58.8	62.5	52.1	63.5	58.3	67.3	69.1	63.2	55.2	75.0	63.6
	農業	59.4	71.6	57.5	52.1	63.2	55.7	67.3	52.2	69.2	55.9	83.3	53.7
	保健	56.5	51.5	54.9	48.9	53.8	56.5	60.8	56.5	66.7	58.8	75.0	64.2
	防災	54.9	61.2	58.8	37.6	54.7	50.0	49.0	62.3	56.4	59.7	63.6	65.2
	行財政運営	54.5	56.7	50.6	52.7	54.8	54.2	51.0	55.1	56.4	47.8	63.6	65.2
	医療	53.3	58.8	55.6	39.4	55.1	52.8	60.4	46.4	61.5	51.5	81.8	55.7
	スポーツ	51.6	47.1	50.6	44.1	42.2	62.3	43.1	61.8	61.5	47.8	72.7	57.6
	経済	53.3	47.8	53.1	45.2	56.0	50.5	66.0	56.5	61.5	48.5	72.7	53.7
	地域福祉	49.7	52.9	43.8	43.6	53.0	47.2	57.7	51.5	59.0	41.2	72.7	52.2
	高齢者福祉	49.0	54.4	46.3	36.2	44.9	57.4	49.1	53.7	69.2	39.7	66.7	47.8
	文化芸術	48.6	52.9	47.5	45.2	50.0	48.6	51.0	47.1	46.2	47.0	54.5	50.0
	障がい者福祉	49.8	50.0	46.3	38.3	47.0	55.1	57.7	58.2	57.9	41.2	81.8	50.7
	公共交通	48.4	45.6	56.3	43.0	48.7	48.1	47.1	56.5	51.3	34.3	45.5	55.2
	地球環境	43.8	50.7	34.2	34.4	40.0	42.3	46.0	52.2	39.5	46.3	63.6	56.7
	交流	44.5	44.8	40.5	47.3	46.6	40.2	44.0	46.3	43.6	41.8	72.7	46.2
	住宅公園	44.1	45.6	38.0	43.6	45.3	47.2	36.5	72.5	38.5	22.7	45.5	43.9
	生涯学習	41.2	44.8	46.8	32.3	41.2	40.6	38.0	42.6	38.5	39.4	54.5	46.8
	林業	42.7	53.7	45.0	33.3	44.4	41.5	49.0	36.2	38.5	38.2	54.5	47.8
	工業	42.8	58.2	44.4	30.8	47.9	39.8	41.2	37.7	53.8	32.4	58.3	46.2
	労働	36.9	44.8	29.1	22.6	31.0	42.5	49.0	35.8	43.6	38.2	66.7	40.3
	商業	34.2	38.2	25.0	28.0	33.3	38.0	36.5	34.8	38.5	35.3	58.3	35.3
	産業人材	30.0	29.9	32.5	28.0	23.1	29.2	31.4	30.9	35.9	28.4	58.3	34.3
	土地利用	27.9	30.9	17.7	22.6	30.2	31.8	34.0	29.0	23.7	24.6	63.6	28.6

属性別集計（居住地域別）

		居住地域（支所地域）								
		丹生川地域	清見地域	莊川地域	一之宮地域	久々野地域	朝日地域	高根地域	国府地域	奥飛驒温泉郷地域 上宝・
標本数（件）		57	44	25	41	51	31	10	98	56
取り組みに対する満足度（％）	上下水道	82.5	93.2	100.0	85.0	88.2	87.1	80.0	91.7	87.0
	観光	91.2	88.6	66.7	90.0	81.6	83.3	100.0	89.4	75.9
	生活環境	80.7	81.4	83.3	90.2	86.3	90.3	100.0	87.5	85.2
	消防	73.7	79.5	91.3	77.5	74.0	71.0	88.9	87.4	79.6
	海外戦略	87.7	70.5	70.8	85.0	75.5	70.0	88.9	78.1	83.3
	景観	86.0	76.7	87.0	73.2	64.0	51.6	88.9	83.2	61.1
	歴史文化	77.2	59.1	79.2	65.0	66.7	61.3	55.6	72.0	56.6
	畜産業	66.1	68.2	70.8	64.1	65.3	74.2	77.8	71.9	74.1
	情報	56.1	56.8	73.9	58.5	61.2	48.4	60.0	77.9	66.7
	安全	71.9	61.4	82.6	73.2	50.0	71.0	80.0	81.1	66.7
	道路	68.4	70.5	78.3	63.4	68.0	64.5	60.0	80.9	53.7
	児童福祉	59.6	62.8	87.5	73.2	70.6	48.4	87.5	70.8	64.8
	学校教育	61.4	65.9	87.5	64.1	70.6	64.5	75.0	69.9	71.7
	協働	56.1	59.1	66.7	58.5	66.7	61.3	100.0	61.1	61.1
	農業	61.4	54.5	54.2	40.0	60.0	41.9	77.8	58.9	59.3
	保健	45.6	52.3	66.7	65.9	68.0	45.2	70.0	65.3	52.7
	防災	49.1	53.5	78.3	46.3	66.0	51.6	66.7	65.3	51.9
	行財政運営	56.1	43.2	78.3	51.2	62.0	38.7	77.8	60.0	42.6
	医療	52.6	59.1	70.8	48.8	66.0	38.7	100.0	57.7	47.3
	スポーツ	49.1	45.5	66.7	46.2	60.0	54.8	50.0	52.7	54.7
	経済	43.9	54.5	50.0	40.0	44.0	30.0	77.8	56.3	55.6
	地域福祉	54.4	45.5	62.5	43.9	49.0	51.6	77.8	58.9	57.4
	高齢者福祉	33.3	61.4	70.8	35.0	64.7	45.2	60.0	59.4	54.5
	文化芸術	52.6	47.7	70.8	41.5	54.9	51.6	25.0	55.3	52.8
	障がい者福祉	33.9	40.9	54.2	28.2	58.0	32.3	77.8	52.1	40.7
	公共交通	35.1	34.1	45.8	36.6	39.2	32.3	66.7	56.3	27.8
	地球環境	38.6	34.1	56.5	34.1	46.0	22.6	55.6	52.6	43.4
	交流	33.3	25.0	45.8	39.0	56.9	35.5	62.5	40.4	40.7
	住宅公園	45.6	29.5	50.0	36.6	37.3	32.3	37.5	51.1	29.6
	生涯学習	40.4	36.4	66.7	45.0	48.0	38.7	55.6	43.5	38.9
	林業	45.6	34.1	37.5	41.5	46.0	36.7	33.3	39.6	33.3
	工業	36.4	41.9	33.3	25.0	46.9	25.8	55.6	48.4	38.9
	労働	45.6	44.2	37.5	33.3	41.2	19.4	55.6	43.2	38.9
	商業	32.1	36.4	26.1	30.8	36.7	26.7	55.6	36.2	34.0
	産業人材	31.6	36.4	41.7	41.0	38.8	33.3	55.6	37.9	27.8
	土地利用	35.1	19.0	37.5	30.0	44.9	22.6	22.2	31.9	24.1

【居住地域別】

- ・高山地域は、１１地区中８地区で「上下水道」の割合が最も高い。
- ・支所地域は、地域によってばらつきがあるものの、９地域中５地域で「上下水道」の割合が最も高い。

属性別集計（家族構成別）

		家族構成						
		単身世帯	夫婦のみ	二世代世帯	(うち中学生以下の子と同居)	三世代世帯	(うち中学生以下の子と同居)	その他
標本数（件）		119	344	540	(175)	181	(95)	27
取り組みに対する満足度（％）	上下水道	89.6	90.2	87.6	(86.3)	91.6	(91.6)	92.6
	観光	83.3	87.2	88.1	(88.4)	91.1	(92.6)	88.5
	生活環境	82.6	87.6	84.0	(82.9)	91.0	(94.7)	96.3
	消防	86.2	85.2	78.7	(77.1)	79.1	(74.5)	83.3
	海外戦略	76.5	80.8	82.9	(85.6)	79.3	(82.1)	84.6
	景観	71.6	75.4	76.7	(86.3)	79.1	(77.7)	80.0
	歴史文化	80.7	75.6	72.3	(77.0)	71.5	(69.5)	76.9
	畜産業	69.3	69.1	71.0	(71.8)	76.3	(79.6)	76.9
	情報	72.8	75.4	69.2	(69.1)	67.2	(72.3)	57.7
	安全	73.9	72.9	67.0	(70.3)	71.8	(71.3)	61.5
	道路	69.6	68.4	67.7	(68.0)	70.1	(67.0)	53.8
	児童福祉	70.0	60.9	63.1	(61.1)	73.6	(71.6)	61.5
	学校教育	65.5	60.2	62.8	(66.1)	71.5	(71.6)	61.5
	協働	55.3	62.3	60.1	(58.3)	67.0	(67.4)	53.8
	農業	61.9	57.1	56.7	(57.2)	66.1	(74.7)	42.3
	保健	62.4	58.8	53.8	(53.7)	59.8	(58.9)	59.3
	防災	62.3	56.2	53.8	(53.4)	56.3	(56.4)	52.0
	行財政運営	61.9	56.2	53.4	(54.9)	49.2	(46.8)	60.0
	医療	61.5	54.5	49.5	(48.0)	64.8	(62.1)	44.4
	スポーツ	62.2	46.9	51.0	(55.5)	57.5	(54.7)	57.7
	経済	51.3	51.6	51.9	(56.1)	57.0	(57.9)	46.2
	地域福祉	55.7	48.4	51.3	(53.1)	54.5	(52.6)	50.0
	高齢者福祉	61.5	45.6	48.3	(53.1)	56.4	(54.7)	55.6
	文化芸術	53.5	45.7	49.5	(54.0)	55.9	(57.9)	61.5
	障がい者福祉	52.2	44.6	46.3	(52.3)	56.7	(56.4)	53.8
	公共交通	44.2	45.6	44.6	(46.3)	46.4	(47.4)	50.0
	地球環境	49.6	39.6	42.9	(47.7)	46.9	(47.9)	32.0
	交流	47.3	40.7	40.4	(42.5)	49.4	(44.2)	42.3
	住宅公園	44.2	36.4	44.6	(51.4)	48.9	(55.3)	34.6
	生涯学習	46.4	41.0	40.7	(39.9)	44.4	(41.1)	53.8
	林業	45.5	37.0	43.6	(53.2)	46.6	(55.8)	38.5
	工業	41.7	40.2	41.1	(46.2)	44.6	(46.7)	36.0
	労働	42.9	36.2	36.6	(41.4)	42.9	(44.2)	34.6
	商業	35.1	33.6	32.2	(38.5)	37.9	(40.9)	34.6
	産業人材	38.4	32.6	29.0	(28.3)	36.7	(34.7)	26.9
	土地利用	30.0	26.3	29.2	(28.5)	31.5	(31.6)	26.9

【家族構成別】

- ・二世代世帯とその他以外で「上下水道」の割合が最も高い。
- ・二世代世帯は「観光」の割合が最も高い。

属性別集計（職業別）

		職業							
		農林畜産業	自営業	会社員・公務員・団体職員	パート・アルバイト・内職	家事従事者	学生	無職	その他
標本数（件）		71	137	406	220	63	9	280	27
取り組みに対する満足度（％）	上下水道	92.9	90.4	90.6	89.4	87.1	88.9	87.3	88.9
	観光	89.9	84.4	90.4	86.6	90.0	88.9	86.0	84.6
	生活環境	84.1	88.9	84.5	86.7	93.7	77.8	87.5	81.5
	消防	88.2	85.9	73.1	81.6	92.1	88.9	88.9	81.5
	海外戦略	81.2	76.5	81.8	87.2	86.9	100.0	76.0	74.1
	景観	62.7	73.3	79.6	79.3	77.8	88.9	73.3	81.5
	歴史文化	73.9	77.2	75.3	69.5	75.4	88.9	75.8	63.0
	畜産業	57.4	71.1	75.4	68.3	74.2	88.9	68.8	66.7
	情報	79.7	70.6	66.2	73.6	83.9	77.8	71.3	70.4
	安全	73.5	66.2	70.0	68.5	74.6	100.0	70.7	66.7
	道路	79.7	66.2	65.8	70.4	79.4	88.9	66.7	59.3
	児童福祉	62.3	64.9	63.1	65.6	63.9	88.9	66.0	63.0
	学校教育	72.1	62.2	63.7	61.6	61.0	77.8	63.1	76.9
	協働	65.7	64.7	59.3	58.3	63.9	88.9	64.6	44.4
	農業	49.3	66.4	62.9	57.3	55.7	100.0	52.8	25.9
	保健	71.4	58.1	48.0	56.0	67.7	88.9	66.0	48.1
	防災	61.8	57.0	53.7	53.2	52.4	55.6	59.6	63.0
	行財政運営	55.9	60.0	50.7	49.1	59.7	66.7	61.8	44.4
	医療	66.7	59.6	44.1	51.8	61.9	77.8	64.5	48.1
	スポーツ	61.8	61.9	48.3	48.6	54.2	55.6	51.3	66.7
	経済	47.8	57.5	50.5	54.8	54.1	77.8	51.7	40.7
	地域福祉	59.4	49.6	49.3	50.9	56.5	77.8	53.0	40.7
	高齢者福祉	58.6	57.8	46.6	50.9	59.7	66.7	47.8	55.6
	文化芸術	51.5	53.7	48.6	48.4	52.5	55.6	50.8	59.3
	障がい者福祉	56.7	54.1	46.1	46.3	49.2	66.7	47.9	44.4
	公共交通	53.6	53.7	41.6	42.4	51.6	55.6	47.0	40.7
	地球環境	47.1	47.4	41.8	44.7	45.2	66.7	39.3	51.9
	交流	38.8	43.0	43.2	44.7	37.1	77.8	41.2	48.1
	住宅公園	45.6	43.7	42.0	44.0	49.2	77.8	39.4	48.1
	生涯学習	46.4	47.0	39.2	38.9	54.2	55.6	44.8	37.0
	林業	37.1	46.3	47.0	40.8	34.4	77.8	38.3	22.2
	工業	41.8	44.4	40.4	42.4	37.1	77.8	39.1	50.0
	労働	44.3	35.1	37.6	39.3	40.0	44.4	37.9	37.0
	商業	32.8	32.1	36.0	32.4	36.7	55.6	33.1	25.9
	産業人材	41.2	31.3	27.5	30.9	41.0	55.6	36.3	25.9
	土地利用	33.3	26.7	30.0	31.9	30.0	44.4	25.4	18.5

【職業別】

- ・家事従事者、学生、無職を除いて、「上下水道」の割合が最も高い。
- ・家事従事者は「生活環境」、学生は「海外戦略」「安全」「農業」、無職は「消防」の割合が最も高い。

属性別集計（定住年数別）

		定住年数						
		1 年未 満	5 年未 満	1 年以 上、 5 年未 満	10 年未 満	5 年以 上、 10 年未 満	20 年未 満	10 年以 上、 20 年未 満
標本数（件）		19	45	41	73	1046		
取り組みに対する満足度（％）	上下水道	78.9	97.8	85.0	90.3	89.4		
	観光	73.7	95.6	90.0	90.4	87.5		
	生活環境	63.2	88.9	82.5	84.7	86.8		
	消防	63.2	91.1	67.5	74.0	82.7		
	海外戦略	78.9	88.9	92.5	87.7	79.8		
	景観	89.5	88.9	77.5	79.5	75.4		
	歴史文化	78.9	82.2	77.5	73.6	73.9		
	畜産業	89.5	71.1	80.0	71.2	70.3		
	情報	57.9	68.9	57.5	72.6	71.8		
	安全	73.7	71.1	70.0	69.9	69.8		
	道路	63.2	75.6	67.5	63.0	68.7		
	児童福祉	63.2	60.0	66.7	69.9	64.7		
	学校教育	47.4	57.8	67.5	65.3	64.1		
	協働	47.4	62.2	57.5	60.6	61.8		
	農業	78.9	57.8	63.4	57.5	57.5		
	保健	42.1	53.3	57.5	64.4	57.2		
	防災	47.4	66.7	52.5	57.5	55.8		
	行財政運営	52.6	68.9	60.0	53.4	54.0		
	医療	36.8	48.9	40.0	47.9	56.0		
	スポーツ	42.1	68.9	42.5	52.8	52.2		
	経済	57.9	62.2	50.0	56.2	51.6		
	地域福祉	57.9	55.6	52.5	60.3	50.1		
	高齢者福祉	57.9	57.8	65.0	53.4	49.4		
	文化芸術	52.6	53.3	47.5	59.7	49.4		
	障がい者福祉	47.4	51.1	52.5	56.2	47.6		
	公共交通	36.8	53.3	45.0	38.9	46.0		
	地球環境	57.9	60.0	47.5	57.5	41.1		
	交流	47.4	44.4	37.5	45.8	42.6		
	住宅公園	57.9	46.7	50.0	54.2	41.2		
	生涯学習	31.6	48.9	48.7	52.8	41.5		
	林業	63.2	57.8	48.8	50.7	40.2		
	工業	52.6	48.9	52.5	41.1	40.6		
労働	42.1	48.9	41.5	41.1	37.2			
商業	42.1	48.9	45.0	42.5	32.3			
産業人材	36.8	33.3	36.6	28.8	32.2			
土地利用	47.4	35.6	25.0	30.6	28.2			

【定住年数別】

- ・定住年数別では最も高い分野については、ばらつきがある。

4 取り組みの今後の重要度

- ・ 重要度の高い分野は、高い順に「医療」分野（98.4%）、「消防」分野（98.2%）、「上下水道」「安全」分野（97.5%）となっている。
- ・ 重要度の低い分野は、低い順に「海外戦略」分野（74.2%）、「交流」分野（74.4%）、「生涯学習」分野（81.1%）となっている。
- ・ 重要度の順位が1位である「医療」分野は、満足度では19位となっている。
- ・ 一方、満足度の順位が1位であった「上下水道」分野は、重要度では3位、同じく満足度の順位が2位であった「観光」分野は、重要度では32位となっている。

問8 （あなたは、現在の高山市の行政サービスやまちづくりに関して、どのように感じていますか。）また、それぞれの取り組みについて、今後どのくらい重要だと思いますか。（今後の重要度）

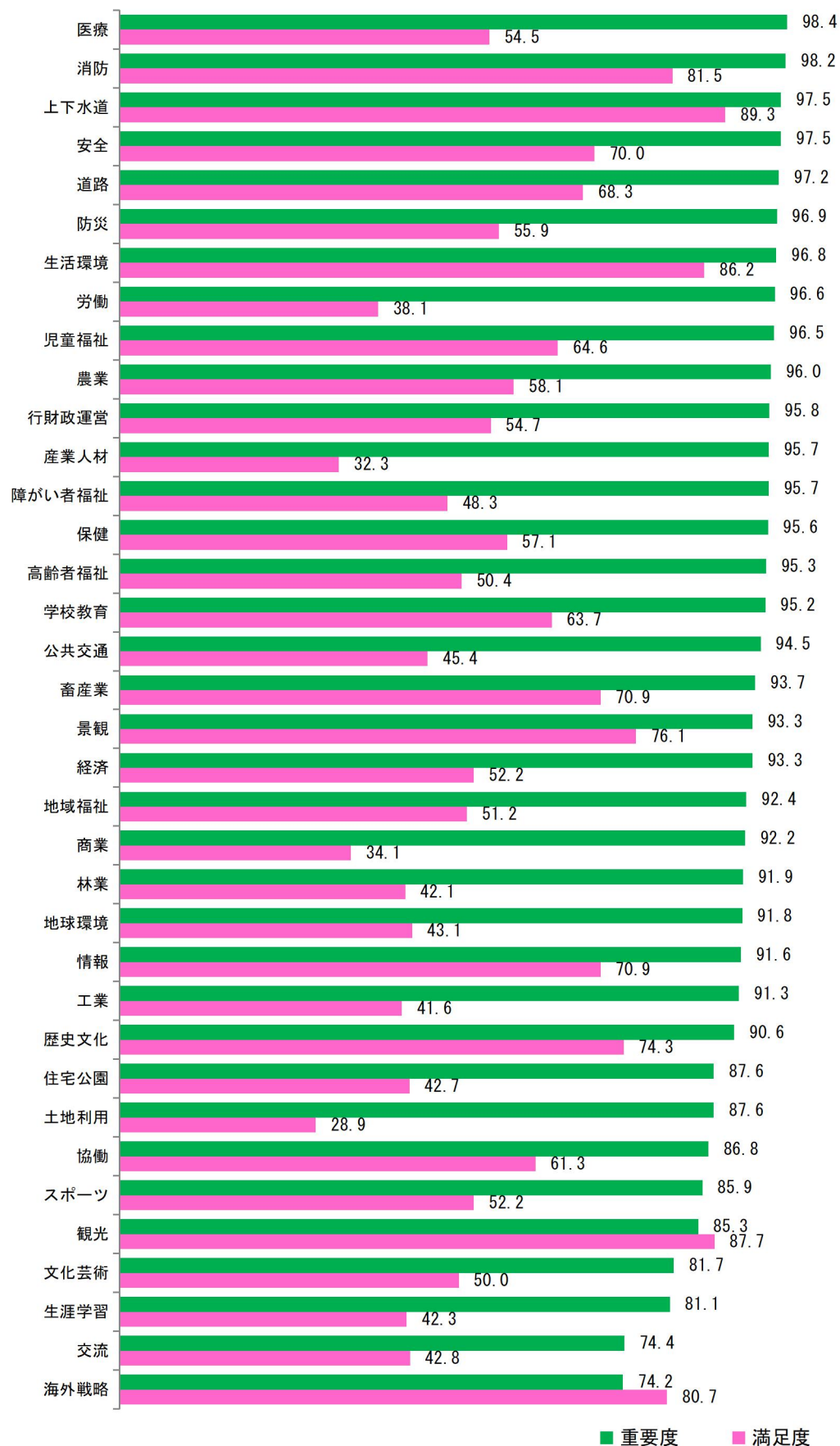
（設問ごとにあてはまる番号にそれぞれ1つに○印）

（重要度の算出方法）

$$\text{重要度} = \frac{\text{「重要である」、「やや重要である」の合計}}{\text{「重要である」、「やや重要である」、「あまり重要でない」、「重要でない」の合計}}$$

順位	重要度 (%)	分野	回答数（件）					参考（満足度）	
			重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	無回答	順位	満足度 (%)
1	98.4%	医療	1,022	177	15	5	16	19	54.5%
2	98.2%	消防	969	216	14	8	28	4	81.5%
3	97.5%	上下水道	1,018	165	23	7	22	1	89.3%
	97.5%	安全	938	234	21	9	33	10	70.0%
5	97.2%	道路	880	291	30	4	30	11	68.3%
6	96.9%	防災	932	228	32	5	38	17	55.9%
7	96.8%	生活環境	912	259	33	6	25	3	86.2%
8	96.6%	労働	919	239	27	14	36	33	38.1%
9	96.5%	児童福祉	925	241	32	10	27	12	64.6%
10	96.0%	農業	871	284	37	11	32	15	58.1%
11	95.8%	行財政運営	804	345	46	5	35	18	54.7%
12	95.7%	産業人材	850	296	38	13	38	35	32.3%
	95.7%	障がい者福祉	809	342	42	10	32	25	48.3%
14	95.6%	保健	811	351	48	6	19	16	57.1%
15	95.3%	高齢者福祉	880	278	40	17	20	23	50.4%
16	95.2%	学校教育	837	301	46	11	40	13	63.7%
17	94.5%	公共交通	824	319	60	6	26	26	45.4%
18	93.7%	畜産業	728	400	63	13	31	8	70.9%
19	93.3%	景観	707	412	71	9	36	6	76.1%
	93.3%	経済	739	386	63	18	29	20	52.2%
21	92.4%	地域福祉	707	413	70	22	23	22	51.2%
22	92.2%	商業	665	441	80	13	36	34	34.1%
23	91.9%	林業	703	402	79	19	32	31	42.1%
24	91.8%	地球環境	686	410	79	19	41	27	43.1%
25	91.6%	情報	730	371	86	15	33	8	70.9%
26	91.3%	工業	636	460	96	8	35	32	41.6%
27	90.6%	歴史文化	654	424	97	15	45	7	74.3%
28	87.6%	住宅公園	584	470	124	25	32	29	42.7%
	87.6%	土地利用	561	480	130	18	46	36	28.9%
30	86.8%	協働	574	474	130	29	28	14	61.3%
31	85.9%	スポーツ	524	503	144	25	39	20	52.2%
32	85.3%	観光	619	409	130	47	30	2	87.7%
33	81.7%	文化芸術	463	520	191	29	32	24	50.0%
34	81.1%	生涯学習	438	529	202	24	42	30	42.3%
35	74.4%	交流	369	521	236	70	39	28	42.8%
36	74.2%	海外戦略	411	482	219	92	31	5	80.7%

(単位：％)



属性別集計（年齢別）

		年齢					
		10代・20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
標本数（件）		58	121	179	194	269	403
各分野における取り組みの今後の重要度（％）	医療	98.3	99.2	98.9	97.9	98.5	98.0
	消防	96.6	96.7	98.9	96.4	98.9	98.9
	上下水道	98.3	97.5	97.8	98.4	96.7	97.7
	安全	100.0	95.8	98.3	97.9	97.8	97.1
	道路	98.3	96.7	97.2	97.9	97.0	96.8
	防災	96.6	95.0	98.9	98.4	96.2	96.8
	生活環境	98.3	96.7	96.1	96.4	97.4	96.6
	労働	98.3	100.0	96.1	95.3	97.4	95.7
	児童福祉	98.3	96.7	94.4	96.4	97.0	96.8
	農業	100.0	95.8	96.1	95.8	96.6	95.3
	行財政運営	96.6	95.8	93.9	96.4	97.4	94.9
	産業人材	100.0	94.2	97.8	95.8	96.3	94.4
	障がい者福祉	96.6	92.5	95.5	96.4	96.3	96.0
	保健	96.6	95.8	94.4	94.8	95.5	96.1
	高齢者福祉	93.1	92.5	93.3	95.3	95.1	97.4
	学校教育	100.0	95.8	93.3	95.3	95.1	95.4
	公共交通	86.2	93.3	95.0	96.9	95.9	93.7
	畜産業	100.0	95.0	89.4	93.3	95.2	93.6
	景観	96.6	94.2	90.5	92.1	94.4	93.6
	経済	93.1	95.0	93.8	92.2	92.6	93.4
	地域福祉	93.1	89.2	88.2	93.8	93.3	94.0
	商業	94.8	94.2	88.3	90.6	95.1	92.0
	林業	96.6	95.0	92.1	89.6	94.4	89.4
	地球環境	93.1	86.7	86.4	93.2	91.7	94.9
	情報	89.7	91.7	89.9	91.7	91.4	92.8
	工業	87.9	86.7	89.3	91.7	95.9	90.9
	歴史文化	91.4	87.5	88.1	92.2	90.9	91.6
	住宅公園	86.2	96.7	84.9	83.9	89.2	86.9
	土地利用	87.9	92.5	86.5	88.0	89.5	84.7
	協働	91.4	89.2	80.4	84.5	86.5	89.8
	スポーツ	84.5	85.7	78.7	81.3	87.6	90.7
	観光	93.1	87.5	78.1	90.7	82.8	86.0
	文化芸術	84.5	76.7	78.7	79.3	84.0	84.1
	生涯学習	89.7	80.2	79.8	76.0	79.2	84.2
	交流	84.5	71.7	63.6	72.9	76.8	77.8
	海外戦略	89.7	75.8	68.7	76.7	69.9	76.1

【年齢別】

- ・各年代おいてばらつきはあるものの、「消防」の割合が最も高い年代が多い。

属性別集計（居住地域別）

		居住地域（高山地域）											
		高山地域	東地区	西地区	南地区	北地区	山王地区	江名子地区	新宮地区	三枝地区	大八地区	岩滝地区	花里地区
標本数（件）		786	68	83	94	118	109	53	71	39	68	12	71
各分野における取り組みの今後の重要度（％）	医療	98.5	97.1	98.8	97.9	97.4	99.1	100.0	98.5	100.0	97.1	100.0	100.0
	消防	98.3	97.0	100.0	96.8	98.3	99.1	98.1	97.1	97.4	98.5	100.0	100.0
	上下水道	97.4	97.1	98.8	95.7	96.6	99.1	96.2	95.6	100.0	97.0	100.0	98.5
	安全	97.5	95.5	100.0	95.7	97.4	100.0	96.0	95.6	97.4	98.5	100.0	97.1
	道路	97.0	95.5	97.5	97.9	96.6	97.2	94.1	97.1	97.4	95.5	100.0	100.0
	防災	96.7	95.5	97.5	95.7	97.4	98.1	90.0	94.1	97.4	98.5	100.0	100.0
	生活環境	97.5	95.5	100.0	94.7	98.3	98.1	96.2	97.1	100.0	97.0	100.0	98.5
	労働	97.0	90.9	100.0	96.7	98.3	95.3	98.0	95.5	100.0	97.1	100.0	98.5
	児童福祉	97.4	95.6	98.8	96.8	97.4	99.1	98.1	92.8	100.0	98.5	90.9	98.5
	農業	96.6	92.5	100.0	95.7	97.4	97.2	88.5	97.1	100.0	97.1	100.0	98.5
	行財政運営	95.9	95.5	98.7	96.8	93.0	97.2	98.0	89.7	94.9	97.0	100.0	98.5
	産業人材	95.8	95.5	98.8	94.6	94.8	93.4	94.1	95.5	94.9	97.0	100.0	100.0
	障がい者福祉	96.1	92.6	100.0	97.9	93.1	96.3	96.2	93.9	97.4	97.1	90.9	98.5
	保健	95.6	94.1	95.1	92.6	96.6	97.2	94.2	95.6	97.4	97.1	100.0	95.5
	高齢者福祉	95.7	91.2	100.0	95.7	95.7	96.3	94.3	95.5	94.9	97.1	100.0	94.0
	学校教育	95.1	94.1	98.7	93.5	94.0	93.4	98.1	92.5	94.7	98.5	100.0	95.4
	公共交通	95.1	91.2	97.5	94.6	92.2	98.1	94.2	92.6	97.4	97.0	100.0	95.5
	畜産業	93.2	94.1	95.1	94.6	88.8	94.4	84.6	97.1	89.7	92.5	100.0	98.5
	景観	94.8	95.5	100.0	96.8	88.0	96.2	90.2	91.0	94.7	98.5	100.0	97.0
	経済	94.4	92.6	95.1	91.4	94.8	94.4	92.0	95.6	94.9	97.1	100.0	95.5
	地域福祉	92.6	89.7	95.0	92.6	89.7	93.5	96.2	86.6	94.9	97.1	90.9	94.1
	商業	91.3	92.5	93.7	89.2	89.7	90.7	90.4	89.7	87.2	94.1	100.0	94.1
	林業	93.0	92.5	91.3	94.6	90.6	95.3	88.2	89.7	92.3	97.1	91.7	97.0
	地球環境	90.7	91.0	96.2	94.6	87.8	86.7	86.0	82.4	89.5	95.5	100.0	95.6
	情報	91.0	86.6	93.8	89.4	88.7	94.3	90.2	86.8	94.9	95.5	100.0	89.6
	工業	92.2	97.1	92.6	93.4	89.7	88.9	82.4	92.6	94.9	95.6	91.7	96.9
	歴史文化	92.2	89.6	97.5	89.2	89.5	98.1	88.2	87.5	89.5	95.4	100.0	92.4
	住宅公園	91.1	89.7	96.2	89.4	93.1	91.7	84.6	89.6	89.7	89.4	100.0	92.4
	土地利用	88.4	85.1	92.4	90.2	87.9	86.9	88.2	83.8	86.8	90.6	100.0	88.9
	協働	86.6	85.3	93.8	90.4	82.6	90.7	75.0	77.6	94.7	83.6	100.0	88.1
	スポーツ	88.7	83.8	92.4	83.7	87.0	90.7	88.2	88.1	94.9	94.0	90.9	88.1
	観光	84.6	75.0	81.7	81.5	85.3	91.6	73.6	82.4	94.9	89.7	90.9	88.2
	文化芸術	82.5	85.3	92.5	81.7	78.6	79.4	80.4	83.6	87.2	80.3	72.7	82.1
	生涯学習	79.9	82.1	89.9	78.5	77.4	75.5	70.0	75.4	79.5	81.8	100.0	87.3
	交流	75.1	68.7	85.9	71.0	73.3	74.8	72.0	68.2	79.5	74.6	100.0	81.8
	海外戦略	73.1	70.6	70.9	66.7	70.9	76.6	71.2	75.0	82.1	75.8	83.3	75.0

属性別集計（居住地域別）

		居住地域（支所地域）								
		丹生川地域	清見地域	莊川地域	一之宮地域	久々野地域	朝日地域	高根地域	国府地域	奥飛驒温泉郷地域 上宝・
標本数（件）		57	44	25	41	51	31	10	98	57
各分野における取り組みの今後の重要度（％）	医療	94.7	97.7	100.0	100.0	98.0	96.8	100.0	97.9	100.0
	消防	93.0	97.7	95.7	100.0	100.0	100.0	88.9	97.9	100.0
	上下水道	98.2	100.0	100.0	97.5	98.0	96.8	88.9	96.9	98.1
	安全	98.2	97.7	91.3	95.0	100.0	100.0	88.9	97.9	100.0
	道路	94.7	100.0	95.7	100.0	96.0	96.8	88.9	97.8	100.0
	防災	98.2	97.6	95.7	97.6	100.0	100.0	88.9	96.8	96.2
	生活環境	94.7	95.3	91.7	97.6	94.1	90.3	100.0	95.8	98.1
	労働	93.0	97.7	100.0	97.4	96.1	93.5	88.9	97.9	96.3
	児童福祉	96.5	97.7	95.8	97.6	92.2	93.5	100.0	92.7	94.4
	農業	93.0	100.0	95.8	90.0	98.0	93.3	88.9	94.6	98.1
	行財政運営	93.0	95.5	95.7	95.1	90.0	96.8	100.0	96.8	96.3
	産業人材	96.5	97.7	100.0	94.9	93.9	96.7	88.9	95.7	96.3
	障がい者福祉	92.9	100.0	91.7	94.9	96.0	93.5	100.0	93.7	96.3
	保健	91.2	97.7	95.8	97.6	96.0	93.5	100.0	94.8	96.4
	高齢者福祉	89.5	95.5	95.8	100.0	92.2	83.9	100.0	95.8	96.4
	学校教育	96.5	97.7	95.8	100.0	96.1	93.5	100.0	92.6	96.2
	公共交通	91.2	93.2	87.5	97.6	90.2	93.5	88.9	94.8	100.0
	畜産業	92.9	97.7	91.7	92.3	98.0	93.3	88.9	92.6	98.1
	景観	93.0	93.2	91.3	90.0	86.0	87.1	77.8	89.2	92.6
	経済	82.5	97.7	95.8	95.0	88.0	83.3	77.8	90.5	98.1
	地域福祉	87.7	97.7	87.5	92.7	94.1	80.6	100.0	91.5	96.3
	商業	94.6	93.0	100.0	97.4	95.9	96.6	88.9	90.4	90.7
	林業	89.5	97.7	91.7	92.7	90.0	93.3	88.9	82.1	92.6
	地球環境	93.0	90.7	95.7	97.6	96.0	90.3	88.9	92.5	96.2
	情報	89.5	95.5	91.3	90.2	87.8	93.5	88.9	93.6	98.1
	工業	89.3	88.4	83.3	92.5	93.9	90.0	77.8	86.2	94.4
	歴史文化	89.3	90.7	95.8	87.5	84.3	83.9	66.7	83.9	92.5
	住宅公園	78.9	81.8	87.5	85.4	82.4	74.2	75.0	80.9	83.3
	土地利用	82.1	83.3	91.7	85.0	87.8	80.6	77.8	85.1	88.9
	協働	80.7	100.0	87.5	75.6	88.2	87.1	100.0	91.6	81.5
	スポーツ	80.4	79.5	87.5	82.5	82.0	77.4	50.0	79.8	83.0
	観光	86.0	88.6	87.5	87.5	81.6	93.1	88.9	87.1	83.3
	文化芸術	84.2	84.1	87.5	80.5	76.5	71.0	87.5	76.6	81.1
	生涯学習	78.9	86.4	91.7	65.0	90.0	83.9	88.9	82.6	77.8
	交流	73.7	77.3	75.0	70.7	74.5	71.0	75.0	75.3	61.1
	海外戦略	75.4	72.7	66.7	80.0	75.5	75.9	88.9	75.8	75.9

【居住地域別】

- ・全地区・地域によってばらつきがあるものの、「医療」「消防」の割合が最も高い。

属性別集計（家族構成別）

		家族構成						
		単身世帯	夫婦のみ	二世代世帯	（うち中学生以下 の子と同居）	三世代世帯	（うち中学生以下 の子と同居）	その他
標本数（件）		119	344	540	(175)	181	(95)	27
各分野における取り組みの今後の重要度（％）	医療	99.1	98.8	97.9	(98.9)	98.9	(100.0)	96.2
	消防	98.3	98.2	98.9	(99.4)	96.6	(96.8)	92.0
	上下水道	98.2	97.9	97.7	(98.3)	97.8	(98.9)	92.3
	安全	98.2	97.6	97.2	(97.1)	98.9	(100.0)	88.0
	道路	95.6	97.3	97.2	(95.4)	98.3	(96.8)	92.0
	防災	95.6	97.1	97.0	(97.1)	97.7	(97.8)	92.0
	生活環境	97.4	97.6	96.6	(97.1)	96.6	(96.8)	96.2
	労働	94.5	95.8	97.5	(97.7)	98.9	(100.0)	92.3
	児童福祉	95.5	96.8	96.6	(98.3)	97.8	(100.0)	96.2
	農業	95.5	95.0	96.0	(97.1)	99.4	(100.0)	92.3
	行財政運営	98.2	96.2	94.9	(94.3)	97.2	(96.8)	92.0
	産業人材	93.6	94.3	97.0	(97.1)	97.2	(96.8)	92.3
	障がい者福祉	95.7	96.4	95.3	(93.7)	96.1	(95.7)	96.2
	保健	97.4	95.6	94.7	(94.3)	97.8	(98.9)	96.2
	高齢者福祉	93.1	95.9	95.1	(93.7)	96.6	(96.8)	96.0
	学校教育	96.4	93.1	96.2	(96.6)	97.2	(97.9)	96.2
	公共交通	95.5	96.5	93.8	(93.7)	94.4	(94.7)	84.6
	畜産業	97.3	92.0	93.6	(91.9)	96.0	(97.8)	88.5
	景観	93.0	93.5	93.2	(93.6)	93.8	(92.5)	92.0
	経済	92.1	94.1	91.5	(93.0)	98.9	(100.0)	92.3
	地域福祉	92.1	92.7	90.9	(90.2)	95.5	(96.8)	96.2
	商業	90.2	92.9	92.0	(90.8)	95.5	(93.6)	80.0
	林業	93.7	91.5	92.4	(94.8)	92.1	(92.6)	84.6
	地球環境	90.3	93.4	90.6	(87.8)	93.8	(92.6)	80.0
	情報	92.0	92.3	90.3	(91.4)	93.2	(96.8)	92.0
	工業	90.3	92.3	90.5	(89.0)	95.5	(94.6)	76.9
	歴史文化	88.5	93.4	89.0	(86.8)	91.6	(92.6)	88.0
	住宅公園	86.6	88.1	87.5	(90.2)	90.4	(93.6)	80.8
	土地利用	89.0	88.3	87.1	(86.0)	89.3	(89.4)	84.6
	協働	88.5	87.2	85.8	(85.7)	88.8	(90.5)	88.5
	スポーツ	86.5	87.2	84.3	(87.8)	87.7	(90.5)	84.6
	観光	87.6	86.0	84.0	(86.0)	86.6	(88.4)	92.3
	文化芸術	85.0	82.8	80.2	(77.6)	81.6	(82.1)	88.5
	生涯学習	80.2	81.2	80.7	(79.2)	82.6	(84.2)	76.0
	交流	75.7	77.4	72.5	(70.9)	73.6	(67.4)	69.2
	海外戦略	71.7	73.4	75.8	(79.1)	71.5	(74.7)	80.0

【家族構成別】

・単身世帯と夫婦のみでは「医療」が、二世代世帯では「消防」が、「三世代世帯」では「農業」が最も高い割合となっている。

属性別集計（職業別）

		職業							
		農林畜産業	自営業	会社員・公務員 ・団体職員	パート・アルバイト・内職	家事従事者	学生	無職	その他
標本数（件）		71	137	406	220	63	9	280	27
各分野における取り組みの今後の重要度（％）	医療	98.6	97.8	98.5	99.1	98.4	100.0	97.8	100.0
	消防	95.6	99.3	97.8	99.1	100.0	100.0	98.1	96.3
	上下水道	97.1	97.0	97.8	99.1	96.8	100.0	96.6	96.3
	安全	97.1	95.5	98.0	99.5	98.4	100.0	96.2	92.6
	道路	95.7	97.0	98.3	97.7	100.0	100.0	94.3	100.0
	防災	97.1	96.3	97.3	97.7	95.2	100.0	96.5	92.6
	生活環境	92.8	97.0	97.3	98.2	96.8	100.0	95.8	96.3
	労働	98.6	92.5	97.8	98.6	95.1	100.0	95.8	100.0
	児童福祉	97.1	97.0	97.0	96.8	96.8	100.0	96.2	92.6
	農業	98.6	94.0	96.5	97.7	94.9	100.0	94.3	100.0
	行財政運営	92.6	97.0	96.6	95.4	98.4	100.0	95.0	88.9
	産業人材	98.5	94.7	97.3	95.4	96.7	100.0	93.1	96.3
	障がい者福祉	97.0	96.3	96.0	96.3	95.2	77.8	94.6	100.0
	保健	94.3	95.6	95.8	96.3	95.2	100.0	95.9	92.6
	高齢者福祉	95.7	94.0	95.1	97.7	95.2	88.9	94.8	92.6
	学校教育	95.6	97.0	96.8	94.9	93.3	100.0	94.6	92.6
	公共交通	89.9	94.1	96.1	96.3	95.2	100.0	92.8	88.9
	畜産業	92.6	92.5	94.3	92.7	96.7	100.0	93.5	92.6
	景観	88.2	97.0	92.1	95.4	95.2	100.0	93.5	88.9
	経済	94.2	91.1	93.6	95.4	96.7	100.0	90.9	100.0
	地域福祉	95.7	93.3	90.6	93.6	95.1	100.0	91.8	96.3
	商業	90.9	91.0	92.6	92.7	96.6	100.0	91.6	92.6
	林業	88.7	91.7	93.3	91.7	93.2	100.0	90.5	92.6
	地球環境	92.5	88.8	89.4	94.4	96.7	100.0	93.1	92.6
	情報	94.2	90.4	91.9	93.5	96.7	100.0	89.6	81.5
	工業	91.0	91.0	91.4	89.8	93.3	100.0	91.6	92.6
	歴史文化	89.7	94.8	89.6	91.1	91.7	88.9	90.6	81.5
	住宅公園	77.9	85.0	88.2	89.9	84.7	100.0	89.4	88.9
	土地利用	91.3	89.6	87.7	88.3	83.3	88.9	85.7	96.3
	協働	87.1	86.7	85.9	86.1	95.1	100.0	87.5	88.9
	スポーツ	83.8	88.7	84.3	85.1	86.9	88.9	87.5	92.6
	観光	75.4	85.8	86.9	84.8	89.8	100.0	83.5	96.2
	文化芸術	80.9	85.9	78.8	82.0	86.9	88.9	83.2	92.6
	生涯学習	82.6	82.2	79.8	80.1	83.3	100.0	81.8	85.2
	交流	76.1	76.1	70.4	76.5	83.6	88.9	76.2	74.1
	海外戦略	69.6	68.7	74.9	77.2	74.6	100.0	72.0	85.2

【職業別】

- ・各職業によってばらつきがあるものの、「医療」「消防」の割合が最も高い。

属性別集計（定住年数別）

		定住年数						
		1 年 未 満	5 年 未 満	1 年 以 上 5 年 未 満	10 年 未 満	5 年 以 上 10 年 未 満	20 年 未 満	10 年 以 上 20 年 未 満
標本数(件)		19	45	41	73	1,046		
各分野における取り組みの今後の重要度(%)	医療	100.0	100.0	100.0	98.6	98.3		
	消防	94.7	95.6	100.0	94.5	98.6		
	上下水道	100.0	95.6	100.0	97.2	97.5		
	安全	100.0	95.6	100.0	97.3	97.4		
	道路	100.0	95.6	100.0	93.2	97.4		
	防災	100.0	88.9	100.0	95.8	97.1		
	生活環境	100.0	91.1	100.0	97.2	96.8		
	労働	94.7	97.8	97.5	95.9	96.8		
	児童福祉	100.0	91.1	97.5	95.9	97.0		
	農業	94.7	93.3	97.5	95.9	96.2		
	行財政運営	100.0	97.8	100.0	93.2	95.6		
	産業人材	100.0	95.6	92.5	94.5	95.9		
	障がい者福祉	94.7	93.3	92.3	95.9	96.1		
	保健	100.0	95.6	97.4	94.5	95.5		
	高齢者福祉	89.5	91.1	92.3	97.3	95.7		
	学校教育	100.0	93.3	94.9	95.8	95.4		
	公共交通	94.7	86.7	94.9	88.9	95.2		
	畜産業	100.0	93.3	89.7	94.5	93.7		
	景観	100.0	88.9	97.4	94.5	93.4		
	経済	100.0	95.6	92.3	97.3	93.0		
	地域福祉	100.0	86.7	84.6	89.0	93.3		
	商業	94.7	95.6	97.4	90.4	92.2		
	林業	94.7	93.3	95.0	90.4	91.8		
	地球環境	94.7	84.4	79.5	94.5	92.3		
	情報	89.5	84.4	84.6	91.8	92.3		
	工業	100.0	86.7	87.2	84.7	91.9		
	歴史文化	89.5	88.9	84.6	86.1	91.3		
	住宅公園	89.5	80.0	92.3	90.3	87.6		
	土地利用	89.5	91.1	89.7	90.3	87.1		
	協働	94.7	86.7	89.7	87.3	86.8		
	スポーツ	84.2	80.0	78.9	80.6	87.0		
	観光	100.0	88.9	87.2	84.9	85.0		
	文化芸術	89.5	75.6	92.3	83.3	81.6		
	生涯学習	73.7	82.2	80.0	84.7	81.1		
	交流	78.9	75.6	76.9	77.8	74.1		
	海外戦略	94.7	75.6	87.2	75.3	73.4		

【定住年数別】

- ・ 20年以上を除く全ての定住年数によって「医療」の割合が最も高い（各定住年数において同率の分野あり）。
- ・ 20年以上においては、「消防」の割合が最も高い。

満足度と重要度について

各取り組みにおける満足度と重要度の相関性について、回答結果を点数化した（下図のとおり）。

- ・ 満足度の平均値（1.69）を下回っている分野で、重要度が最も高い分野は「医療」分野（2.81）、次いで「防災」分野（2.74）、「労働」分野（2.72）であった。
- ・ 重要度の平均値（2.52）を上回っている分野で、満足度が最も低い分野は「産業」分野（1.27）、次いで「労働」（1.33）、「公共交通」（1.43）であった。

（満足度と重要度の点数化方法）

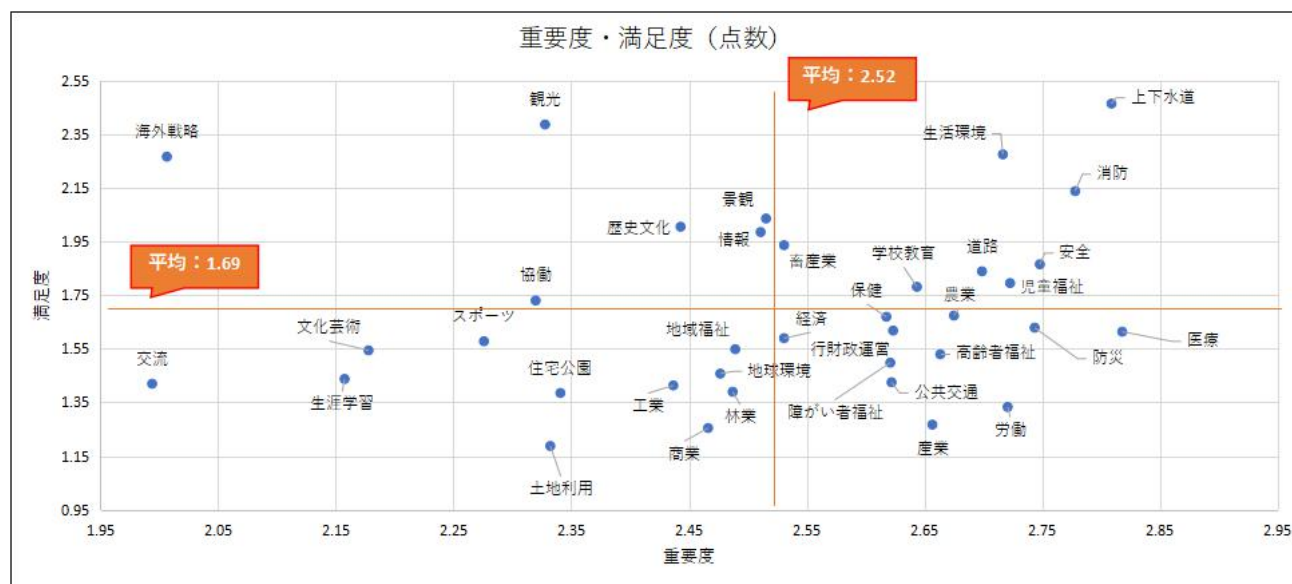
（満足度）

「1. 感じている」を3点、「2. やや感じている」を2点、「3. あまり感じていない」を1点、「4. 感じていない」を0点とし、回答数から平均値を求めた。

（重要度）

「1 重要である」を3点、「2. やや重要である」を2点、「3. あまり重要でない」を1点、「4. 重要でない」を0点とし、回答数から平均値を求めた。

満足度と重要度 相関図（4象限グラフ）



3 協働のまちづくりについて

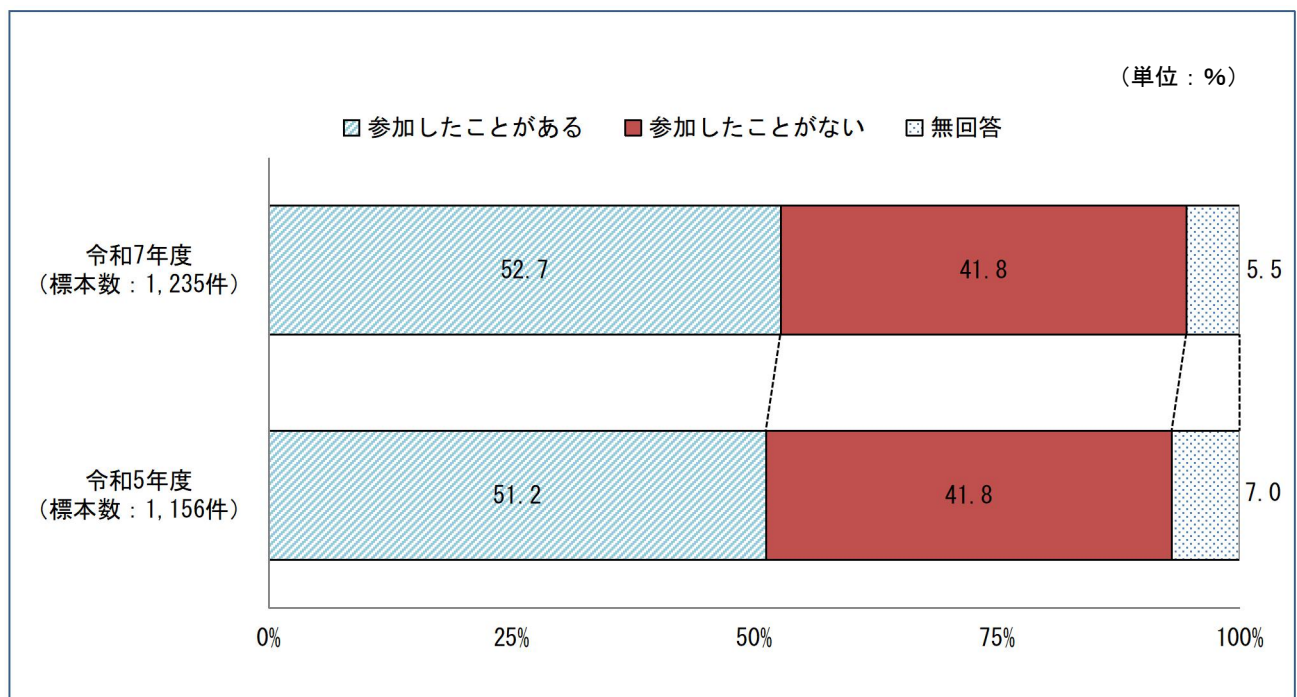
1 まちづくり協議会への参加状況

- ・「参加したことがある。もしくは参加している」の割合が最も高い。
- ・「参加したことがある。もしくは参加している」の割合は、前回（R5）の調査結果（51.2%）に比べ、1.5ポイント上昇している。

問9 あなたは、お住まいの地域のまちづくり協議会（まち協）の活動に参加したことがありますか。（1つに○印）

	回答数 (件)	回答率 (%)
まちづくり協議会(まち協)の活動に参加したことがある。もしくは参加している	651	52.7
まちづくり協議会(まち協)の活動に参加したことがない	516	41.8
無回答	68	5.5
計	1,235	

(標本数：1,235件)



属性別集計（年齢別、居住地域別）

		標本数(件)	まちづくり協議会への参加状況(%)		
			参加したことがある。 もしくは参加している	参加したことがない	無回答
年齢	10代・20代	58	37.9	62.1	0.0
	30代	121	38.0	61.2	0.8
	40代	179	62.0	37.4	0.6
	50代	194	61.9	38.1	0.0
	60代	269	61.3	33.8	4.8
	70代以上	403	46.2	41.9	11.9
居住地域	高山地域	786	48.9	46.2	5.0
	東地区	68	55.9	41.2	2.9
	西地区	83	55.4	37.3	7.2
	南地区	94	46.8	53.2	0.0
	北地区	118	47.5	46.6	5.9
	山王地区	109	39.4	56.9	3.7
	江名子地区	53	56.6	37.7	5.7
	新宮地区	71	50.7	43.7	5.6
	三枝地区	39	64.1	30.8	5.1
	大八地区	68	41.2	52.9	5.9
	岩滝地区	12	58.3	33.3	8.3
	花里地区	71	43.7	47.9	8.5
	丹生川地域	57	71.9	22.8	5.3
	清見地域	44	68.2	29.5	2.3
	荘川地域	25	56.0	36.0	8.0
	一之宮地域	41	58.5	36.6	4.9
	久々野地域	51	54.9	41.2	3.9
	朝日地域	31	74.2	16.1	9.7
	高根地域	10	80.0	10.0	10.0
	国府地域	98	53.1	38.8	8.2
	上宝・奥飛騨温泉郷地域	56	66.1	30.4	3.6

【年齢別】

- ・40代以上において「参加したことがある。もしくは参加している」の割合が高い。

【居住地域別】

- ・「参加したことがある。もしくは参加している」の割合が最も高いのは高根地域（80.0%）、次いで朝日地域（74.2%）、丹生川地域（71.9%）で、最も低いのは山王地区（39.4%）である。

属性別集計（定住年数、居住形態別）

		標本数(件)	まちづくり協議会への参加状況(%)		
			参加したことがある。 もしくは参加している	参加したことがない	無回答
定住年数	1年未満	19	5.3	94.7	0.0
	1年以上～5年未満	45	20.0	80.0	0.0
	5年以上～10年未満	41	36.6	63.4	0.0
	10年以上～20年未満	73	49.3	47.9	2.7
	20年以上	1,046	56.3	37.6	6.1
居住形態	持ち家（分譲マンション・家族所有含む）	1,102	56.6	37.9	5.4
	借家（アパート含む）	112	22.3	72.3	5.4
	間借	2	50.0	50.0	0.0
	社宅・寮	6	0.0	100.0	0.0
	その他	2	0.0	100.0	0.0

【定住年数別】

- ・ 10年未満は「参加したことがない」の割合が高い。
- ・ 10年以上は「参加したことがある。もしくは参加している」の割合が高い。

【居住形態別】

- ・ 持ち家が「参加したことがある。もしくは参加している」の割合が最も高い。

1-2 まちづくり協議会の活動に参加したことがない理由

- ・「名前は知っているが、どのような活動をしているのか分からない」の割合が最も高い。
- ・「まちづくり協議会（まち協）のことを知らない」の割合は、前回（R5）の調査結果（27.3%）に比べ、5.4ポイント低下している。

まちづくり協議会（まち協）の活動に参加したことがない理由はなんですか。（1つに○印）

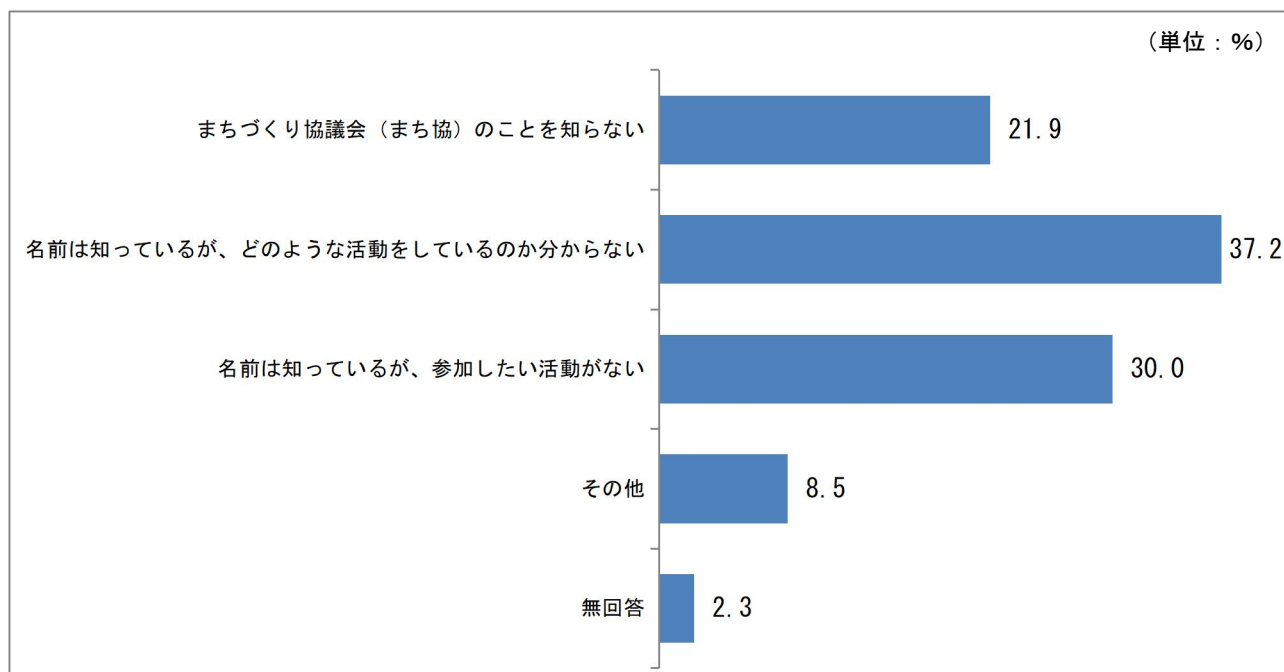
	回答数 (件)	回答率 (%)	前回(R5)
			回答率(%)
まちづくり協議会（まち協）のことを知らない	113	21.9	27.3
名前は知っているが、どのような活動をしているのか分からない	192	37.2	38.3
名前は知っているが、参加したい活動がない	155	30.0	25.7
その他	44	8.5	6.8
無回答	12	2.3	1.9
計	516		

（標本数：516件）

（標本数：483件）

※「その他」の内容

- ・「仕事や家庭の事情による時間不足のため」、「年齢や健康状態による参加が困難ため」 など



属性別集計（年齢別、居住地域別）

		標本数(件)	まちづくり協議会の活動に参加したことがない理由(%)				
			協 議 会 の 事 を 知 ら な い	ま ち づ く り 協 議 会 (ま ち づ く り 協 議 会 の 事 を 知 ら な い	名 前 は 知 っ て い る が、 ど の よ う な 活 動 を し て い る の か 分 か ら な い	名 前 は 知 っ て い る が、 参 加 し た い 活 動 が な い	無 回 答
年 齢	10代・20代	36	44.4	33.3	19.4	2.8	0.0
	30代	74	33.8	41.9	18.9	4.1	1.4
	40代	67	20.9	29.9	37.3	11.9	0.0
	50代	74	23.0	39.2	29.7	6.8	1.4
	60代	91	14.3	36.3	35.2	12.1	2.2
	70代以上	169	16.0	38.5	31.4	9.5	4.7
居 住 地 域	高山地域	363	22.0	36.4	29.2	9.9	2.5
	東地区	28	17.9	35.7	32.1	10.7	3.6
	西地区	31	38.7	29.0	22.6	6.5	3.2
	南地区	50	26.0	32.0	32.0	6.0	4.0
	北地区	55	18.2	49.1	16.4	14.5	1.8
	山王地区	62	17.7	41.9	33.9	6.5	0.0
	江名子地区	20	25.0	15.0	40.0	10.0	10.0
	新宮地区	31	12.9	38.7	25.8	16.1	6.5
	三枝地区	12	33.3	41.7	8.3	16.7	0.0
	大八地区	36	16.7	38.9	33.3	11.1	0.0
	岩滝地区	4	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0
	花里地区	34	20.6	26.5	44.1	8.8	0.0
	丹生川地域	13	30.8	38.5	23.1	7.7	0.0
	清見地域	13	15.4	38.5	38.5	0.0	7.7
	荘川地域	9	11.1	22.2	55.6	11.1	0.0
	一之宮地域	15	6.7	53.3	33.3	6.7	0.0
	久々野地域	21	14.3	42.9	23.8	14.3	4.8
	朝日地域	5	0.0	80.0	20.0	0.0	0.0
	高根地域	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	国府地域	38	28.9	39.5	26.3	2.6	2.6
	上宝・奥飛騨温泉郷地域	17	11.8	17.6	70.6	0.0	0.0

【年齢別】

- ・30代以上は「名前は知っているが、どのような活動をしているのか分からない」の割合が最も高い。

【居住地域別】

- ・「名前は知っているが、どのような活動をしているのか分からない」の割合が最も高い地域は、全20地域（地区）中14地域（地区）である。

属性別集計（定住年数、居住形態別）

		標本数(件)	まちづくり協議会の活動に参加したことがない理由(%)				
			まちづくり協議会(まち協)のことを知らない	名前は知っているが、どのような活動をしているのか分からない	名前は知っているが、参加したい活動がない	その他	無回答
定住年数	1年未満	18	61.1	22.2	11.1	5.6	0.0
	1年以上～5年未満	36	38.9	33.3	19.4	8.3	0.0
	5年以上～10年未満	26	46.2	19.2	15.4	11.5	7.7
	10年以上～20年未満	35	17.1	42.9	34.3	5.7	0.0
	20年以上	393	17.3	38.7	32.8	8.7	2.5
居住形態	持ち家(分譲マンション・家族所有含む)	418	17.5	38.5	33.7	7.9	2.4
	借家(アパート含む)	81	42.0	32.1	12.3	11.1	2.5
	間借	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	社宅・寮	6	66.7	0.0	16.7	16.7	0.0
	その他	2	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0

【定住年数別】

- ・ 10年未満は「まちづくり協議会（まち協）のことを知らない」の割合が最も高く、10年以上は「名前は知っているが、どのような活動をしているのか分からない」の割合が最も高い。

【居住形態別】

- ・ 持ち家は「名前は知っているが、どのような活動をしているのか分からない」の割合が最も高く、借家及び社宅・寮は「まちづくり協議会（まち協）のことを知らない」の割合が最も高い。

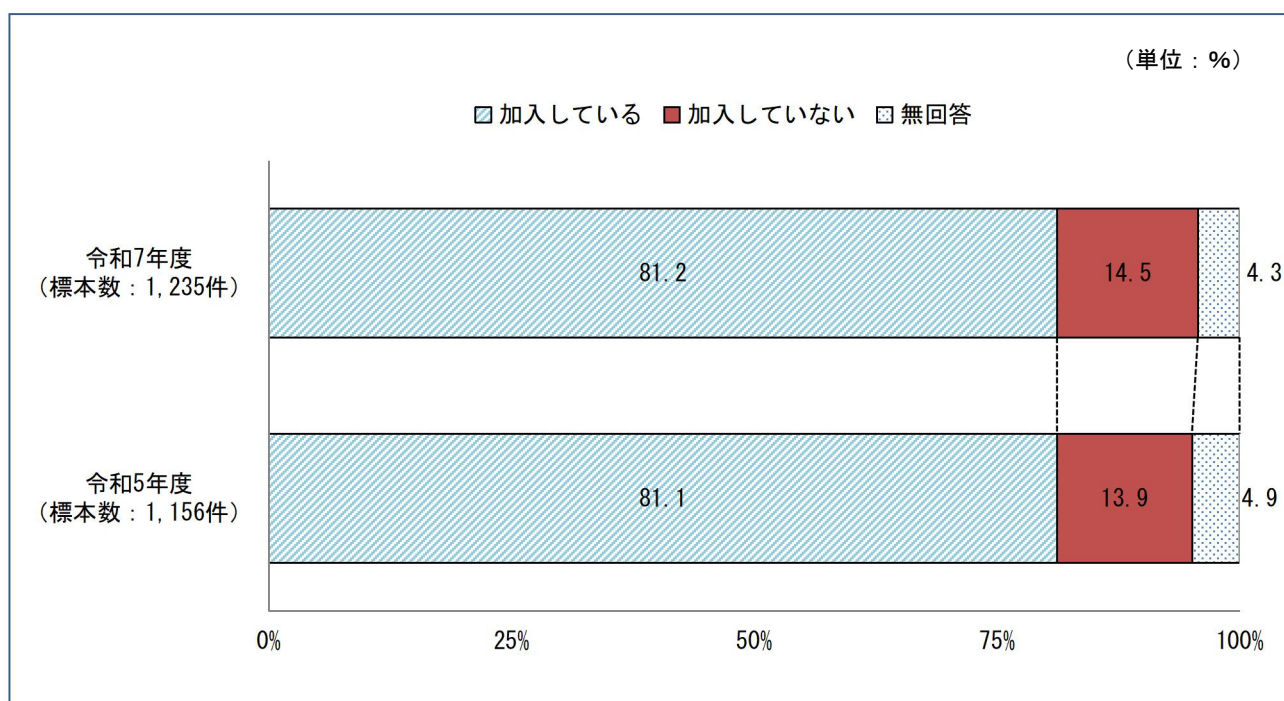
2 町内会への加入状況

- ・「加入している」の割合が最も高い。
- ・「加入している」の割合は、前回（R5）の調査結果（81.1%）に比べ0.1ポイント上昇している。

問10 あなたは、町内会（自治会）に加入していますか。（1つに○印）

	回答数 (件)	回答率 (%)
加入している	1,003	81.2
加入していない	179	14.5
無回答	53	4.3
計	1,235	

（標本数：1,235件）



属性別集計（年齢別、居住地域別）

		標本数(件)	町内会への加入状況(%)		
			加入している	加入していない	無回答
年齢	10代・20代	58	58.6	41.4	0.0
	30代	121	69.4	30.6	0.0
	40代	179	82.7	17.3	0.0
	50代	194	87.6	12.4	0.0
	60代	269	90.0	6.3	3.7
	70代以上	403	79.4	10.9	9.7
居住地域	高山地域	786	78.9	17.0	4.1
	東地区	68	67.6	30.9	1.5
	西地区	83	80.7	14.5	4.8
	南地区	94	77.7	22.3	0.0
	北地区	118	77.1	16.9	5.9
	山王地区	109	77.1	21.1	1.8
	江名子地区	53	79.2	15.1	5.7
	新宮地区	71	87.3	8.5	4.2
	三枝地区	39	92.3	2.6	5.1
	大八地区	68	88.2	8.8	2.9
	岩滝地区	12	58.3	33.3	8.3
	花里地区	71	73.2	16.9	9.9
	丹生川地域	57	87.7	8.8	3.5
	清見地域	44	88.6	9.1	2.3
	荘川地域	25	68.0	24.0	8.0
	一之宮地域	41	80.5	14.6	4.9
	久々野地域	51	94.1	3.9	2.0
	朝日地域	31	87.1	3.2	9.7
	高根地域	10	100.0	0.0	0.0
	国府地域	98	85.7	10.2	4.1
	上宝・奥飛驒温泉郷地域	56	94.6	1.8	3.6

【年齢別】

- ・年齢が上がるにつれて「加入している」の割合が高くなるが、70代以上では低下している。

【居住地域別】

- ・高山地域における「加入している」の割合が最も高いのは三枝地区（92.3%）、最も低いのは岩滝地区（58.3%）である。
- ・支所地域における「加入している」の割合が最も高いのは高根地域（100.0%）、最も低いのは荘川地域（68.0%）である。

属性別集計（家族構成別、定住年数別、居住形態別）

		標本数 (件)	町内会への加入状況(%)		
			加入している	加入していない	無回答
家族構成	単身世帯	119	54.6	42.9	2.5
	夫婦のみ	344	82.3	11.0	6.7
	二世代世帯	540	83.3	13.5	3.1
	(うち中学生以下の子と同居)	(175)	(81.7)	(17.7)	(0.6)
	三世代世帯	181	92.8	3.9	3.3
	(うち中学生以下の子と同居)	(95)	(93.7)	(2.1)	(4.2)
定住年数	その他	27	74.1	22.2	3.7
	1年未満	19	10.5	89.5	0.0
	1年以上～5年未満	45	46.7	53.3	0.0
	5年以上～10年未満	41	65.9	34.1	0.0
	10年以上～20年未満	73	78.1	20.5	1.4
	20年以上	1,046	85.0	10.2	4.8
居住形態	持ち家(分譲マンション・家族所有含む)	1,102	87.2	8.4	4.4
	借家(アパート含む)	112	27.7	69.6	2.7
	間借	2	100.0	0.0	0.0
	社宅・寮	6	16.7	83.3	0.0
	その他	2	0.0	100.0	0.0

【家族構成別】

- ・全ての家族構成で「加入している」の割合が高いが、そのうち単身世帯は割合が低い。

【定住年数別】

- ・5年未満において「加入していない」の割合が高い。

【居住形態別】

- ・持ち家、間借において「加入している」の割合が高く、借家と社宅・寮においては「加入していない」の割合が高い。

2-2 町内会に加入しない理由

- ・「賃貸住宅（貸家、アパート）住まいのため」の割合が最も高い。
- ・上位2位は、前回（R5）の調査結果と同じである。
- ・前回（R5）の調査結果に比べ、特に「役職などが回ってくるのが負担」「必要性を感じていない」の割合が上昇し、一方、特に「親が加入しているため」の割合が低下している。

問10-2 問10で、「加入していない」に○をつけた方に伺います。その理由はなんですか。

（3つまで○印）

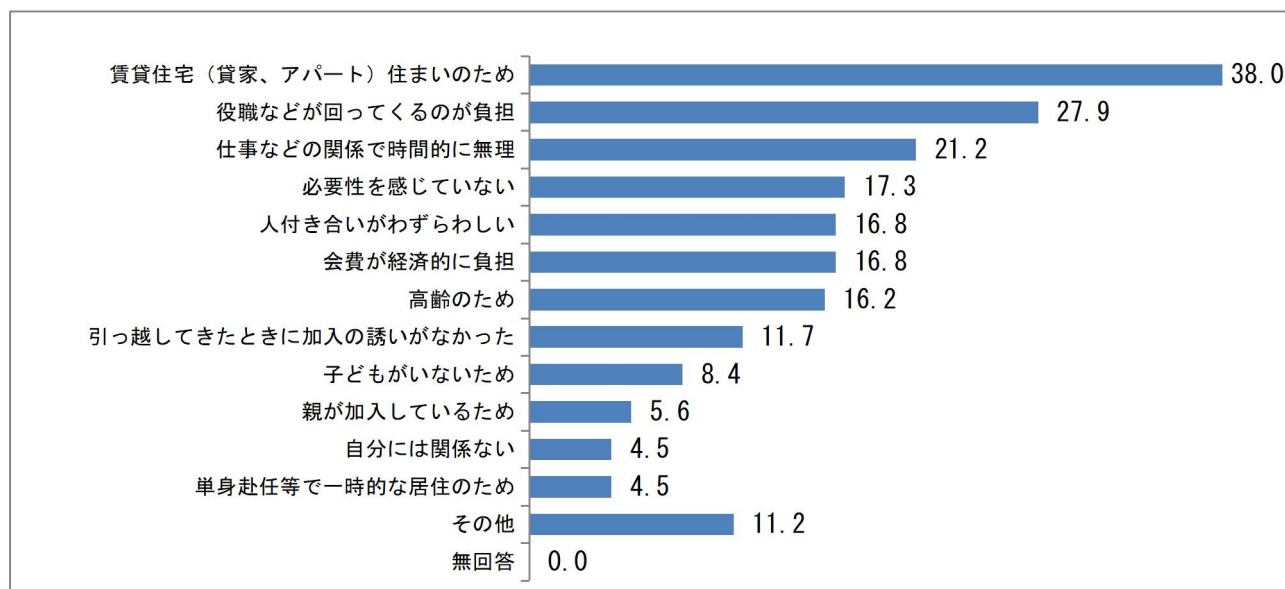
順位		回答数 (件)	回答率 (%)	前回（R5）	
				順位	回答率(%)
1	賃貸住宅（貸家、アパート）住まいのため	68	38.0	1	41.6
2	役職などが回ってくるのが負担	50	27.9	2	18.0
3	仕事などの関係で時間的に無理	38	21.2	5	14.9
4	必要性を感じていない	31	17.3	10	8.1
5	人付き合いがわずらわしい	30	16.8	9	10.6
	会費が経済的に負担	30	16.8	4	15.5
7	高齢のため	29	16.2	3	17.4
8	引っ越してきたときに加入の誘いがなかった	21	11.7	7	12.4
9	子どもがいないため	15	8.4	7	12.4
10	親が加入しているため	10	5.6	6	14.3
11	自分には関係ない	8	4.5	12	2.5
	単身赴任等で一時的な居住のため	8	4.5	10	8.1
	その他	20	11.2		8.7
	無回答	0	0.0		1.9
計		358			

（標本数：179件）

（標本数：161件）

※「その他」の内容

- ・「健康・加齢による参加困難のため」、「持ち家に住んでいないため」 など



属性別集計（年齢別）

		年齢					
		10代・20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
標本数(件)		24	37	31	24	17	44
町内会に加入しない理由(%)	賃貸住宅（貸家、アパート）住まいのため	54.2	48.6	45.2	45.8	23.5	18.2
	役職などが回ってくるのが負担	29.2	32.4	25.8	25.0	35.3	25.0
	仕事などの関係で時間的に無理	33.3	27.0	25.8	25.0	17.6	4.5
	必要性を感じていない	12.5	13.5	16.1	8.3	23.5	25.0
	人付き合いがわずらわしい	16.7	24.3	6.5	20.8	23.5	13.6
	会費が経済的に負担	16.7	21.6	19.4	12.5	11.8	11.4
	高齢のため	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	65.9
	引っ越してきたときに加入の誘いがなかった	16.7	8.1	22.6	8.3	11.8	6.8
	こどもがいないため	4.2	10.8	12.9	8.3	17.6	2.3
	親が加入しているため	4.2	5.4	16.1	4.2	0.0	2.3
	自分には関係ない	0.0	5.4	0.0	4.2	0.0	9.1
	単身赴任等で一時的な居住のため	12.5	2.7	6.5	4.2	0.0	2.3
	その他	0.0	5.4	12.9	16.7	17.6	15.9
	無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

【年齢別】

- ・ 50代以下は「賃貸住宅（貸家、アパート）住まいのため」の割合が最も高い。
- ・ 60代は「役職などが回ってくるのが負担」の割合が最も高い。
- ・ 70代以上は「高齢のため」の割合が最も高い。

属性別集計（家族構成別）

		家族構成						
		単身世帯	夫婦のみ	二世代世帯 (うち中学生以下の子と同居)	三世代世帯 (うち中学生以下の子と同居)	その他		
標本数(件)		51	38	73 (31)	7 (2)	6		
町内会に加入しない理由(%)	賃貸住宅（貸家、アパート）住まいのため	51.0	34.2	35.6 (54.8)	0.0	0.0	50.0	
	役職などが回ってくるのが負担	17.6	31.6	35.6 (48.4)	14.3	0.0	16.7	
	仕事などの関係で時間的に無理	23.5	13.2	23.3 (22.6)	14.3	0.0	33.3	
	必要性を感じていない	7.8	26.3	20.5 (9.7)	14.3	0.0	0.0	
	人付き合いがわずらわしい	11.8	23.7	16.4 (12.9)	0.0	0.0	33.3	
	会費が経済的に負担	11.8	10.5	24.7 (38.7)	28.6 (50.0)	0.0	0.0	
	高齢のため	17.6	15.8	12.3 (12.9)	42.9	0.0	16.7	
	引っ越してきたときに加入の誘いがなかった	13.7	21.1	5.5 (9.7)	14.3 (50.0)	0.0	16.7	
	こどもがいないため	9.8	13.2	5.5 0.0	14.3	0.0	0.0	
	親が加入しているため	0.0	0.0	9.6 0.0	28.6 (50.0)	0.0	0.0	
	自分には関係ない	5.9	5.3	2.7 0.0	14.3	0.0	0.0	
	単身赴任等で一時的な居住のため	11.8	0.0	1.4 (3.2)	0.0	0.0	0.0	
	その他	7.8	21.1	11.0 (3.2)	0.0	0.0	0.0	
	無回答	0.0	0.0	0.0 0.0	0.0	0.0	0.0	

【家族構成別】

- ・単身世帯、夫婦のみ及び二世代世帯は「賃貸住宅（貸家、アパート）住まいのため」の割合が最も高い。
- ・三世代世帯は「高齢なため」の割合が最も高い。

属性別集計(定住年数別)

		定住年数				
		1 年 未 満	1 年 以 上 ～ 5 年 未 満	5 年 以 上 ～ 10 年 未 満	10 年 以 上 ～ 20 年 未 満	20 年 以 上
標本数(件)		17	24	14	15	107
町内会に加入しない理由(%)	賃貸住宅(貸家、アパート)住まいのため	41.2	54.2	64.3	53.3	29.0
	役職などが回ってくるのが負担	17.6	16.7	21.4	46.7	30.8
	仕事などの関係で時間的に無理	17.6	33.3	21.4	0.0	21.5
	必要性を感じていない	5.9	16.7	0.0	20.0	21.5
	人付き合いがわずらわしい	11.8	20.8	7.1	33.3	15.9
	会費が経済的に負担	17.6	8.3	21.4	6.7	19.6
	高齢のため	0.0	0.0	7.1	20.0	23.4
	引っ越してきたときに加入の誘いがなかった	23.5	20.8	21.4	20.0	5.6
	こどもがいないため	0.0	16.7	7.1	6.7	8.4
	親が加入しているため	0.0	12.5	0.0	0.0	6.5
	自分には関係ない	0.0	8.3	7.1	0.0	4.7
	単身赴任等で一時的な居住のため	23.5	8.3	7.1	0.0	0.9
	その他	17.6	0.0	7.1	6.7	13.1
	無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

【定住年数別】

- ・20年未満は「賃貸住宅(貸家、アパート)住まいのため」の割合が最も高い。
- ・20年以上は「役職などが回ってくるのが負担」の割合が最も高い。

属性別集計（居住形態別）

		居住形態				
		持ち家 （分譲マンション・家族所有含む）	借家 （アパート含む）	間借	社宅・寮	その他
標本数（件）		93	78	0	5	2
町内会に加入しない理由（％）	賃貸住宅（貸家、アパート）住まいのため	2.2	79.5	—	80.0	0.0
	役職などが回ってくるのが負担	39.8	15.4	—	20.0	0.0
	仕事などの関係で時間的に無理	21.5	20.5	—	20.0	0.0
	必要性を感じていない	24.7	9.0	—	0.0	50.0
	人付き合いがわずらわしい	25.8	7.7	—	0.0	0.0
	会費が経済的に負担	19.4	14.1	—	0.0	50.0
	高齢のため	25.8	6.4	—	0.0	0.0
	引っ越してきたときに加入の誘いがなかった	4.3	17.9	—	60.0	0.0
	こどもがいないため	9.7	6.4	—	20.0	0.0
	親が加入しているため	10.8	0.0	—	0.0	0.0
	自分には関係ない	4.3	3.8	—	0.0	50.0
	単身赴任等で一時的な居住のため	1.1	6.4	—	40.0	0.0
	その他	10.8	11.5	—	0.0	50.0
	無回答	0.0	0.0	—	0.0	0.0

【居住形態別】

- ・ 持ち家は「役職などが回ってくるのが負担」の割合が最も高い。
- ・ 借家と社宅・寮は「賃貸住宅（貸家、アパート）住まいのため」の割合が最も高い。

4 高山市のまちづくりに関するご意見など

問11 その他、ご意見、ご提案などがございましたらご記入ください。

労働・産業

- ・ ホテルなどがどんどん増えているが、働き手は足りているのか。
- ・ 3年前と比べて格段に外国人雇用者が増加している。ホテル業、飲食店、清掃業から農業までほんとうに驚くスピードで、若者を含む市民の雇用崩壊が進んでいるのが現状ではないか。オーバーツーリズムの問題で環境負荷が心配だし、飲食店メニューなどあらゆるサービスが高額化している。数年後には市民のほとんどが外国人になりそうなのが心配。はたしてそうなった時に観光都市として価値が残るのかと疑問に思う。どうしようもない流れではあるが、私たちのこども世代には安心して暮らせる市であって欲しいと願っている。
- ・ 都会と比べてかなりの低賃金で、女性はさらに低賃金で働き、男性と比べ出世もしにくい中小企業が多くみられる。雇用の平等、賃上げにつながる助成金や対策を希望する。女性が活躍できる本当の社会モデルを高山で構築すれば出生率が上がり、市の人口減少対策にも繋がると考える。
- ・ 選択できる職種が少なく、若者が地元に戻ってこない。もしくは転職して市外に出てしまう。外部から企業を誘致する等して労働環境を充実させてほしい。
- ・ 観光業が盛んで人が足りなく給与が高いため、福祉など大変な業種で求人を出しても応募がない現象に拍車がかかっていると思う。大学を卒業したら高山に戻る人材が多ければいいのだろうか。
- ・ 外国人労働者を受け入れることはいいが、日本の文化や飛騨の歴史・文化をきちんと継承すべき旅館や施設には外国人を雇用しない方が良くと思う。現場はひどいと聞いている。行政もこの飛騨の品格を良く守るために現場確認が必要だと思う。
- ・ 高山市の経済を活性化させるためには、住民の所得向上が必要不可欠である。特に若年層の流出を防ぐためにも、地元企業の賃金水準を引き上げ、安定した雇用を提供することが重要。企業誘致や起業支援を強化し、より多くの雇用機会を創出することで、地域経済の発展につなげていくべきである。
- ・ 高山は賃金が低い仕事が多いので、賃金を上げられるようにキャリアアップ支援をしてほしい。都会と違い、一度高山に定住してしまうと、技能を伸ばすチャンスが失われてしまう。近隣市に大学ができるこの機会に、夜間の社会人講座を設置すれば、高山の地域活性化に尽力してくれる方が増えるかと思う。
- ・ 観光業だけに頼らない雇用環境がないと、今後も人口は減る一方ではないかと思う。高校を卒業したこどもたちが高山に残ったり、戻ったりしないのは、職業の選択肢がないからなのではと思う。（観光業の給与水準も低く、選択肢から外れてしまう。）
- ・ 外国人が働いて助かっているが、その方たちの労働環境がもっとよくなるといいと思う（高山に住み、働くうえでの特典など）。
- ・ 外国人の雇用も人手不足のなか必要とは思いますが、何とか日本人が移住したくなるようにしてもらいたい。UターンIターンだけでなく、長男だからと仕方なく高山にいる方、田んぼもされている方（農繁期に有給奨励）などに手厚くしてもらえればいいのではないかと思う。
- ・ 特定技能、育成就労を含む外国人実習生の住環境や通勤手段を整える。

- ・ 給与水準が他の地域と比べて低い。
- ・ 観光ばかりに力を入れて、市民は二の次という感がある。飛騨牛をはじめ物価は高くなり、朝市に市民はいけなくなった。市外からのホテルや飲食店、小売店が増え地元の店は減り、お金も入っていない。
- ・ パートの方でも安心して働ける環境づくりのために労働条件を改善してほしい。国民年金に加入しなければならない条件になったとき、厚生年金に加入できるように会社からの社会保障を厚くしてほしい。会社からの社会保障を、まずは市や県の会計年度任用職員で働いている方々からモデルケースとして取り組んでほしい。ボーナス等も時間によって出るように。そうすることでまわらなかった経済もまわり始め、こどもも育てやすくなると思う。
- ・ 高校卒業後、他県に進学・就職した後、高山に戻ろうとしてもなかなか職がない。たとえ就職しても給与面・福利厚生が遅れていると思う。企業の努力も必要だと思うが、根本的に前時代的な考え方の人が多いとなかなか改善しないと思う。
- ・ 市は観光業が多いため、サービス業＝観光業しかないという意識で若者が都会へと出て行ってしまう。企業誘致を早急にする必要がある。設備投資などが少ないIT産業がいいと思う。大学で一度高山を離れてもこども達が戻ってきたいと感じるまちづくりをしてほしい。
- ・ 高齢で定年を超えても立派に勤めている方も多い。働き手としての能力が低下するとは限らないので、そういった方が生きがいを感じながら社会で過ごせるようなまちにしてほしい。
- ・ 保育士の給与が他県に比べて低いらしく、若手の人は他県で働きたいと言っている。
- ・ 人口減少が地域の存亡に関わる中で、いかに持続可能な地域社会を育むかが重要である。地域特性を活かしながら、農林業はじめ地場産業の発展に精力的に取り組む、誰からも愛される魅力ある高山市であり続ける事を望んでいる。
- ・ 事業承継の支援策として、移住者とのマッチング、シェアリングエコノミー、M&Aなどを検討してはどうかと思う。
- ・ 協同組合化など、小規模事業者の連携促進
- ・ 観光のような他力本願ではなく、産業を推進して欲しい。

農業・畜産業・林業

- ・ お米がない。どうにかしてほしい。
- ・ 地域の農産物である米・野菜を作って出しているが、あまりにも農薬をまき散らしている様子を目にするので、地元だからこそこどもたちに食べさせたくないと感じてしまっていて買えないでいる。
- ・ クマの出没など害獣対策を徹底し、安心して生活・農作業が行えるようになってほしい。
- ・ 米不足に対して市としては何か取り組めるのか。
- ・ 100年先を見据えたとき、美しい田園風景、農村風景や山々は大きな観光資源になると思う。現在大規模農家への支援はあるが、小さい農家への支援や補助金がない。小規模農家への支援をもっと手厚くしてほしい。
- ・ 最近カモシカをよく見るようになった。人を見ても逃げない。ダイコンやサツマイモの葉を昨年カモシカに食べられたので、農作物被害がなくなるように間引きをお願いしたい。
- ・ イノシシの対策について、県では熊が逃げられるような上面に穴があいた檻しか使えないと聞くが、それではイノシシまで逃げてしまう。熊も増えすぎては困るし、穴がない檻を使用できるようにして熊もイノシシも捕まえられるようにしてほしい。
- ・ 農業の環境は厳しく、飛騨牛乳がなくなってしまったのはショックだった。文化遺産も多い高

山が観光地として栄えることはよいことだが、その地域の特産品があつて初めて観光地として誇れるのではないか。飛騨牛、りんご、トマト、ほうれん草、お米など第一次産業への支援が少ないと思う。農業従事者が生活していけるよう、一層の支援をしてほしい。

- ・ 飛騨牛には力を入れているが、牛乳の方はどうか。飛騨牛乳の牛乳やヨーグルトなど美味しかったのに残念である。
- ・ 農耕地が荒れているので活用策を考えてほしい。小さな面積の耕地も、食料の生産・自然保護・高齢者の生きがいや健康管理等の役割があるので大切にしてほしい
- ・ 米不足に関して、お米券を配るとか何か対策をしてほしい。
- ・ 森林の伐採事業は国にも働きかけ、防災の観点からもすすめてほしい。
- ・ サプライチェーンなど、飛騨の広葉樹の活用促進や、製材所の再生を検討してはどうか。
- ・ 木工産業が盛んであるにも関わらず、それに関するイベントが少ないと思う。まちなかにもっと木のベンチや椅子やゴミ箱を増やしてほしい、今は少なくて不便である。春祭り・秋祭りだけでなく入数を制限して古民家でコンサートのようなイベントを増やしていけばいいと思う。飛騨市の取組みは参考になると思う。
- ・ 丹生川にある飛行場が負の遺産になっていると聞く。昨年の能登半島地震の様子を見ても、道路の損害が至るところで発生し、救助に行けない状態が続いた。市は日本列島の中心にあり被害も少なく、東北・関東・関西等どこで災害が起きても救助に行ける立地であると思う。たくさん自治体と災害時の援助協力契約をして、丹生川の滑走路周りの空き地に各自治体の救援物資の保管倉庫を設置し、すみやかに救助態勢がとれるような状態にしてはどうか。負の遺産が日本を救う基地になるのではと思う。

商業

- ・ 全国展開している大型商業施設など若者でも行くようなお店が欲しい。
- ・ 映画館の入った大型ショッピングモールが欲しい。
- ・ ガソリンが岐阜市と比べて高いので、ほぼ同一価格になると嬉しい。
- ・ インバウンドで湧く状況に、市内の観光産業は浮かれている。この状況が続けば、コロナ時のようにまちに誰もいなくなった時に、高山の産業は一気に低迷する。もっと飛騨高山ならではのサービスや文化的要素を盛り込んだ、真の温かいまちを目指したまちづくりを提案してほしい。
- ・ シャッター商店街が多い中、市の活気は素晴らしい。市の戦略的な取組みの成果だと思い、敬意を評したい。今後も先を見据えたまちづくりができていくといいと思う。
- ・ 商店街の近くに居住しており、車の渋滞にかなり迷惑している。出来れば、市内への観光客の車の乗り入れを制限して頂きたい。通年は無理でもゴールデンウィークやお盆など、匠バス等を活用して、郊外の駐車場から観光客を運んでもらえるとありがたい。古い町並や商店街などの出店に関し、「高山らしさ」にそぐわない店舗は、出店出来ないような条例を作って欲しい。
- ・ 本町や駅前に、観光客だけでなく市民も行きやすいお店が増えてほしい。行きやすい環境になって、まちが活性化すると嬉しい。
- ・ インバウンドが急激に増えて、その人達の要望、流行に合わせた店舗の増加、産業の変化が行われていると感じる。古い町並の店舗を見てもチェーン店が増えて高山らしさが薄れた景観になっているのは悲しいと、訪れる度に感じる。観光によって高山の経済が支えられているが、観光客のニーズに合わせすぎること、気づいたときには高山らしさが薄れてしまうのではないかと危惧している。他県に住む知り合いで50年以上毎年高山を訪れる方が「高山はすっかり変

わってしまった。昔からあるものが廃れて、もう行きたいと思わない」と直接言われた時はショックだった。一度きりしか訪れない観光客に視点を合わせるのではなく、何十年も変わらない高山の核や、芯のある文化・想いをもっと主張していいと思う。「これが唯一無二の高山である」というはっきりしたアイデンティティのもと、それを求めて訪れる人が増えたらいいと思う。

- ・ シャッター街となっている商店街の活用をして欲しい。宿泊施設や文化芸術音楽等の活用方法など若い方も地元の方も楽しめるイベントを希望する。
- ・ 特に昔からのお店の店主、スタッフとともに接客態度が悪く感じられる。笑顔も愛想もなく、言葉遣い等観光客の方が「高山に来てよかった!」と思われるような接客をしてほしい。商工会議所等で接客指導をしていただければ、市民も感じよく買い物ができ、観光都市高山が生き延びていく第一条件になるのではないかなと思う。
- ・ まちなかに域外の店舗が流入している。決して悪いことではないが、単なるお金儲けのためだけのように見える。資本の大きいところが多いので、ダメだったらすぐに撤退するのだろう。まちづくりにおいては、そういう点で違和感がある。排他的にならず、なんとか市のためになるような手の携え方はないものだろうかと思う。
- ・ まちなかに住んでいるが、インバウンドによるオーバーツーリズム化が進んでいる。ホテルや民泊が増え、素泊まりが多いせいか夜になると夕食難民が街をさまよっている。コンビニ、ラーメン店などしかなく、彼らは高山らしい食事を摂れているのだろうか。便乗値上げも気になる。みたらし団子1本150円、ラーメンは1200円~1500円で市民はとてもお店には入れない。その場限りの商売では高山のイメージは下がってしまう。住みやすいまちにするために取り締まりもしてほしい。もう一度訪ねたい高山にするには、を考えて欲しい。
- ・ 今から事業を始める方に向けて市がまちなかの物件を一年無料で貸しているが、これは意味がないと思う。この一年間、一生懸命営業した人が何人いたのか。ほとんど開いてないか数時間の営業で、一年を終えて起業した人がどれだけいたのか。しかも外国人も対象であるのは不思議。この制度は即刻廃止にしてほしい。
- ・ 市といっても市街地と周辺地域ではイベントや商店の売上等の恩恵を受けることに差を感じる。
- ・ 自営業を始めるといっても、趣味の延長線上の店をやるのに100万円支援とか、税金の無駄であると思う。
- ・ 特定創業支援補助金が上限100万なのは理解するのだが、なぜ35歳以上になると補助率が1/3に下がるのか。そして、初期費用に下限価格を設定しているのかが疑問である。
- ・ 特定創業支援補助金の割合が、35歳以上以下で異なるのが理解し難い。私は40代だが、自分の夢を叶える為に脱サラして夢を追いかけている。そのような人は年代問わず多くいると思われる。高山というまちが好きで移住して起業を目指す人もいる。補助金自体が厳しいものなのは理解しているが、相談等のフォローだけではなく、高山でチャレンジしたいと思っている人達をもっと応援してほしい。また商工会議所主催の補助等も女性向けのものが多すぎる。子育てが一段落した年齢の方を応援する目的なのだろうが、市を盛り上げるのであれば高山で起業を志す人達全体に力を貸してほしい。

観光・海外戦略

- ・ 観光産業を優先するあまり、市民生活が圧迫されたり、保存すべきものが壊されたりするのが心配。真の観光資源と住民の生活を守って、100年先も持続可能な魅力的な高山であってほしい。

- ・ 高速道路やバス、ＪＲの整備により観光地高山が確立され、外国人を含む観光客の誘致でまちは整備され、経済も活性しまちも様変わりした。外資のホテル建設などで発展する事は良いが、失われるものも多く寂しさを感じる。
- ・ 観光に力を入れるのはいいが、地元住民に対しても住むメリットを提示して欲しい。土地は高いし税金も高いし、冬場は金がかかる。
- ・ 明確にオーバーツーリズムである。観光で潤っている感じが市民には何も伝わってこない。海外旅行客のレンタカーの利用が増えて、市内も高速道路も危険だと感じる。本当にゴミのポイ捨てが増え、まちが美しくないし、情緒がなくなった気がする。旅行客重視でとても暮らしにくい。
- ・ 観光対策のお陰で高山は観光名所となり、それが少なからず郷土の誇りに寄与した事ありがたい。しかしその観光対策の負の影響、負の部分が顕在化し、転換期にきているように思う。市民の不満が爆発する前に、今回のアンケートを元に市民が満足出来る施策を考えてほしい。
- ・ 古い町並等を利用した、妖怪や創作コスプレなどのイベントがあると海外からの人や他県のコスプレイヤーなどが入って来やすいと思う。せっかくしっかりとしたイベントがあるのだから、利用しない手はない。川越や京都は様々な妖怪行列で盛り上がり、地域活性化している。雰囲気は他の地域に負けていないと思う。
- ・ 国内でも有数の観光地であり、現状のオーバーツーリズムもやむを得ないことと認識している。しかし外国人観光客による、公共施設・市内店舗の過剰利用、写真動画撮影のための交通マナー違反などの被害を多く感じている市民は私だけではないはず。これらの被害を打ち消すような、新たな施策（宿泊税など）と地域づくり・まちづくりへの波及を強く望んでいる。
- ・ 海外の観光客が食事難民になっている。これでは他者への紹介やリピーターになってくれない。良い環境なのに大変もったいない、大きな問題と捉えて欲しい。
- ・ 市は海外の観光客に自慢できる地域である。過剰な関わりは必要ないが日本の観光地らしい接客対応を指導して欲しい。飲食店は価格を極端に上げるし、ホテルを含む接客のレベルが本当に低い。選ばれるのは価格でなく、気持ち良さ（満足度）である。
- ・ 市が観光業に力を入れているのはわかっているが、観光業に直接関わっていない人からすると観光客ばかりを見て市民の生活を見ていないように感じる。オーバーツーリズムで市民の暮らしの平穏が守られないのも困るし、観光以外にもっと力を入れておかないと、再度コロナ禍のような事態に直面したときに、本当に目も当てられなくなると思う。
- ・ 先日こども達と一緒に一之宮町から列車に乗り、古い町並を歩いた。現在の高山はどのようなになっているのかと思い、歩いている観光客に紛れて私たちも買い物をした。お店で商売をしてみえるかたは何故か機械的な感じがした。質より量をこなすような雰囲気での私の知っている高山の人のイメージとは違い、まるで他県の観光地に行ったかのように接客は殺風景だった。立ち寄った３件がたまたまそうだったのかもしれないが、高山の人が高山の魅力をもっと学び知識をもったうえで、高山を観光地に選ばれたお客様をおもてなしする精神は必要だと感じた。
- ・ インバウンド需要が高まった結果、古い町並や商店が外資系や県外の企業に買収されてよく分からないお店が沢山出来て、高山の良さがどんどん無くなり悲しい気持ちになっている。商売の自由と言えばそれまでだが、景観や文化を守る為に新しい条例を作って欲しい。宿泊税をもっと高くするべきで、今のままでは安過ぎる。パリは一泊数千円、そこまでとは言わないが、インバウンドと日本人の宿泊税を別にする等、対策を取っても良いと思う。
- ・ 観光について、小学生だった頃「飛騨高山は張りぼての薄っぺらな街…」という雑誌の記事を読んでこども心に傷ついた覚えがある。その後に関係各位の地道な努力により、雰囲気のある

まちに育てていただいたお陰で、国内外からの観光客で溢れる今日がある。しかしながらこの先、観光地にありがちな品のないテーマパーク化や、観光客に媚びを売るまちづくりは避けてもらいたい。

- ・観光業ばかりに力を入れているように思う。チェーン店が少しずつ入ってきている今、昔からあるお店も守られるようにして欲しい。飛騨の各ブランドが少なくなるのは悲しい。観光客には宿泊税等を取り、地元民に還元できる政策を期待したい。
- ・外国人観光客が中心地にたくさん訪れている現状は、必ずしも正常な状態ではないように思う。観光というものは本来「その土地の生活を見ること」だったという意味合いを持っていたと聞いたことがある。果たして今の高山の中心地に「生活」はあるのだろうかまちを歩いていても、喫茶店に入っても外国語しか聞こえてこないのは「生活」ではないと思うし、住宅や生活を支えた個人店がなくなって、大きな資本のホテルが立ち並ぶ町並みにも「生活」は感じない。観光産業で得た外貨はどこに流れているかも気になる。稼いだ外貨は内需で回すという考え方はできないのか。オーバーツーリズムという問題が浮き出てくるのも、観光業が市民にとって利益のないものと感じられてしまうからではないか。例えば観光業で得た外貨を、学校教育、インフラの整備、芸術文化の振興などに使われていれば納得感も得られるような気がする。
- ・観光客が多く歩く中橋周辺の市民の通勤が危ぶまれている。観光バスの駐車場はやはり無理がある。あえて込み合う場所は避けて通るようになり、うんざりしている。観光客のマナーも、受け入れる側からきちんと周知して頂きたい。
- ・外国人観光客が増えていて 宿泊施設は多くあるが、素泊まりの宿泊施設ばかりで食べる場所に困っている外国人が街に溢れている(特に夜)。外国人観光客の増加を狙うのであれば、団体の観光客も入れるような食べる場所があると良いと思う。食べることを求めて歩き回っている方を多く見かける。宿泊のみでは昔からあるお店の方や、居酒屋さんの負担が大きい。外国人に向けて料金を上げれば良いと思う。お店も外国人で溢れて地元の方が中々入れなかったりする状況がある。観光地だけではなくそこら中で今は外国人を見かけるので、住宅街でのゴミのポイ捨ても周りでよく聞く。観光だけでなく地元の方の生活にも目を向けて欲しい。
- ・高山は人も多くサービスも充実していて良いまちだと思う。観光客誘致も活発に行っていてアピールできる産業もあり活況だが、一方でコロナ以降急激に観光客が増えて、まちが交通渋滞し、狭い道で無理やり通ろうとする車(多分迷ってる)や店前での路上駐車など、普段住んでいる人には困ることも増えている。市街地は道幅が狭くて一方通行も多く、駐車場はあちこちにあるとはいえそもそも大勢の観光客を受け入れる広さはないと思う。オーバーツーリズムになる前に、市街地から離れた地域にも観光客を誘導するような政策が重要だと思う。また、バスの路線と名称がややこしく、観光客に尋ねられても説明が難しいので、番号など伝えやすい情報を追加して欲しい。
- ・外国人観光客のマナーの悪さに辟易している(もちろん日本人でもマナーの悪い方はいるが、外国人観光客が増えたために海外の方のみが目立っているとも思う)。市は歴史や自然など観光地として魅力的で、以前から観光振興に対して積極的に行動されていることも素晴らしいことだと感じていた。一方でオーバーツーリズム寸前もしくはすでになっているように思う。歩行者の信号無視や広がって歩く姿、歩きタバコ(禁止エリアがわかりづらい上に喫煙所が少ないので更に設置した方がよいと思う)、レンタカーの危険な運転など数えたらきりがなし、これは私だけではなく私の周辺の意見でもある。飲食店を経営しているが店内が騒々しい日も多々あり、地元の方が穏やかに過ごせる時間が明らかに減ってしまった。現在は人数制限を設けるなどルールを決めて以前のような雰囲気を保とうとしているが、様々な文化を持った方が高山にやっ

てくることで文化のぶつかり合いが起こっていることを実感している。すでに観光地として国外でも人気のある高山はこれ以上観光客を呼び込む必要はないのではないか。差別的かもしれないが、観光客の質を上げるためにより高い宿泊税の導入や大型観光バスの制限、まちなかへの車の乗り入れ制限などの対策を期待している。

- ・高山は私にとって、末長く誇りを持って働き暮らせるまちであってほしい。私の場合、長くお店を続けることで憩いの場を作ったり、新たなコミュニティの創造などで地域社会に貢献していきたいと考えている。
- ・今年近所でとてもショックなことがあった。住宅の隣にあるゲストハウスの騒音にここ数年耐えられなく、とうとう住民が引っ越しをされてしまった。管理者へはもちろん、市、県に話しても埒があかず、弁護士さんまでに相談されたがどうすることもできなかったと、大変嘆いておられた。どうして市民が出ていかなければならないのか。こんな悲しい事案があることを市役所トップで共有して考えていただきたい。令和7年3月20日付け「広報たかやま特集号」4ページに書かれていた内容について、もっと前面に出しきちんと観光関係を進めるべきである。宿泊税の財源があるのだから、それを使い市民生活を守るべき。ますます観光ありきの市となりつつあり、市民生活をとても危惧している。とにもかくにも住民ファーストが感じられる市政運営を強く望む。
- ・国内外からの観光客が増え観光業や飲食関係の方々が良い思いもされているのだろうが、それらに関係のない市民は何のメリットも感じない。道路や通行人、飲食店、スーパーマーケットも混雑でどちらかといえば迷惑でしかない。それらに携わっていない市民にも何らかの還元があれば迷惑とは感じなくなると思う。
- ・今、外国人観光客や修学旅行生で高山に観光客が増えている。市役所の近くで外掃除をしていると平気でゴミのポイ捨てをしていく観光客がいて、嫌な気分になる。高山をよりよくするためにゴミの分別やマナーだけは守ってほしい。
- ・インバウンドもあり、多くの観光客が高山を訪れることは嬉しく思うが、反面マナー面で気になることも時々感じる。信号無視で渡る、ペットボトルや食べ物の容器等のポイ捨て、中橋周囲で車の通行を考えず広がって写真を撮る等。観光客も市民も気持ちよく暮らすことが大事ではないか。高山にはたくさんの魅力があり、訪れてくれていると思う。観光客がどこに魅力を感じるのか、何がよかったのか、もっとよくするには・・・など宿泊地のアンケート等で意見を聞いてみるのが大事だと思う。それを何かの機会に市民にも知らせ、みんなでまちづくりに参加することが必要ではないかと思う。
- ・観光客が多いのだから、大型バスと普通車、それぞれ専用の大きな駐車場があればよいのではと思う。
- ・観光客がこわい。
- ・観光客のマナー不足・交通安全に対して指導をお願いしたい。
- ・観光は山や歴史など大自然が一番良いと思う。
- ・古い町並を大切にするのはいいことだが、観光客の流れをもっと広げなければならないと思う。高山にしかないバックグラウンドのひとつは北アルプスだと思う。市内のシャッター街を登山関係のエリアとして、全国から出店者を募ってはどうか。登山者が増えているのでいい流れになると思う。
- ・市を始め日本全体がインバウンドで盛況だが、手放しで喜んでいいのかいつも疑問に思っている。特に最近の高山は海外の人が喜ばばいいと、景観の良し悪しを無視して商業主義に走っている感がある。観光に走りすぎて高山の良さが失われている。昔の高山の良さを取り戻さない

と、数年後に後悔する日々が待っているような気がして悲しい。観光にお金をかけなくても良さは知ってもらえると思う。北アルプスと伝統文化、美味しい食材、普通にしていともとてもいい町です。それより子ども達のために市税をたくさん使ってほしい。

- ・ 最近の高山のまちはにぎわいすぎて、市内へ行く機会が減った。駅周辺は背の高いホテルが林立していて高山の古い町並や景観を損なっていると思う。もう少しホテルの建設や背の高いビルの建設に制限を設けるべきだと思う。私は東京で生まれ育ったので自然や温泉、古風な町並み（日下部民芸館、吉島家）が大好きで高山に魅力を感じ、こちらで農業をしている。しかし、今の高山は変わってしまってあまり魅力を感じない。もう少しホテルの建設や客足を制限して欲しい。
- ・ 観光化がすすみ経済的には盛り上がっているのではと思うが、高山らしいゆったりした空気はどこへやら。混雑が市民のストレスになっているのではと思う。民泊も増え、しっかりした管理もままならないなかでの生活は不安も感じる。古い町並も風情がなくなりつつある。混雑でゴミゴミした高山は本当の高山らしさを忘れているのではないかと感じる。市民が観光客に押しつぶされそう。
- ・ 市が観光業で成り立っており、観光客が多いことはありがたいが、マナーの悪さが目に余ることが多い。特に交通面ではたびたび危ない目に合う。改善方法はないものか。
- ・ 国内外からの観光客増加に伴い、観光業が活性化している一方で観光客のマナーの悪さが気になる。中橋での車の通行妨害、市内各所での歩行者による信号無視、自動車の危険運転等。市内の中心部が観光客のためのまちへと変わっていて悲しい。地元民もかわらず過ごせるようなまちづくりに期待している。価格やサービスの点で地元住民と観光客の差別化が必要ではないかと考える。人も優しく、水も空気も食べ物も美味しく、文化も歴史も深い大好きな高山に今後も快適に住み続けたい。
- ・ 外国人がたくさん来高し、経済活性化にはなっているが空き家が次々民泊になっているのに違和感がある。高山の風景が変わってしまったので、なんとかしてほしい。
- ・ 春と秋の高山祭以外にもイベントなどをもっとやってほしい。クラシックカーのイベントや穴掘り大会など楽しそうだと思う。
- ・ 民泊が多くなりすぎて困っている。外国人が多く、まちの環境が変わってきている。物価も上がったし、観光に対して力を入れすぎていると思う。
- ・ インバウンドマーケティングの活性化、及び外国人旅行者がもっと解りやすく楽しめるまちづくりを進めてほしい。
- ・ 観光客のマナーが悪い。歩道から車道へのはみ出し、赤信号での横断など車を運転していると人身事故になりそう。日本のルールを遵守してもらいたい。
- ・ 外国人増加に伴う治安対策や、民泊増加による景観悪化への対策を求める。
- ・ 観光客の道路でのマナーが悪すぎて、経済が回ることは良いことだが、正直に言うと観光客には来ないで欲しいと思ってしまう。ちゃんとした歩道がない道は特に怖いと感じる。
- ・ 海外からの観光客の交通マナーが悪く、車の運転中にビックリする事が多々ある。観光客が増える事を喜べない。
- ・ インバウンド需要がいつまでも有とは思えないので、その後の対策を今のうちにしてほしい。国内人口も減っていき、国内需要も望めない近未来、どうすればいいのかと案じている。
- ・ 観光業の方は忙しいだろうが、外国人観光客に感謝の気持ちをもって接客してほしい。
- ・ 観光についても考えるべきである。外国人が一気に観光に来て、やりたい放題（駐車場や玄関で喫煙、玄関に食べかけや食べたゴミを捨てるなど）しているのに、市は経済が潤うからと大

目に見ているのだろうか。早めに条例を作るなど対応をしてほしい。高山が好きで住んでいる市民にもっと寄り添ってほしい。

- ・ 外国人観光客が多すぎて、レンタカー使っている人を見ると怖いし、まきこまれたら嫌。
- ・ 外国人が増え過ぎて住みにくい。これ以上迎える必要があるのか疑問。
- ・ 最近街を歩いていると外国人ばかりで、日本人観光客は少ないと思う。もっと日本人にも来てもらいたいの、国内への案内もたくさんしてほしい。どうしてもお店が外国人対象に変わっていき、地元民はますます入りにくい状況になっている。
- ・ 外国人観光客がどんなお店かわかるような、市で統一した案内表示板を店舗や施設に掲示すべき（10cm四方のパネルに日本語と英語で店名、業種など統一した情報を）。
- ・ 観光客が増えたことはいいが、特に外国人が交通ルールを守らず、歩行者が赤信号でも関係なく渡ったり2列3列に並んで歩いている。勝手に住宅の敷地内に入ってくるとも聞いたことがある。しっかりルールを守って観光をしてもらいたい。
- ・ コロナが5類になって観光客が戻ってきた。特に外国人が増えている。治安やごみ捨てのルールについて誰かが注意喚起をしてほしい
- ・ 外国人がたくさん来ているが、交通ルール（道いっぱい広がる、運転が危ない等）が守られていないので何か工夫してほしい
- ・ 観光客、特に外国人が街にあふれるなか、それによる弊害（交通ルールを守らない、価格の高騰、まちの汚れなど）に苦しむ市民も多いこと、それを望まない市民も多くいることを考慮いただきたい。真に市民の望むまちづくりをしてほしい。
- ・ 外国人観光客がレンタカーで移動することが多くなって、交通ルールを守らなかったり住宅地域に入ってきたりと不安に感じている。観光客が多いところはなるべくいかにないように、邪魔にならないよう遠慮して生活している市民が多いように思う。祭も見に行かないし、高山の良さを市民が実感できないのは寂しく思う。
- ・ 現在のインバウンド景気に安穩としていないで、市民がみんなで英語を学んで市全体で外国人観光客をおもてなしできるようにする。日本一の気遣い、おもてなしの評価がリピーターにつながる。現在は宿泊施設や商店以外で、地元住民と外国人観光客の交流は皆無である。スマホのアプリを使うので道案内すら不要。地元住民から話しかけないとコミュニケーションをとるのは困難。リタイアした高齢者の英語学習を支援して、街角ガイドを養成すればいいと思う。
- ・ 外国人観光客によるオーバーツーリズムの問題
- ・ 外国人が多すぎて出歩きたくない。
- ・ 外国の方が増え、トラブルが起こらないことを願う。
- ・ インバウンドのお陰でまちを歩くと外国人観光客が多く、またホテルも市外の外資が多く、民泊なども外国人オーナーが多いと聞く。高山が外国人に買われるようで怖い、このような状況を市は把握しているのか。
- ・ 外国人観光客のマナーの悪さが目立つ。駅や交通機関内で啓発してほしい。信号無視・逆駐車・交通妨害などが多い。他家の庭への立ち入り、玄関や表札の無断撮影などを見かける。外資の宿泊施設が増えることの弊害も気になっている。
- ・ 飛騨高山の風情がなくなってしまう、古い町並が壊れてしまった。外国人観光客ばかりで騒音やマナーの悪さが気になる。明らかにオーバーツーリズムである。中橋周辺では車と歩行者の間隔が狭くいつ事故が起きてもおかしくない。ゲストハウスやホテルばかりで景観がよくない。外国人観光客が勝手に土地のなかに入ったり、写真を撮ったりして近所の人たちは不安になっている。

- ・ 外国人観光客が多くて、ここは高山なのかと驚くことが多い。マナーも悪く、地元民は生活しづらくなってしまった。
- ・ 海外からの観光客が多いが交通ルールをしっかりと伝えて欲しい。道幅いっぱいにはろがるのに困っている。
- ・ 外国人の人たちは日本の交通ルールを守っていない。何とか守ってくれるように指導をしてほしい。市内に民泊が増えているが外国人の経営者も多く、今後の高山が大変心配である。
- ・ 高山市は観光地であり、観光客も増加している。そのため観光産業に関わる人の割合も多いと思うが、様々な行事が土日集中していて困る。就労事情もふまえて、行政も行事を分散させてほしい。

経済

- ・ 観光地化が急速に進み、本来の高山らしさがどんどん薄れている。さらに域外業者の参入が加速して、お金が地元に戻っていないのではないかと感じる。市民のための行政を進めてほしい。
- ・ 高齢者等に年に何度も(灯油代とか)お金の支給をやめてほしい。支給されている人から生活に困ってないけど貰えるという話を、何人からか聞いている。自分の世代は、生活費、保険代、車の維持費、こどもや孫などまだまだ支出が多いのに、再就職しても収入が少なく生活も苦しい。お金の支給をするなら全員にしてほしい。それが無理ならせめてプレミアム商品券を毎年発行するとかしてほしい。
- ・ 高山は外資系企業にお金を吸い上げられている。これを止めないと高山は時間の問題である。市民の生活を地元でまかなえない状態がいいと思うのか。

保健・医療

- ・ 病院数は人口の割に少ないし、ドラッグストア等チェーン店が多過ぎる。
- ・ こどもと高齢者には、インフルエンザワクチンの助成があるのに対して、その間の年齢の障がい者に対して、助成がないのが不思議である。
- ・ 医師の高齢化が心配である。
- ・ 医療機関が少ないので、誘致の努力をして欲しいのと市内の中核病院を統合し市民病院を作ればいいと思う。
- ・ 今後の医療を心配している。耳鼻科、皮膚科、整形外科、小児科など高齢の先生ばかりになっているが、今後安心して医療を受けられるのか。市民が医療難民にならないようにしてほしい。
- ・ 高齢者にとってはやはり医療関係の充実をお願いしたい。
- ・ 医療施設の拡充に力を入れてほしい。市内の総合病院は老朽化しているので新設してほしい。
- ・ 在宅医療の充実を望む。
- ・ 日本で一番広い市であるにもかかわらず、市民病院がない事に疑問がわく。観光業に力を入れるのもいいが、医療にもっと財源をさくべきではないか。
- ・ 開業医の医師の高齢化が心配。小児科、耳鼻科、皮膚科、整形外科が少なく不安。病院の医者も信頼できる医者がいるのか不安である。
- ・ 大きな病院が2つあるが、受けられない医療が多い。
- ・ 医療従事者だが、医師、薬剤師が不足している。看護師も足りないかもしれない。これらの職種の人が市で働いてくれる環境を構築してほしい。医療従事者が充足しなければ、地域医療が崩壊していく。崩壊すれば、住みにくいまちとなり、人口も減少して行き、結果的に地域経済が衰退し破綻に陥る。医療従事者の収入は、他産業に比べて低い。診療報酬の点数が上がらな

い限り、民間企業のように価格転嫁できない。結果、収入が少ないため、就職を希望する人は増えません。市町村や国が、これに対する補助や優遇措置や様々な制度を考えないと、現場での対処には限界がある。医療崩壊、地域社会全体の衰退に陥らないためにも、ご検討頂きたい。

- ・ 仕事を休まなくてもいいように、午後や土日などにも健診日時の選択肢があるとありがたい。
- ・ 喫煙者が多すぎるので、喫煙所やたばこの販売を規制すべきである。国際観光都市であるのに、飲食店の分煙（本来なら禁煙）が進んでおらず恥ずかしい。喫煙の害を理解していない人が多すぎるし、医療費が余計にかかることを理解していない。教員や公務員らも喫煙している。喫煙はニコチン依存症であることを周知し、市の喫煙率を下げる政策を真剣に検討してほしい。
- ・ 健康保険料の金額が高過ぎる。年金生活者なので厳しいと感じる。
- ・ 病院があまりにも少なく、小児科や皮膚科は特に困っている。
- ・ 市の健康診断で「前立腺がん」検査の対象年齢の上限が若過ぎると思う。74歳くらいまで上げてはどうか。
- ・ 市の中心部は観光地もあり、商店や医療関係も整っているかもしれないが、支所地域ではその様な環境が整っているとは全く感じない。もう少し支所地域の方にも目を向けてもらいたい。特に医療関係は年寄りが多いのもあり今後不安である。
- ・ 観光業も大事ですが、市民が暮らしやすくなることにもっと重きを置いて欲しい。まずは医療機関に対しては不安しかない。もっと若い医師を誘致するなど、わざわざ他県に通院するしか手段がない様な状況をもう少しなんとかして欲しい。
- ・ 医療療養型のような、高齢者が入所できる施設を増やして欲しい。また、保育士や介護士にも支援金などがあるといい。また、小児が安心して受診できる施設が増えるといい。
- ・ 医療に関して、安心して医療を受けられる体制を作ることが重要だと思う。でもそれ以前に、何でも病院に行く、何でも薬をのむではなく、自分で適切に対処する方法を幼少の頃から身につけるべきだとつくづく思う（市に限ったことではないが）。薬も資源、本当に必要な時に、必要な期間だけ飲むようにして、生活習慣の改善などで対処できる部分は自分で対処する、医療は本当に必要な人が余裕を持ってきちんと受けられるように、ひとりひとりの医療に対する意識を変えていくことが大切だと思う。20年はかかると思うが、市からそのような意識改革を広めて、飛騨、県、全国とモデルになるような本当の意味での健康作り No. 1 市を目指して欲しいと思う。
- ・ 耳鼻科に月に2、3回通院している。市内には総合病院を除いて3つ4つの個人医院があると思うが、いずれも先生が高齢化していて油断ならない。産婦人科や眼科、歯科などは世代交代してまだ続けられそうだが、耳鼻科医は跡継ぎがいないように思う。何とかしてほしい。
- ・ 小児科が少なく、皮膚科、耳鼻科、産科が少なく、子育てをするにあたり、医療面における不安が大きい。そして、こどもたちに関わる専門職（保健師、保育士、児童発達支援員など）の人材不足、賃金の低さを強く感じる。市の未来を担うこども達や現場で頑張っている職員の方々に対し、市はもっと現状を把握し、早急に対応すべきだと思う。
- ・ 朝並んで順番をとるなど受診するのが大変だ。
- ・ 皮膚科・耳鼻科などの医療が受けられる場所が少ない。
- ・ 市の総合病院について、老朽化が進み病棟の壁には大きな穴が開き、廊下はガタガタである。検査用のトイレはとても小さくバグや酸素ボンベを入れると戸を閉めることさえできず、立ったまま採尿するなど不快な思いをした。全面改修は不可能であるにしても、もう少し配慮があってほしいと切に思う。
- ・ 市民が医療難民にならないようにしてほしい。

- ・高齢者に久美愛病院は遠い。タクシーは来ない、バスは少ないで多くの人が困っている。

地域福祉・障がい者福祉

- ・市の取組みがこどもと高齢者と福祉ばかりである。
- ・支所地域への支援・サービス・補助をもっと充実させてほしい
- ・市は美しく、豊かで、安全な住みやすいまちだと思う。一方でひとり親家庭や病人を抱えた家庭など隠れ生活困窮者も多く、意外に貧富の差が目立つ。サポートするシステムもあるのだろうが、周知されていないのか一人で抱え込んでいるケースも多いように思う。教育、生活、医療において困窮する家庭がなく安全、安心に暮らせるようなサポートの充実と、相談する事ができるのだという広報、相談しやすい窓口作りをお願いしたい。
- ・低所得者への所得保護をお願いしたい。
- ・給与水準が低い。障がい者雇用が少なく、一般の会社への障がいへの認知が低い。障がい者サービスを増やして欲しい。障がいのランクでサービスを区切られるとランクの境目の人が使いにくい。ランクで分けるなら職員がきちんと把握してほしい。

高齢者福祉

- ・高齢化と核家族化による高齢者のみの世帯に対しての対策が、まだまだ不十分である。介護施設の充実や一人暮らしの安全、安心にもっと取り組んで、高齢化社会に対応した市政を希望する。
- ・現在73歳なので、他界するまでに家及び農地、山地などを、近所の人もしくは利用したいという人に、どうしたら残せるか模索している。
- ・高齢者が多くなってきたので、老若男女問わず過ごしやすい環境整備等に尽力して欲しい。
- ・高齢化が進んでいるので、特養や老健施設に希望者や対象者が入りやすい環境を整えて欲しい。
- ・高齢者福祉が、もっと充実すると良いと思う。
- ・市ならではの雪害が心配である。事故も多く、除雪を頼むにもお金がかかる。高齢者だけでなく、若い人でも病気など、色んな事情で除雪できないことがあるので、安心して冬を越せるような助成制度がほしい。
- ・子育て世代にやさしい政策ばかりで、高齢者には厳しい政策ばかりである。高齢者にもやさしい政策をお願いしたい。
- ・高齢で自動車の運転ができなくなると、通院や買い物が困難になりどうすればいいかわからない。
- ・老人が少人数で集まって語れる場所が必要かと思う。椅子とテーブル、お菓子と飲み物があれば良いかと思う。
- ・高齢になってきているため、より良いまちづくりや安全、安心、安定した生活が送れる様にしたい。
- ・高齢になり施設入所の事を考える年齢になったが「入れる施設が無い。何十人待ちだ」とよく聞き、大変不安である。
- ・介護について、市独自のサービスや援助などを考えてほしい。
- ・自身が高齢者であり、昨年介護していた母を見送った。二年前から市内近辺の老人施設数力所に入居申し込みをしていたが、どこも100人待ちと言われ、母の死後に施設からそろそろ入居できますと連絡がきた。自分の今後の生き方はどうすればいいかと考えながら暮らしている。

- ・ 自動車免許を返納したあとでも、不自由を感じることがなく、健康でありたいと年々しみじみ思うようになった。高齢者に寄り添うまちづくりを小さな事でも自分達に出来る事から、気付いた事からやっていきたい。
- ・ 10年後の高齢化福祉が不安である。
- ・ 高齢化がすすみ、介護施設などが不足しないかが不安。給料を行政からの支援で増やしてでも、介護職の方々の離職を減らしたり若い方が介護職を目指したりできると良いと思う。介護の為に働けなくなり退職を余儀なくされている方も多いので、労働者が減らないようにしてほしい。
- ・ 近くにスーパーがなく、高齢化とともに買い物に出られなくなり不便になることが心配だ。
- ・ 後期高齢者二人（夫婦）で暮らしているので、年々体力知力が落ちていく。高山は冬が長いので寒さや雪の心配が一番の難点である。
- ・ 福祉センターの運動教室は効果があると思う。ひざと腰の運動の大切さがよくわかるので、続けてほしい。
- ・ 冬の雪下ろし助成について、大変ありがたく使わせてもらっているが、一部補助ではなく全額にしてもらえたら嬉しい。今はひと冬に一回しか雪下ろしをしないが、たくさんの券をもらう。それを捨てるくらいなら、枚数は少なくてもいいから金額を増やしてほしい。
- ・ 中年向けのプールや温泉施設がほしい。
- ・ 75才を過ぎた後期高齢者である。免許返納をいわれ始め65才で車を手放して生活を始め、バスに乗ったりしながら72才で免許を返納した。買い物などはぼちぼちでいいけれど、一番困ったことは病院へいくことである。タクシーをお願いしても来てくれなくて、調子が悪いので歩いてみいけず、救急車というほどでもなく困っている。年齢を重ねてももう少し暮らしやすくなればと思う。駅西の施設のなかに映画館、公衆浴場があればお年寄りが集まれていると思う。
- ・ 要望はいくつかあるが、自分の人生残り少ない今、何も申し上げず心にしまっておく。ただ市に生まれ育ったことや、皆様の陰の努力には感謝している。高齢者の居場所は自宅や施設以外にあるのだろうか。
- ・ 高齢者が車に乗れなくなったとき、とても不便に感じる。生活ができない。近くにスーパーも病院もなくなかなか車が手放せないなので、対策してほしい。
- ・ 丹生川地域にはスーパーがないので、独居の方や車がない方はどうしているのか。自身は高齢で認知もあるので入所を検討しているが、なかなか入れる施設がない。国民年金者で少額なので、同居はしているが生活が苦しい。
- ・ 高山地域に住んでいる人と、支所地域に住んでいる人とで同じ介護保険料を払っているのに遠方という理由だけでリハビリやデイサービスなど利用できないという不公平さがある。その人に合ったサービスを利用する選択肢もない。市が補助したり、移動の送迎などできないものか。観光にばかり力を入れず、山間部の福祉や移動手段の検討をお願いしたい。

児童福祉

- ・ 子育て世帯に対してもっと色々な対策をしてほしい。子育て世帯への給付や無料券など、他の自治体には様々な取り組みがあるのに、市はそういった面での優遇がないと感じる。こどもが沢山いる世帯だから思うのだが、給付金もそうである。こどもが4人、5人いる世帯と1人のみの世帯とで同じ金額だと、もらっても全く足しにならない。多子世帯には市から金額をプラスするとか、無料券の支給などで補正してくれればいいのにとと思う。

- ・ 土日の乳幼児の遊び場が少ないように思う。公園の整備も進んできていてありがたいが、各地区に気軽に遊べる場所が欲しい。子育て支援センターや児童館が、こどもを育てている立場からするとありがたいが、駐車スペースや遊ぶ場所がせまく、十分に楽しめないことがあったので新たな施設を検討してほしい。
- ・ 子育て世帯への支援としておむつ配給制度があると、嬉しいのではないかな。子育て世帯への給付金を思い切って手厚くして欲しい。子育て世帯の高山への移住を増やすために「環境の魅力と他地域より目を引く経済支援」はセットで行うべきだと思う。市民として、インパクトに欠ける印象がある。このような給付策には年齢の線引き問題が付きまとうが、潔くていいと思う。今後の移住者や市内で子育てを始める方向けの施策として、迷いなくやって欲しい。
- ・ こども用のトイレ設置場所を増やして欲しい。児童館をよく利用するが、衛生面で安心して食事の取れるような、もう少し行きやすい場所になってくれたらと思う。5歳と2歳双子を連れて3階まで連れていくのがとても大変。でも図書館が目の前なのはとてもありがたい。
- ・ 冬季にこどもたちが遊ぶ事が出来る大型施設がない。
- ・ 定時が16時の保育園が多く、こどものいる女性の働く環境にかなり制限がかかっていると感じる。お世話をしてくれる祖父母などがいないと正社員で働くことがまず無理であり、世帯所得に関わる。市内には母子家庭が多いと感じるが、他の自治体と比べても経済的支援がとても少ない。公立保育園や学童の体制見直しによる雇用創出と、子育て家庭の経済的支援の充実をお願いしたい。
- ・ こども達の遊び場が全然ないし、あったとしても駐車場が狭くて少ない。原山公園が新しくなったけど、あれだけ広い公園なのに遊具が少な過ぎる。水場もあるが水が循環してないから本当に汚い。赤保木公園もプールが小さ過ぎてつまらないし、多子家庭は行けない(親1人に子2人までとか)し、意味がない。中途半端に作り過ぎだと思う。家族、親子が体を使って遊べる施設の少なさが嫌。あちらこちらにパチンコ屋がたくさんあるのになぜ屋内型の遊戯施設を作らないのか。住んでいるのは年配者だけではない。どこが出かけるにも片道2時間以上掛かるし、親子で半日時間潰せる施設がない。日本一大きな市の割に何も無さ過ぎて住むところでは無いと感じる。市街地から離れるとコンビニすら無くてうんざりする。もう少しで他県から引っ越してきて1年経つが、高山市が楽しいところだと思えない。娯楽も行く場所もないし、雨が降ったらなおさら。晴れている日にしか外に出られないので友人たちに遊びに来てね、とも言えない。
- ・ 冬のライトアップばかりで短期間しか開催されてないし、遠い。イルミネーションなど若者や家族連れ、こども向けに力を入れてほしい。これからの未来を長く生きるのは年配者ではなくこどもたちである。
- ・ こども食堂の存在が本当に必要な家庭(母子家庭等)に知れ渡っていない気がする。もしくは、知っているてもまだまだ参加しにくい雰囲気があるのかもしれない。
- ・ 季節により熊も怖いけど、それ以外は治安もよく、安心して子育てできる環境である。
- ・ もう少し子育てに対する支援があると助かる。物価高でこどもを育てるのが大変である。
- ・ 公園やスポーツ施設等を綺麗に整備するより、こどもにとってもっと大事な事にお金を使って欲しい。こどもが安心できる居場所づくりや学習できる場の方が現状必要だと思う。
- ・ 公園に最新の遊具など無くても、広くて自然に囲まれた場所の方がこどもにも親にとっても、得るものや発見が多い場所になるのではないかなと思う。今後も住み続けたいと思えるまちづくりをお願いしたい。
- ・ 子育て中の親が、時短で仕事が続けられる環境を整えて欲しい。

- ・ 昨年一人目のこどもが生まれたが、これからの子育て世代は給与があまり上がらず、物価高が続いており、安心した育児ができるのか、漠然とした不安がある。贅沢をして子育てしたいのではなくこどもに必要なことを必要なだけさせてあげられる支援を行政の方々にも前向きに検討してもらいたい。高山の良いところはとても多いので、高山の人が豊かに生きていけて、住み続けたいと思えるような政策をお願いしたい。
- ・ 病児保育を利用するために片道一時間以上かかる。市は中心部だけが高山市なのか。周辺にも目を向けてほしい。
- ・ 今後を考えても、高齢者が多い市になると思われる。医療・福祉の充実した市、医療・福祉に優しい市であることを願う。県内でもこういった面で自慢できる市であってほしい。
- ・ 雨の日にこどもが遊べる室内施設を増やしてほしい。児童館、児童センターは雨の日はとても混んでいて座る場所もないくらい。まちなかや少し街はずれの空き家などをこどもの遊び場として活用できるといいと思う。
- ・ 他県の成功している事例、子育て支援策を参考にして取り入れてほしい。
- ・ 小さなこどもたちが雨や雪のときでも走り回れるような施設がほしい。
- ・ 私は地元の高山市が大好きで、将来は市の保育士として働きたいと思っている。現在保育士の給料が低いと聞いたことがある。将来帰ってくるうえで県外との給料の差が少なるようにしてほしい。そうすれば私も一生懸命頑張れると思う。
- ・ 2才4才の子を育てる母である。子育ての場として高山は環境が整っていないと思う。人材不足もあるなか、どんどんオンラインで済ませられるように整備していったほしい。保育園の申し込みについても、毎月申し込み状況をオンラインで更新してほしい。どの保育園に空きがでたのか一覧でわかるようにし、そこに申し込む形にはできないのか。年度途中で申し込んで一度無理ですと言われたきり、4月まで連絡がなかった。現状が不透明すぎる。サポートブックも見にくいし手作り感がすごい。こんなものを作るために人件費をかけているのかと正直思った。オンラインとかアプリを作ったほうがいい。小児科についても、開業医の高齢化が進んでいて正直不安であるし、数も少ない。何かあったときにすぐかかれる所が少ないと子育てはとても不安。市としても若いドクターを誘致してほしい。
- ・ 屋内でこどもがのびのび遊べる場所がない
- ・ 支所地域の地区ごとにこどもたちが安心して遊べる公園や遊歩道などを整備し、子育てしやすい環境を整えてほしい。栃尾小学校を新しく未来型の校舎にし、活気のある、地域も利用できる学校として見直しをしないと転居する家族が多くなってしまう。
- ・ 皮膚科、耳鼻科、産科が少なく、子育てをするにあたり、医療面における不安が大きい。そして、こどもたちに関わる専門職（保健師、保育士、児童発達支援員など）の人材不足、賃金の低さを強く感じる。市の未来を担うこども達や現場で頑張っている職員の方々に対し、市はもっと現状を把握し、早急に対応すべきだと思う。

学校教育

- ・ 教育水準が低すぎるので、公立の学校のレベルをあげる（愛知県のように公立中高一貫とする）か、レベルの高い中高一貫校や有名なインターナショナルスクールを誘致する（例：岩手県八幡平市の安比）など。教育水準をあげないと知識層の家族が転入してくず、知識層向けの職種が増えないことで、優秀な人材の雇用機会がますます少なくなる。結果、優秀な人材が家族ごと流出する。「高校卒業後すぐに就労」がデフォルトになっている現状は改革すべきである。知識を重視する教育をしていかないと、優秀な人材はさらに転出し戻ってこない。医療現

場の人材不足も深刻である。医師確保を日赤と久美愛だけに丸投げするのではなく市として優秀な医師を誘致できるよう市による医師への福利厚生を手厚くし、かつ、医師家族が喜んで転入できるようこどもの教育水準を上げるべき。医師は、中学受験に励む妻子を都市部に住まわせ単身赴任で高山に勤務しているケースが少なくない。それだけ「高山市の教育水準に不安がある」「家族で住む魅力がない」ということである。

- ・ 次世代を担うこどもたちの教育環境を整えることは、まちづくりにおいて最重要課題の一つである。ＩＣＴを活用した教育プログラムの導入や、地域と連携した実践的な学習機会の提供を通じて、こどもたちの学びを充実させるべき。また、教員の働き方改革を進めることで、質の高い教育を持続的に提供できる環境を整える必要がある。ＩＣＴの活用、給与水準の向上、減税、そして教育環境の見直しを進めることで、高山市はより住みやすく、活気ある都市へと変貌することができる。これらの施策は、地域社会全体の発展に寄与するものであり、今後の政策検討において、積極的に議論すべきテーマである。
- ・ 校区（特に小学校区）の見直しを迅速に行ってほしい。町内別の区切りはこの時代に合わないと思われている。
- ・ 通学路の距離が遠ければ遠い程、不登校や鬱になるといった研究もあるらしいのでせめて冬季はスクールバスを利用させてほしい。
- ・ 教師の仕事の負担を減らす為、学校教育の仕組みを見直し、市ならではの取組みなどをしてほしい。
- ・ 市は教育にお金をかけていないと昔からいわれる。これから生きるこどもたちのためにも、ぜひ教育に力を入れ、そのためのお金は多めに使ってもらいたい。
- ・ 学校になかなか行けない子たちのために、行ける場所や高校が増えるといいと思う。
- ・ 私の生まれ育った地域は、小学校で一緒だった友だちと中学で別れてしまう。自分も不安で寂しい思いを抱えながら中学に進学した。自分のこどもたちも同じ想いをするのかと心配している。道路をはさんだ向かいの家の友だちは違う町内だから別の中学に行ってしまう。この区分けを改善してほしい。
- ・ ランドセルを背負った小学生がパチンコ屋の前を通学する光景は世界的に見ても異常。パチンコは風営法で規制される店舗である。通学路にあるなんて市の怠慢である。
- ・ こどもの情報リテラシー教育の充実を。ネットで情報があふれている今、情報リテラシーは非常に重要である。
- ・ 北小のジャージは着やすそうに見えるが、丹生川小はごわごわしている。どうして差があるのか。値段も高いので苦労しており、補助など検討してほしい。
- ・ 小学校の給食無償化などの意見もあるが、その前にイベント日以外でも弁当持参の日が年に何度もあり困惑している。

文化芸術・スポーツ

- ・ 文化、芸術に対する取組みが低い（美術館、イベント）。古い町並だけでなく、次の１００年先を見据えたまちづくりが必要である（観光、インフラ）。
- ・ 寄席や芸能ごとが見られる、市中心部の空き店舗や空き家を利用した小さな芸能施設を作り、NPO 法人などに運営させ、地産地消を行ってはどうか。地元の芸事（落語や若者のバンド）好きの人に出演してもらい、笑い、外出による健康維持、出演への生きがいなどや街の活性化などに作用があるのでは。ソフト次第で地元エンターテインメントで新たな地産地消に。田舎は田舎らしく、楽しく生きられるように、人が大事である。

- ・ 伝承芸能の保存、継承に対する考え方がコロナ禍後大きく変わり、なかなか難しい。地域での工夫、取り組み方を知りたい。
- ・ 文化や芸術の発信が少ない。
- ・ 講演会や演芸など、市やまち協、町内会の行事は女性の参加が多く男性は少ない傾向がある。個別にお願いすれば参加していただけることもあるので、男性の行事参加の呼びかけをお願いしたい。
- ・ ビッグアリーナの使用が商業ベースの大規模イベントに優先され、市民の大会が制約されているように感じる。観光に携わらない納税者として、将来高山に住み続けたいと思わない理由を述べた。
- ・ スキー場を充実させてほしい。モンデウスのコース拡大やキッズパークを充実させて、市民や観光客が冬場楽しめるような施設にしてほしい。せっかく雪がふる場所なのだから、そういった場所に資金を投入してみんなが行きたくするような場所にしてほしい。
- ・ 飛騨高山スキー場の高速ペアリフトが復旧していない。スキー場を利用するうえで不可欠なので、一日も早く復旧してほしい。
- ・ ビッグアリーナの周りにもっと駐車場を作るべき。市民プールになぜ滑り台を作らなかったのか。いまだきそんなプールはないし、そこにすら中高生の居場所がない。

交流

- ・ 観光には力を入れているが、実際に住んでいる人の生活が二の次になっていると感じる。若者がUターン・Iターンで就職しても、仕事以外のプライベートの時間をハード面ソフト面共に有意義に過ごすことができない。住民の意識も、観光客に対してはウェルカムなのに、外から来た人が高山に定住する事に対しては排他的な側面が感じられ、住みにくい。平地が少ない高山なのに、廃屋や空き家が目立ち、土地活用に不安がある。
- ・ 国外の観光客がたくさん訪れるため、その方たちと子どもが交流できれば将来に向けていろんな刺激があったりするのではないかなあと思う。自分は学生時代にもっと話したかったが、英語がうまく話せなかった。将来へ長期的な投資をすれば、高山の魅力を発信できたり、新しい産業につながるのではないか。
- ・ 人口が減少するからといって文化の違う外国人を大量に移住させるのには不安がある。高山の文化・日本の文化に理解のない外国人と一緒に暮らしていくのは怖い。一部の閉店した施設や空いた土地を外国人が買い占めていると聞く。ただただ好き勝手されては怖いし、そんな人たちなら人口増加になっても嬉しくない。
- ・ このまま外国人居住者が増えることに不安を感じる。

歴史文化

- ・ 観光業を重視しているとあるが、そのわりには高山祭の屋台を保管する屋台会館が1つだけと少なく感じる。ホテルなど外資企業が進出するのは結構だが、高山祭という文化そのものを守る活動をしないといつか観光業にも影響がでると思われる。
- ・ 町内会に加入しているが、退会したいと思っている。理由は祭りの警護である。警護に出るために必要な袴、はかまの維持や新調は各家庭の責任となっている。費用もかかるうえ、順番に回ってくるので出られない場合は必ず誰かに依頼して代役を探さなければならない。獅子舞や楽器、旗持ちなど衣装がある場合はそれを着れば済むので、袴やはかまも公に管理して、警護に出る人が借りられるようにしてほしい。

- ・ 文化財の収蔵施設の整備が検討中のままに、九次総に入るのはいかがなものかと苦慮している。
- ・ 年々高齢化し、地区町内会だけでは祭礼の人足を出すのが困難になっている。そこそこの習わしがあって、市が入ることは難しいと思うが、市で助けてもらえることがあれば協力してほしい。シルバー人材に依頼したが、いっばいをお願いできず。高年齢でも出なければいけないようなことが起きている。
- ・ 地域行事等を支える住民の高齢化対策。重くて神輿を担げないので車輪をつけるなどしないと氏子を抜ける家庭が増加するし、町内会を脱会する人も増えている。
- ・ 祭の担い手がない。少子高齢化で祭の維持が難しくなっている。地区の問題としてではなく、市として対策をしてほしい。
- ・ 照蓮寺について、市民だけでなく今や外国人観光客も多数訪れる城山公園。その顔でもある照蓮寺のいたみが年々ひどくなっており、もはや崩落しそうな箇所や屋根がある。歴史的にも文化財としても大変価値のある市の宝を、行政でもう少しなんとかしていただけないか。

協働

- ・ まちづくり協議会に関する勉強会を開いている。
- ・ 地域おこしや地域参加型の行事を増やして欲しい。
- ・ 町内会の活動、運営は根本的な改革が必要。このままでは加入者は半分以下になる。
- ・ まちづくり協議会がどんな仕事をしているのかわからないし、何人働いているのかも知らない。あまりよいイベントは開催されていないと感じる。
- ・ 町内会に入っているが、抜ける人が増えてきた。また地域によっても班長の負担が全く異なり、これからの時代町内会は必要ないと思う。昔からの考え方が根強いので移住したくてもできない人が多いと感じる。実際に町内会の活動がほとんどない地域もあり、そういったところに移住してくる人が多いと聞く。私の住んでいるところの町内会があり、班長の負担がかなり多い。いまだに班費は一件ずつ集金だし、回覧板を使っている。地域によっては班費はほぼ引き落としで、回覧板ではなくてラインだと聞く。そういうところから変えていく必要があると思う。行政は関係ない部分かもしれないが、住みやすいまちづくりとはそういう所も見直していく必要があると思う。祭などの文化はこれからも継承すべきと思うので、その辺のバランスが難しいが、誰もが住みやすい町を目指してほしい。
- ・ 2ヶ月に一度の宮川清掃には誰かを雇って欲しい。高齢者の割合が高く、夏場の作業はとても気の毒だ。
- ・ まち協や町内会といった自治組織は、維持する事そのものが目的となり、加入や予算を割く意味合いが薄れている。事実、非加入でも生活に困ることはない。このような組織の運営に、自己犠牲を払っている役員も少なくない。まち協がなくても市民が滞りなく生活できる仕組みづくりをしてほしい。
- ・ 様々な講座やイベントなど、高山地域で行われるものが多い。支所地域ではまち協や社会教育運営委員会（社教）などが主体で色々企画しているが、どうしても内容などで地域格差を感じている。合併して20年経っても、市としての一体感が全く感じられない。
- ・ まちづくり協議会はとても真面目にまちづくりを行っていると思えない。無駄が多くそれ自体が経費の無駄だとも言える。他所から来た者が住みやすい環境とは思えない。高山に生まれ育った者の考え方に依存していて、新しい考えを拒絶している。やらされている感が滲むし、アイデアも乏しいし、形だけの取組みに見え、意見に対するフィードバックもない。内向きで自己

完結的な活動に終始しており、このままでは時間と費用の浪費である。このままでは寂れた温泉街のようになってしまい、地の利を活かせていないと思う。

- ・ まち協事務局員の確保が大変難しい。給与が割り当て補助金からの支給なので少なく、若手の終身雇用にならない。
- ・ 町内会に入る家庭が年々減少していて、町内行事に支障をきたしている。
- ・ 町内の近隣（自分も含め）でも高齢化が進み大変な時代になってきているが、少数でも若い人に出来ることは任せて将来に備えていきたい。
- ・ 町内会活動について、こどもの成長と共に町内会を辞める若い家庭が増えてきている。若い方々は係があたると面倒とか、会費を払いたくないとか。町内のために、微力ながら協力してきた者にとっては、寂しい時代になってきたと思う。
- ・ 町内会加入者と未加入者の不公平感が増大している。ごみステーションの利用に、加入者と未加入者の差がないのはおかしい。
- ・ 比較的治安がよく、自然豊かでいいところだと思う。一度都会に出て、その良さが分かるようになったが、まだまだ地域によって閉鎖的な考え方が強かったり、町内の行事への強制力が負担に感じたりする。だだ、伝統的なお盆のごしょうらいがなくなったり、金蔵獅子の後継者がいなかったりして伝統芸能などが衰退していくのは寂しいと思う。こどもの数、体力やモチベーションなどが減っているなかで同じことを同じ様に続けていくことは難しいかもしれないけど、持続可能になるようにいろいろ折り合いをつけていってほしい。
- ・ 近所の方に自治会に入りませんと伝えたら「それじゃあゴミ捨て場は使えません」と言われ毎回リサイクルセンターのゴミ捨て場に捨てに行っている。通り過ぎる人達には少しの優しさや温かさがあるのだろうけど、他所からきて住み始めると部外者扱いで冷たい。いろいろなことが分からなすぎるし、不便。情報もあまり届いていない。
- ・ 町内会が高齢化している。あらたな転居者やアパート入居者が町内会に入らず、何かよい手立てか無いかと思う。成功している町内会があれば、高山市外でも紹介して欲しい。
- ・ 町内会に入らないと住みづらい田舎特有の雰囲気嫌い。
- ・ 私の班は人数も世帯数も断然少ない上に高齢者で免除の方も多数みえる。そのため数件の比較的に若い世帯だけで様々な役を何度もやるはめになり、本来1度やればめったにこないような大役もこなしているののでしっかりと見直しをしてほしい。負担が大きいからと、新築で引っ越してきた方々もお子さんがみえても町内会には加入していない。このままだとジリ貧でいつか限界がくるのが目に見えている。自分がこども会の委員長をやられたとき、

町内の三役の方たちにも平等でなるべく均等に振り分ける

高齢世帯を抜いた世帯数を各班で集計し、少ない班を把握する

班長以外で毎年何かまわってくるなら、その周期を2～3倍に延ばして調整する

大きな役が当たった人達ばかりなら他で探すなり対策をとる

などと提案したが、意見を聞いてくれただけで自分たちの面倒ごとは棚にあげて話にならなかった。この問題については他町内会からもよく耳にするので、市が介入して仕組みを改定するよう働きかけてもらいたい。

- ・ 町内会の会費(年8万～14万程度)が高すぎて、子育て中の世帯にはとても厳しい。地域の神社に関する出費が多すぎる。価値観が多様化し外国籍の方も増えていく中、神道を信じている人だけが住んでいる町内会ではなくなったし、神道を信じるにしてもどれだけお金をかけたいかは個人の自由であるべきだと思う。ゴミ集積所や防災など地域のインフラとして町内会が回収すべきお金は町内会費として集めたらよいと思うが、神道(神社や祭り)にかけのお金は募金

というかたちで任意で集められるべきであると思う。このまま神社費を町内会で強制的に徴収されると、個人の宗教の自由が失われてしまう。個人の宗教の自由を尊重するべきであるという方針を市長が発信するべきだと思う。また祭りの担い手が少なくなっていることで、神社を統廃合していく道を高山市が提示しないと、若者世代の負担感が大きくなってしまう。神社のことで、若者世代とお年寄り世代の分断が激しくなってしまう。

- ・ まちづくり協議会について、70歳を超えると知人には様々な校区の町内会長経験者が増えるが、「まち協が当初の目的から外れてきた」「町内会活動に資するどころか、かえって阻害している」という声を多く耳にする。例をあげれば、

今のまち協活動は、町内会に属さなくても恩恵を享受できる仕組みづくりを進めており、町内会の存在意義を薄くしている。

町内会長はほとんどが1～2年で交代するため、訳が分からないうちに初任研修受け、疑問を感じた頃には退任してしまう。そのため意見を集約することがなく、ベテランの連合会役員がリアルな問題点を把握できているとは思えない。

まち協役員は長期に務める傾向があり、大きな予算も持っているため、町内会長より上位にいると勘違いして、町内会役員を下請け的に扱う傾向がある。

まち協事務員が永く居座る傾向があること。

現在のまち協は、当初の理念から逸脱して校区の中にミニ役場を作ったようなものなので、屋上に屋根を架す仕組みは見直すべきだと考える。

- ・ 自治会運営について、市の職員でも町内会に加入しておらず、非協力的な人もある。自治会加入は強制とするべき。全く不公平である。もしくは、市職員を増やし市民税を上げてでも市が自治会運営を行えば良い。自治会活動の河川の草刈りなども、高齢住民が参加せざるを得ず、転落事故なども発生しており、これも危険であり全く不公平なものだ。市が業者に発注し予算の中で行えば良い。
- ・ まち協の行事が多すぎる。もっと現役世代の負担を減らすべき。
- ・ まち協・町内会・市でやるべきことの境界がわかりづらい。業務の混ざっているところや、決済・決定等のパワーバランスがおかしいことがあるので、1度精査し直した方が良いと思う。
- ・ まち協とは、ゴミシールが余った時に、年に一度持って行くだけの関わりしかない。まちづくり協議会の出す情報が月に一度回覧板で回って来るが、講座があっても申し込みが終了してたりする。人数が5人までで定員だったり、やりたいものが無かったりもする。年を取れば、家の回りの雪かきやゴミ出しなど、近所の方たちのお世話にならなければならない不安がある。町内会というのはそういう時のためにあるのに、町内会を抜ける人がいるのは寂しい。災害の時など、皆で助け合わなければいけないと思う。年寄りが増えて若者が都会へ出て、帰って来ない今のままでは、将来が不安である。年寄りでも自分が出来る事をして、皆で介護をしていかなければならないと思う。
- ・ まち協のスポーツの活動など、人数が集まらないためほぼ強制的に参加となる。本来人数を募集して、一定数集まらなかったらやる必要はないのではないかと。どこの誰が参加しない、など見えない圧力の活動になっていると感じる。もっと気楽に行きたい人だけが参加できる団体であって欲しい。
- ・ 町内会の活動も少子高齢化でままならない状況の中、まち協の組織の必要性が全く感じられない。役として関わったが、社協時代から同じ内容でマンネリ化しており、活動内容の改善がみられない。意見を述べても長年の役員の固定化のもと進めているため、役員が変わらない限り

改善は無理と言われている。せめて、市職員担当からの積極的、専門的な指導や助言をしていくべきである。

- ・ 町内会や班に入らない方が増え、また入会者の高齢化など、町内会の活動が負担になってきている。本来全ての市民で活動し環境、生活等整えるものと考えるが、バランスが悪くなってきている。何とかしなければならないと思う。特に河川の清掃は危険と負担が大きく、専門業者に任せたい。
- ・ 地域住民の自助意識を高める必要があると感じる。
- ・ 町内会や班に未加入の家が多くなってきている。役員を受けることができない家もあれば単に「やりたくない」の一言で加入されない家もある。特にこども会の行事は義務教育の間だけでも入っていたほうがよいと思う。横のつながりが大切であり、学ぶことは多い。祭の警護の指導、特に笛、かんかこなど学校のクラブのような方法で、経験者が指導にあたると継続できるのではないと思う。スポーツではないクラブに興味があるこども達に良いと思う。
- ・ まち協の役員の選出方法に不満がある。もっと地域住民の意見等を取り入れて人選してほしい。私の周りではまち協がいいと言う人が一人もいない。そもそも今のやり方ではいいわけがない。役員のためのまち協のような気がしてしまう。
- ・ 持ち家・一軒家に住んでいても町内会に入らず会費も払っていない家が増えている。町内会に加入しない方々は市税を増額したらどうか。
- ・ 世帯数の少ない町内なので毎年役員選出が困難になっている。同じ型が役職を兼務する状況が続いているが、どこの町内も同じなのだろうか。少子高齢化の波が押し寄せ、近い将来まち協そのものの存続が危ぶまれるような気がしてならない。まち協の役員や事務局の方々は一生懸命職務に励んでおられて頭の下がる想いである。
- ・ 国府地域のまち協の方はいろいろ考えてやってみえると思う。それなりに町民も協力するのが大変なこともあるが、ありがたいと思う。
- ・ まち協のことには詳しくないが、役所の仕事をまち協でやっていて大変になってきたと聞くことがある。まち協の役割がわからないのでもっと周知したほうが良いと思う。
- ・ 共助という名のもと、何もかも住民同士での助け合いを強制されているようで息苦しく感じる。市政ですべてできるわけではないとわかってはいるが、では地域住民でといわれると出て行った者勝ちではないかと反発したくなる。自分でもどうすればいいのかわからない。以前より少なくなったが、地域の行事で週末がつぶれることもあり、虚しさを感じている。もっと気楽に生活したいと思う。
- ・ 町内会の負担を少なくしないと若い人たちは町内会に入らないと思う。入っている人と入っていない人を平等にしてほしい。
- ・ 隔年くらいで住民との意見交換の場として、地域ごとに座談会を開催してみてもどうか。
- ・ 私の町内ではお祭り、こども会の夏休みの公民館でのお泊まり、青年部の夏祭りやバザー等があり大変いいことと思っているが、新築した人たちが町内会にも班にも入られない方が多く、昔なら考えられないなと思っている。市内ではこのような町内が多くあるのか、とても残念に思う。
- ・ 町内会費が高すぎる。
- ・ 健康体操を20年近くやっているが、CDラジカセが使えなくなることがある。市でも推奨している事業だと思うので、壊れた時にまち協で対応を最優先してほしい。結局町内会で買ってもらったが、自分たちも納税しているし、まち協は市からお金をもらっているのだからまち協で対応してほしい。

- ・ 人口減少に伴い、高齢者・高齢者世帯が急激に増えている。町内会や神社、お寺といった住民の社会生活に関わる組織について、行事・役員・経費といった負担が大きくなっている。まち協などが中心となって、この課題に積極的に取り組んでほしい。
- ・ 町内会に未加入の方が増えることが一番の課題だと思う。多くの声が揃うことでまちづくりも盛り上がるのではないかな。今後に期待している。
- ・ 町内会に加入しているがあまり活動をしていないように思う。
- ・ 一斉に何かを行うのではなく、地区やその人に合った身近な取り組みをして欲しい。今まち協で開催されている行事も無理やり参加を募り、多大な予算を当てているように思う。市民全員に公平になるような取り組み方を考えてほしい。
- ・ 本来市で行う業務をまち協に丸投げしている。丸投げするならもう少し業務の内容を充実させ、しっかり指導する必要があると思う。
- ・ 人手不足、少子化、若者もいないなど将来の市に希望がみえない。このまま衰退していくと見る影もなくなると思う。そうならないために行政と市民がもっと危機感を持って語り合い、一步一步改革していく努力が必要なのではないか。市政政策検討委員会（仮称）を校区ごとに設け、市長や行政に提案する権限を持ち、行政の取り組みを評価する機関とするのはどうか。少子化や人口減少対策の提言をしてもらい、任意の希望者を委員として予算化する。まち協では果たしていない役目をその委員会で担い、提言結果の全公表を主務とすればよいと思う。
- ・ 町内会の役が多い。高齢でできないのなら、役を減らすべき。時代に合わせて変化させてほしい。
- ・ 町内会未加入の家庭の増加など地域の人間関係の希薄化が感じられる。個人の自由やプライバシーも大切かもしれないが、町内会に所属しないと行政サービスが限定されるなどある程度の区別は必要だと思う。平等の解釈、個人の勝手とは少し違うのではないかなと思う。地域で助け合って生きていくことや、地域防災のことも含め、新しい取り組みが必要ではないか。
- ・ 女性部という組織に一家に一人加入しなければならないと言われ半強制的に加入させられている。ジェンダーレスの今の時代かなり不愉快だし、ただちに無くして欲しい。LGBTQなどの性自認を誰にもいえず悩んでいる方も半強制的に加入させられているかもしれない。

生涯学習

- ・ 気軽に出かけられる公民館講座を開いてほしい。
- ・ 野菜づくりや花づくり、自然環境を活かした取り組みなど、生活に楽しみや活気をもてるよ講習会など開いてほしい。休耕田を活かしたハーブガーデンを作っている方などに指導を受けたい。また、上高地など、駐車場やロープウェイを利用しやすいように市民補助制度が欲しい。

土地利用

- ・ 市街地の空地になっている土地については有効活用してほしい。
- ・ 市民はまちなかの駐車場を無料にして欲しい。買い物に行きたくても駐車料金が掛かるから行きたくない。終日じゃなく、1～2時間でも無料になればもっと人は行くと思う。
- ・ 中心市街地から少し離れたところに観光バス駐車場を作ってほしい。
- ・ むやみに田畑をつぶして住宅地にしないほうがいいと思う。山林も住宅地にしないよう規制したほうがいいと思う。

住宅公園

- ・高山地域では原山に公園を作り、大八にはサッカー場をつくっている。中山公園の野球場も新しくするようだが、私が住む地域には公園すらない。
- ・雨の日、日差しが強い日など室内でこどもが遊べる場がほしい（モンデウスの遊び場よりも広い場所）。他の地域では廃校跡が整備されて遊び場になっているところもある。
- ・市にあるマンションの家賃がものすごく高いのは何故か。一人暮らしを考えているが、賃金の低さも相まってかなり困難だと感じている。
北地域には公園が少ない。以前から要望しているが、全く改善されない。一番こどもが多い地域なのに、こどもの福祉が置き去りにされている。こどもが安心して遊べる場所を作ってほしい。
- ・築70年過ぎた市営住宅は耐用年数も過ぎ災害時にも心配である。私も含め今後の事を考えるとコンパクトなタイニーハウスの様なサイズ(1LDK)の市営住宅が必要だと思う。
- ・石浦地域に公園がほしい。石浦地域は子育て世帯が増えていて、それに伴い交通量も増加している。
- ・こどもだけでなく、高齢者にもウォーキング、軽スポーツ、運動、ストレッチなどが出来る公園や施設があればと思う。
- ・市内各所に空き家、空き店舗が目立つ。法律上、難しい事もあるのだろうが、有効活用を市としても積極的に支援して欲しい。
- ・原山の公園がとても充実して市民の利用も増えて賑わっているのが嬉しい。のんびりできる公園がもっと増えると良いと思う。
- ・景観保存地域に住んでいるが、あと10年もすれば高齢化により、ほとんど人の住んでいない民泊ばかりの通りになることは避けられない。保存しなければならない建物はリフォームにも様々な制限があり若い人たちが戻って来ない。永久保存と聞いたが、それは住んでいる者がしなければならないことなのだろうか。民泊ばかりになる前に、若者が住むなら多くの補助金を出す、といった対応をしてほしい。
- ・市の室内プールや公園(歩いたりできるところ)、冬に運動できる場所がほしい。
- ・原山公園は大変良いものを作っていただいた。孫やこども達がとても喜んでいる。
- ・原山公園は非常に良く、市民の財産であると思う。
- ・緑地公園のスケートパークを修繕して、安全で利用しやすい場にして欲しい。市には土地がたくさんあるのに、スケートパークやプレイグラウンドが少ない。他府県では身近な所にスケートパークやプレイグラウンドがたくさんあり、大人からこどもまで気軽に楽しんでいる。そういう面で高山は残念でならない。
- ・原山市民公園の整備はとてもありがたかったが、トイレが古く少ないため整備して欲しい。
- ・こどもの遊べる場所(公園など)が少ないし、魅力に感じない。今原山公園にもアスレチックができたが、もう少しあるといいと思う。給与水準も低いので子育て世代は大変だと思う。
- ・市民プール、原山公園大変良いと思う。こどもだけでなく大人も気軽に散歩やランニングをしてのんびり出来る公園や施設多く作ってほしい。
- ・ほとんど使われていないような小さな公園がある。遊具などは安全なのか、そもそも必要なのか、確認した方がいいと思う。
- ・周辺地域には把握しきれていない空き家があるので、その空き家を活用し他県から人を呼び込む事はできないのだろうか。

- ・ 空き家が多く、何かに活用できたらと思う。外観の美化、働き手の増加にもつながったら嬉しい。
- ・ 原山市民公園にGWの期間、遊びに行ってきた。1才の娘は楽しく遊んでいたが、1～3才エリアで小学生が鬼ごっこをしていたり、木の棒を持って遊んでいたりと危ないと感じた。1～3才エリアのフェンスに年齢制限を明示する必要があると思う。休日は混雑し、上記のような危険を感じたのでGW以降足を運んでいない。
- ・ 城山公園の駐車スペースが少ない。散歩できる公園がもっとあるといいと思う。
- ・ 緑地公園の万人橋下の駐車場の水はけが悪く、水たまりになっている。晴れの日でも水が抜けなく車が停められないところがあるのでぜひ直してほしい。緑地公園西園の時計塔の時計が止まっているので直してほしい。
- ・ 町内の空き家が増加しており、中には屋根が腐って垂れ下がっている家がある。更地にしても税金が増えないようにしてほしい。空き家をそのまま放置するより、更地にして活用したほうがいいと思う。
- ・ 高齢者や障がい者、こどももよく利用しているので、緑地公園やヘリポートのある公園等にトイレを設置してほしい。
- ・ 高齢者にとって散歩は健康維持のために大事であるが、疲れた時に休むベンチや、頻尿になっている高齢者のためにトイレをもっと設置してほしい。足・腰・膝の痛む方にはとても酷になっているので、検討してほしい。
- ・ 遊具にこだわらず、多目的な遊び場があると嬉しい。
- ・ もっと思い切った空き家対策をしてほしい。行政が持ち主に働きかけ、費用を抑えた処分方法を提案してほしい。近所に住んでいても他人には何もできず、観光客の目にもさびれたまちに見えてしまう。
- ・ 原山にすばらしい公園ができたが、こどもたちだけでは行けない。小さい公園でもいいから、少し歩けばすぐいけるとところに幾つも作ってほしい。こどもが遊べる場所が少ないし、祝日に雨だと児童館も休みだし行くところがない。
- ・ 市民プール、原山公園など新しい施設ができましたが、屋根が少なく熱中症対策がいまいちであると思う。より多くの方が快適に過ごせるような工夫がほしい。
- ・ 住宅修繕の融資制度を検討してほしい。80才を超えているので銀行融資が受けられない。土地を担保にした低利融資の制度をお願いしたい。固定資産税の評価が高く、また相続税の増税と重なりとても困っている。
- ・ 空き地・空き家の問題に取り組んでほしい。
- ・ 各地区に空き家があり、壊れかけているものも多い。危険なのでなんとかしてほしい。
- ・ 空き家の件について、環境が悪く小動物が巣を作っている。崩れてきそうなどころがあり、地震・台風・大雨などが来るたびに不安である。このような家が地域に多々あるので、調査をしてよい方向に向かわせてほしい。

生活環境

- ・ 昨今、リチウムイオンバッテリーの廃棄が問題になっているが、有料でも構わないので、自治体が責任を持って回収するシステムを構築してほしい。
- ・ 夫婦2人世帯の可燃ゴミシールの枚数を増やして欲しい。週2回の可燃ゴミの日、1枚ずつ使用すると足りない。家族が多い世帯はシール枚数が多く、シールが余る家庭も多いのではない。年度末に町内会で余ったシールを集めているが、その量を見るとどうしても不公平だと感

じてしまう。単身や夫婦世帯でも最低限（週2枚ずつ）のゴミ出しはできるように配分してもらいたい。もしくはシールではない別の方法を前向きに検討してほしい。

- ・ゴミの分別について。包装プラスチックの回収日が二週間に一度では溜まりすぎてしまうため、毎週回収してほしい。
- ・私の住んでいる家の近くのゴミ集積所が、月木のゴミの日、カラスに荒らされて歩道はもちろん車道にまでもゴミが広がり不愉快である。ネットの色を変えるなど対策してほしい。
- ・市内、特に上三之町など、観光客が多いところではゴミ箱を探している人を多く見かける。喫煙所や水飲み場でもある。観光客や市民が気兼ねなく利用できる場所を増やしてほしい。特にゴミ箱を市が管理してほしい。
- ・まちなかでも路上喫煙やタバコのポイ捨てをよく目にする。張り紙や看板だけでは防げないので、見回りや罰則の強化などで、子どもが安心して歩けるようなまちにしていってほしい。
- ・ゴミ箱を市内の観光客が多い場所に設置してほしい。プラカップに入ったドリンクが、捨てる場所に困ってブロック塀に置かれていたり、ゴミ収集所にそのまま放置されているのをよく見る。また勤務しているお店でも「捨ててもらえますか？」とよく言われ、仕方なく対応しているがもう少しゴミ箱があればこのようなことも減ると思うので検討してほしい。
- ・ゴミの収集作業をされる方に感謝しているが、集められたゴミがどのように処理されているのかをあまり知らないなので、知る機会がほしい。
- ・荘川町の産廃処理場の建設だけはなんとしても阻止してほしい。

上下水道

- ・水道水がおいしくない。
- ・県外で水道管破裂のニュースをよく聞くので不安がある。市の施設でも古くなっているのではないか。
- ・全国的に不安視されている上下水道の老朽化が心配である。

公共交通

- ・高齢になり車を手放した際の足がない。中心部でしか公共の交通機関が活用できないので、今後の生活に不安がある。
- ・バス停まで遠すぎるので、のらマイカーをもっと充実させて欲しい。
- ・支所地域は登校手段がバスで、子どもが高校生になったら更に不便になる。バスも本数が少なく、子育て世代は大変だと思う。バス利用の無償化や、子どもにお金のかからない制度を考えてほしい。
- ・日常的に利用する公共交通の利便性も考えてほしい。
- ・子どもだけで利用でき、本数が多い市内バスを作ってほしい。子どもだけで稽古事に行けず、父母の仕事に支障がでるか、習い事をあきらめないといけない。
- ・今は運転出来るけど、免許返納した時の交通の便が悪いので少し心配している。市街地中心にバスの時間が何本もあるけど少し離れているとすごく不便さを感じる。
- ・せっかく高山駅を綺麗にしたのに、自動改札機にしないのは時代に遅れており不便で仕方がない。昔の風情を保つ部分と不便はちがうと思う。都会からSuica等でそのまま高山に来た際、自動改札機がないと戻った際にエラーとなり、窓口に行かないと利用ができずすごく時間がかかるため皆面倒だと言っている。また都会から行き来しやすいよう、新幹線の開通等交通の便をよくしてほしい。

- ・市は観光ばかりに力をいれている。これから高齢化も進むなかで年寄りも住みやすいところにしてほしいし、交通・バスなどまちなかだけでなく遠方も回数を増やしてほしい。観光客のためだけの高山になっていると、誰もが思っている。このアンケートも形だけのように思う。
- ・他県からくるバスにもさるぼぼのイラストがあり、楽しく見ている。電車にもイラストがあればと思う。
- ・道路がせまく、公共交通機関が少ない。
- ・のらマイカーの便数を日中はもう少し増やして欲しい。できれば10～15時くらいは一時間に1本あればありがたい。
- ・観光ばかりに力を入れず、道路・介護・病院・高齢者福祉に力を入れて欲しいです。特に日常の買い物・病院への交通の便が悪い。
- ・公共交通機関の充実をお願いしたい。運転免許の返納を考えているが、移動手段については不自由な点多すぎる。
- ・市の高齢化が進む中、住民の足となる交通機関をもっと整えてほしい。自動車免許返納の割合を大きくしていかないと事故も増加していくと思う。
- ・運転免許証返納後の交通の利便性をよくしてほしい。小型バスよりタクシーなど小回りのいいものの活用をしたい。
- ・高根・荘川など遠い場所の人の買い物ができるように考えてほしい。
- ・のらマイカーの運行について。南行きは片野橋までしか動かず、石浦方面の人々はタクシーしか使用できない。車に乗れない高齢者や返納した人はどうすればいいのか。市内の病院まで行き帰りすると4～5000円かかり、年金生活者にとって大きな負担となっている。もっと隅々まで配慮してほしい。市・県・国が連携して、清潔で利用しやすい交通機関を整備してほしい。
- ・のらマイカーはありがたいが、タイミングが合わずなかなか利用できない。週3日か4日にして、一日の運行本数を増やして欲しい。
- ・のらマイカーの便数がいくらなんでも少なすぎる。行きに使っても帰りの便がないと帰ってこれないし、朝の高校生の時間帯は混雑がひどい。土日でも部活などで利用したいのに運休だ。せめて朝と夕方は便数を増やすべきではないか。
- ・高校生以下や高齢者のバス利用について、これ以上本数を減らしてほしくないし、費用についても補助してほしい。
- ・交通が不便で、病院通いや買い物で困っている。バスが上宝町吉野まで来てくれると大変ありがたい。
- ・高山に住み続けたいが、日々の買い物と車を手放した時の不安が大きい。近くにあまり商店もないので、あまり利用料金のかからない交通手段を考えてほしい。
- ・免許返納後の交通手段が、バスとタクシーにたよるしかない。郊外に住む者としてはバスの便数が少なくて利用できない。のらマイカーも土日は運休だし、さらに制限が大きい。利用が少ないから便が少ないのか、便が少ないから利用が少ないのか、ちゃんと調べて再考してほしい。
- ・国府地域ののらマイカーがタクシーになったが、小さくて乗れないことがある。5人乗りの車では4人しか乗れないので、せめて夕方は7、8人乗りのタクシーを出してほしい。
- ・目が悪くなり免許証を返納してから行動範囲が狭くなり、現在のところに住み続けるかを悩んでいる。買い物・通院等行けないところが増え、家族の都合が悪いときはタクシーを使うしかない。のらマイカーも不便でほとんど利用できていない。バス停が遠いというのもある。

道路

- ・ 火葬場へ続く道を広くして欲しい。
- ・ 旧市内で先頭車が右折希望することによる渋滞をよく見かける。
- ・ 矢印信号を設けるのも手ですが、渋滞頻度が高い場所は右折禁止にするなどの対策が必要だと感じる。
- ・ 市街地に、市民以外の車が入ることに制限を設けるべき。観光のための車、バスの数が市内受け入れのキャパを超えている。
- ・ 道路インフラについて、雨が降っていると夜間に白線、オレンジ線が見えなくて危ない。せめてバイパスだけでも反射するような対策をしてほしい。線路の一時停止線も消えている箇所が多いので運転している時危ない。
- ・ こども達が利用する道路にガードレールと街灯を増やして欲しい。夜は観光客も含め懐中電灯持参で歩いている。道路の照明が少なくて暗く、危険である。
- ・ 一方通行や歩道の整備など、道路のルールの見直しをしてほしい。
- ・ 国道の舗装が必要、道が悪すぎる。
- ・ 冬季の除雪の負担が大きいため、将来的には移住を検討せざるを得ない。除雪車が来てくれるのはいいが、家の前の道路をふさがれて大変困っている。
- ・ 中部縦貫自動車道の早期開通を求める。
- ・ 街路樹が道に伸びて大型車が反対車線に出なくては通れない事がある。会社から市に問い合わせてもなかなか反映されなくて困っている。飛騨高山高校岡本キャンパス校舎からスカイパークの入り口にかけてずっと放置されていて、酷すぎる。安全にこども達を輸送させてほしい。
- ・ 神明駐車場を廃止、中橋は人が多くて本当に危険である。中橋周辺の数軒の商店からクレームが来るだけで、辞めてしまうのはいかななものか。八軒町通りのあの狭い道にバスが通るのはもっと危険です。
- ・ スーツケースを持って駅まで行った時のこと、歩道がガタガタで非常に移動しにくく、駅に着くまでにスーツケースの車輪がかなりボロボロになった。外国人観光客の方が雪が積もるまちなかで大きなスーツケースを必死に運んでいる姿を何度も見たことがある。もう少し、まちなかの歩道の整備に力を入れると、さらに高山の魅力が上がると感じている。
- ・ 交差点縁石のバリアフリー対策を、最近の縁石は非常に危険である。
- ・ 国道361号線高根第二ダム沿線道路は、幅が狭いうえに急カーブが多く交通事故が懸念される。
- ・ 市からも関係機関へ改良の要望を出して欲しい。
- ・ 観光と密接でない地域の基盤整備(主に道路維持)が後回しにされているように感じる。雨の日にこどもたちが車の水飛沫を浴びながら登下校する姿を見て心が痛む。
- ・ 道路の草木の伐採が追いついておらず走行に影響を及ぼしている。
- ・ 高山から長野への道が狭すぎる問題をどうにかしてほしい。年に何度も行っていた時期があるが、対向車やバスとのすれ違いが本当に怖い。高山は観光客のおかげで生計を立ててるのに高山への道路状況が悪いのはダメだと思う。
- ・ 下一之町を通る事が多いが、歩道がないので路肩を歩く人が特に多く見受けられる。今更どうしようもないと思うが、もう少し交通整備をきちんとしてから、海外の観光客を受け入れてほしかった。
- ・ 交通量が多いところに歩道がなく、危ないと感じる。

- ・ 見通しが悪い道を指摘しても何もかわらない。こどもの通る道が心配。明らかに制限速度をオーバーし、向かってくる車が多い。
- ・ 歩くことが好きなので、まちなかや城山などをよく歩く。歩道があれば快適だが、ない道も多いので車を気にしながら歩いている。自転車にもよく乗るが、車道を走るのがルールとはいえ車道に余裕がなかったり、ルールを知らない人も多く、堂々と自転車をこげないのが残念である。旅先のドイツで感動したのは、車道・自転車道・歩道が整っている姿だった。高山も歩く観光客が多いので、近づくといいなと思う。
- ・ ビッグアリーナへのアクセスは大変いいと思うが、大八グラウンドや城山へ行く道路は大変狭くわかりにくいと思う。
- ・ 狭い通学路を、防犯面でも何かしら対策して欲しい。
- ・ 道路近くの住民は街路樹が落とす花（春）や落ち葉（秋）のゴミに困っている。放っておくわけにもいかないからだ。桜も同じで、毛虫などが出るので遠くから眺めているくらいがちょうどよい。
- ・ 花里跨線橋の歩道が狭い。
- ・ 町内の歩道のコンクリートの割れやヒビが多く、歩くのが危険なので直して欲しい。側溝に泥や枯れ葉がつまり過ぎて水が流れないので、掃除してほしい。
- ・ 自転車は歩道を走れなくなるが、車道の両端は雨の水はけのため傾斜になっている。年配者にはとても危険で走れないので、なんとかしてほしい。車いすやシニアカーにとっても同じだと思う。
- ・ 山王小学校のプール西側の道路に柵ができて歩道が狭くなり、不便を感じている。柵ができたのは安全面でよかったと思うが、歩道を広げることはできないのか。また山王小学校の樹木が道路側に飛び出ていることも気になっている。
- ・ 除雪費をしっかりと予算に組んで安心して生活できるよう援助してほしい。夏から秋に道路に伸びた木々の伐採をし、冬に倒木などがないように点検してほしい。
- ・ 仕事で自動車を運転する時間が長いが、日赤の交差点、丸明の交差点、安川通りの信号で右折車両による流れの悪さが目立つ。時差式信号や矢印信号などの対策を検討してほしい。
- ・ 景観のためにまちなかに木を植えているはずなのに、毎年葉が繁ることに伐採していて何のために植えているのかと思う。
- ・ 外国人観光客が、41号バイパスにおいて危険な横断をしている。地下道の存在をわかっていないと思う。地下道を利用しての横断を促す英語の看板を、地下道のある交差点に設置すべき。

景観

- ・ 山林部に設置された太陽光発電設備は市の景観を壊している。
- ・ まちなかにもっと緑がほしい。憩いの場所がない。城山公園の整備が行き届いていないので、伐採して見晴らしをよくしてほしい。
- ・ 街並みは整備されているし自然環境も豊かなので、今後はそれも維持しながら快適な生活ができるように尽力してほしい。

地球環境

- ・ 12年前に移住してきたが「共生」という言葉がぴったりのまちだと思う。自然との共生、地域（人と人）との共生など。大きな商業施設はないが、自然や歴史の魅力は何物にも代えられない宝物だと思う。これからも高山に心地よく住み続けたい。

- ・ 太陽光パネルと周辺地域の水質汚染の関係の調査を強化して欲しい。
- ・ 自然エネルギー推進という名目で、太陽光発電を増やすのは断固反対である。再エネ賦課金、自然破壊、非効率、良いところはひとつもない。市としてどのようなスタンスで自然エネルギーと向き合うつもりなのか。
- ・ 自宅の太陽光発電の設置や電気自動車の購入などに対して優遇してほしい。
- ・ 森林面積が92%を占めている市なのに、豊かな自然を生かした取組みが少ない。観光も古い町並、飛騨の里を回れば終わってしまう。新穂高まで行かなくても、周りの自然を生かした観光を考えるべきではないか。ジップラインなどのアスレチックやツリーハウスなど自然を満喫出来る施設があれば観光客にも楽しんで貰える。マリーゴールドやサルビアなど極彩色で街中の花壇が彩られているのは何とも場違いな感がある。原山にはウメバチソウやキキョウなどの花が咲いていたのに、今ではほぼ見る事が出来ない。草刈りをするなど少し手を入れればまた芽を出してくれるはずである。山野草が豊かに揺れる遊歩道が原山にあればどんなにか癒されるのではないかしらと思うし、観光に来た知人達にも胸を張って誘うことが出来る。
- ・ 市民の自然に対する意識も低いと感じている。乗鞍に登ったことのない人も多く、もっと身近な自然に触れ、価値を知り、守り、保護への意識が高まる必要性をひしひしと思う。そういった行政の取組みも少なすぎて、生物多様性と言ってもうわべだけのこととなってしまう。こんなに自然豊かなのに、自然とはかけはなれた営みがおくられているのは、何とももったいなく、豊かな観光資源が眠っているにも関わらず宝の持ち腐れとなっている。
- ・ 今後も自然をたいせつに、人情あふれる高山市であってほしい。
- ・ 市民生活を下支えされている行政の方々に感謝している。田舎の良さは自然があることなので、緑を守っていくことが大切だと思う。普段目にしている農村風景が当たり前維持できるよう、地元愛が皆のなかでさりげなく、でも矜持をもって生活していけたらと思う。
- ・ 清見や丹生川などの周辺部で太陽光パネルが並んでいるのを見るようになった。今後2030年代に大量廃棄の時期がきたとき、有害物質などがきちんと処理されるのか、放置されたり不法投棄されることはないか、そのあたりの対策もしっかり考えられているのか危惧している。水源地の汚染などがないか、水質や土壌の検査などもお願いしたい

防災

- ・ 防災無線からの放送が、こだまして聞き取れない。スピーカー音を大きくするのではなく、数を増やせば良く聞こえると思う。
- ・ 災害時の町内会の役割として、町内にある民泊の宿泊者や町内会未加入の住民の安全確保を求められているが、人手が無いことや個人情報保護の観点から難しい。市の方で町内会未加入者及び旅行者の災害時の保護や把握をお願いしたい。
- ・ 災害が起こった際、ペット同伴で受け入れてくれる避難所や専用区画を設けてほしい。このことは曖昧にせず明確にし、速やかに決めていただきたい。有事はいつ起こるかわからないので、すでにペット同伴の避難所の体制があるなら周知していただきたい。
- ・ H i t s FMの高山防災ラジオのテスト時放送の音が大きすぎる。やかましいので時には電源コンセントを抜いたりする。もっと小さい声で放送するとか、声を低くしてほしい。
- ・ 防災訓練の日の町内アナウンスの空襲警報のような音が長すぎるし、不快。外国人観光客にも悪いと思う。

- ・ 一番大切なのは「市民の安全と心身の健康」だと思う。地震や大雨、クマの出没や凍結した道路など不安のあるなかで真に幸せな生活をすることはできないと思う。色々な災害を想定して実際に動いてみるのが大事だと思う。
- ・ とにかく防災、防犯対策を進めてほしい。これ以上の観光誘致は地元民としては迷惑である。

安全

- ・ 野生動物が増えて民家敷地に入って来る現状がある。河川敷の雑木、雑草など動物の隠れられる環境にならない対策を希望する。
- ・ 帰郷して15年、この間交通の検問(特に飲酒)を一度も見たことがない。東京では至る所で検問していた。交通取締りを増やすべきと思う。最近居留外国人を多く見るが、路上での職質、在留資格チェックはしているか。在中国では常識だった、不法滞在や事件が起きてからでは遅すぎる。防犯カメラも随所に必要である。
- ・ 高齢者ドライバーの怖い運転が目立つ。自治体で免許返納の年齢を決定してほしい。それに伴い公共交通機関も充実させてほしい。
- ・ 国内在住外国人の犯罪が多発しているので、犯罪抑止の啓発や移住外国人の規制強化に努めて欲しい。
- ・ 江名子川周辺の保存を推進してほしい。大型バスの駐車場、安全な交通、中橋周辺の大型バスの安全な通行等。市内の信号機のない横断歩道の安全な渡り方も周知してほしい。
- ・ 移住者だが、地元比べて車の交通マナーが非常に悪い。とにかく「自分さえ良ければいい」といった、思いやりのない運転行動が多すぎる(右折車に譲らない、右折待ちを車線の真ん中でして後続車を妨害する、「止まれ」で止まらず飛び出してびっくりさせる、路線バスの発進を妨害する、片側1車線の道路に向かい合わせで駐車して交通の流れを損なう、横断歩道上に駐車する等)。
- ・ 地域内の差がありすぎる。通学路など危険箇所を報告しても周辺地域は全く対応してくれないのはなぜなのか。安全面は同等であるべきだ。
- ・ 防犯カメラを増設してほしい。省電力のLED街灯を増設して暗い夜道をなくしてほしい。公共組織はなるべく一か所に集めて欲しい。
- ・ 高齢者ドライバーの運転マナーが壊滅的である。長男が小学生の時、高齢者ドライバーに足をひかれたが自覚なしで立ち去っていた。私自身も何度も衝突を回避している。高齢化と免許更新システムの問題かと思う。
- ・ 街灯が少なくて夜道が暗く、散歩などの外出もままならない。
- ・ 街灯が少ない。暗くて不安で怖い。もっと設置してほしいし、今ある街灯ももっと明るくしてほしい。
- ・ 犯罪が多くなっている。市内には防犯カメラがあるのかもしれないが、市としてどうなっているのか広報に載せてほしい。個人で設置する時には一部補助があると嬉しい。
- ・ 深夜の観光地でも爆音を鳴らし乱暴な運転をする改造車が増えた。高山のイメージダウンだし、危険なので対策して欲しい。
- ・ 民家の近くにもカモシカが出没している。大きいため、こどもや高齢者には危険、駆除の方法はないのか。

行財政運営

- ・ 石橋を叩いても渡らない市役所は、まるで格式・体面ばかり気にする高山祭のようだ。地方小

役人体質を脱却してもっとダイナミックに事業展開してほしい。

- ・ デジタル技術の進歩を活用し、行政サービスや産業の効率化を図ることが、市の成長には不可欠である。自治体の業務をデジタル化することで、住民の利便性を向上させるとともに、職員の業務負担を軽減し、より質の高い市民サービスの提供が可能になる。また、観光業においては、A Iを活用した観光案内やオンライン予約システムの充実により、観光客の満足度を向上させることが期待できる。
- ・ 市役所窓口の営業時間が短くて仕事帰りに行けず手続きがしにくい。7時頃まで営業して欲しい。
- ・ 行政府の運営には非常に興味がある。特にこのような市民の意見を吸い上げる仕組みはどんどん行っていくべきだと思う。オンライン、オフライン問わず、行政、民間問わず、その間が溶けていくような仕組みづくりを期待している。行政が行うパブリックコメントなどはどうしても構えてしまう人が多いように思う。本当に市民の意見が飛び交っているのは喫茶店、居酒屋、銭湯、病院などかもしれない。また、行政のデジタル化にも興味がある。今回のアンケートもこのようにオンラインでできるというのは非常に便利だと思う。その一方で、市役所から送られてくる紙ベースの情報の多さに驚く。印刷費、それを封入する作業の人件費、郵送費などを想像してしまう。デジタル化については、デジタル化が目標になるのではなく、あくまでも手段でしかないと思う。本当の目標は業務効率の改善による市役所職員の負担軽減、そこで浮いたリソースを本当に取り組むべき業務に充てることで、市民へのサービスに還元する事だと思う。
- ・ 今厳しくても将来につながるような市政を運営してほしい。
- ・ 市の財政はあまり良くないと聞くと、時々家族でも話題にしている。毎年苦しい事業をカットして、何とかプラスに持っていこうと努力していることも聞いている。
- ・ 200人ほどの人口のために何億も使って施設を建てたことがいまだに理解できない。人口減少・少子化・若者の定住減のなかの施設建設は今後の役に立つのか。ほかの方法はなかったのかと疑問に思う。

若者

- ・ もっと学生に仕事をアピールできる場が欲しい。高山には魅力があるが、見つけてもらえていない職業が多いと思う。市内で目立つ企業だけではなく、もっと広く様々な会社を見てもらえるような場が欲しい。
- ・ 若者が出ていくのは働く場や娯楽施設が少ないからだ。
- ・ 高齢者の人口割合が多いからと、高齢者を優先するまちであってほしくない。新しい命や若者はまちの未来そのものである。予算も若者優先、現役世代優先にする大胆さをもっと打ち出して欲しい。
- ・ 若者が他県へ行かないよう対策してほしい。観光対策も大切だが、高齢化が進み若者がいなくなる。
- ・ 若者の働く場など、活性化を期待している。
- ・ 若者の減少、高齢者の増加、外国人観光客の増加。こんなに素敵な町なのに引き継ぐ若者がいない。それは帰って来たくても仕事がなく、結婚しても生活ができないからである。全く魅力がなく、未来がみえない。
- ・ 企業誘致で働く場を増やしてほしい。レジャー施設等の誘致で、若者がUターンしたいと思えるまちづくりをして欲しい。上記を推進することで移住者が増え、人口減少、少子化を防げると考える。

- ・ 地元で育ち、Ｕターンする方にとっては安心感や家庭の事情があるが、他地域から若者を呼び込むのは非常に難しいと感じる。特にＩＣＴの発達によって都市部との情報・機会の格差が広がる中、若者の流出は避けられない傾向にあると思う。
- ・ 中高生がくつろぎ遊べる場所が少なすぎるし、仲間と楽しめる娯楽が少ない。
- ・ 子育て支援（児童館や支援センター等）はとてもすばらしくもう十分だと思う。それより若者を惹きつける魅力的な仕事を作るために、企業誘致やスタートアップ支援に力をいれていただきたい。高校や大学等教育機関と連携し、高山でビジネスをはじめられる基盤づくり（イベント場所提供やビジコン開催、支援金、スタディツアーなど）にお金を使ってほしい。そうでないと、優秀な子ほど高山から出て行ってしまう。優秀な人材の受け皿を一つでも増やさないと、高齢化していく高山を支えられないと思う。
- ・ 今、高山で暮らしている若者が楽しく生きがいを持って働いているのか危惧している。飛驒の家具の会社では数十名の新入社員に飛驒出身者が３名、高山市内は０人だったと聞いた。若い世代が高山で暮らして働きたいと思う企業誘致を早急に積極的に進めてもらいたい。５０年先には、老人と外国人ばかりになってしまうのではないかと不安になる。
- ・ 若い人には高山はつまらないまちらしい。働く場がない、遊ぶ場がない、出会いがない。
- ・ 息子が今年から東京で就職した。高山には何もない、給料も安いから戻らないと言っている。若者にとって魅力的な市になるように願う。
- ・ 他地域、他県の若い世代の方々が引っ越してきてくれるような市であることが理想。こどもを持つ若い世代が、環境的・経済的に暮らしやすい状況を作っていくことはとても重要であると感じている。
- ・ 市はとても住みやすいところだが、大学がないので高校を卒業したら地方や都市の大学に行かなければならない。そのため就職・結婚・住居が地方になってしまう。逆に地方の人が高山に来るような魅力的な大学があったらいいと思う。
- ・ 賃貸物件が高く、若者の定住が難しい。
- ・ 医師やヘリのパイロットのような、高山に不可欠な職業を目指す若者に学費を支援してはどうか。変な大学を飛驒に作ろうとしているが、それで若者は来ないし絶対に税金を投入してほしくない。
- ・ 若者が定住したいと思うようなまちづくりに期待している。
- ・ 少子化対策として、未婚者を減らすため男女の出会いの機会を市としても増やしてほしい。若者のサークル活動やスポーツクラブなど気軽に集えるグループに対して補助を出してほしい。
- ・ 乳幼児等の施策は色々考えられていると思う。高校生くらいまでの施策もいいと思うが、成人・若い人たちの働きやすい職場が必要と思う。高齢化が進んでいるので安心して生活ができるように、施設の利用料金や介護職の人たちの待遇などもっと考えてほしい。
- ・ 高校を卒業すると都市へ出て就職してしまい、高山に戻る子は極めて少ない。今はインバウンドで賑わっているが、観光にしか力を入れない市政では限界が来ると思う。流失を防ぐための企業の誘致や、夕食難民の対策もお願いしたい。新しい外食産業の店舗を高山で展開することも若者たちの刺激に繋がり、活性化されるのではないかと。映画館もないまち、娯楽のなさが流出の要因だと思う。

その他

- ・ いつも福祉医療等で市にはお世話になっている。大学は他所に出たのだが、実習をふるさと実習という形で市に受け入れてもらい、高山の医療を目の当たりにし、現状を学んだ。高齢者施

設の飽和、生活保護の方の体制や地域ケア会議など、たくさん見聞きし考えるきっかけになった。進路を決める前段階でこのような活動や取り組みを知っていたら、もう少し進学先の考え方が変わっていたのかもしれないと思う。

- ・ コロナで成人式が中止になった世代(2000年～2001年生まれ)である。中止になった1年後に開催できたものの、コロナの真っ最中で参加する人がほぼおらず、また、コロナの影響で地元に戻らず地方に移住してしまった同級生が多い。なのでもう一度、同級生が一斉に集まれる機会を設けて欲しい。高山に帰る機会がないから、ずっと地方にいる友人もいる。もう一度、同級生と顔を合わせたい。
- ・ このようなアンケートのなかで「家族間の関係性が良いか」を質問したらいいと思う。家族関係が良いと、次の段階の親族～町内～市へと気持ちが向かっていくと思う。町内会へ加入されてない方の理由を探ることにもなる。
- ・ 地元高校生のプレゼンで、毎年8割の高校卒業生が市外に出るという話を聞き、衝撃だった。これは日本中どこも仕方がないことかとも思うが、人口は増えなくても、幸福度は増えるような豊かさあるまちであってほしい。
- ・ こども達、孫達にはこれからもずっと高山で安心して暮らしてほしい。市の良さは伝統と豊かな自然だと思う。
- ・ 高山市に住むと車が必要になってくるが、物価高のなかでガソリン代の高騰が目につく。また、高校生が卒業して高山市を出ていき、戻ってくる人が少ないことが課題だと思う。
- ・ 保護猫活動への支援を手厚くしてほしい。町中の野良猫の繁殖は地域の大きな課題であり、市民の「生活満足度」に直結している。里親と保護猫施設とのマッチングや、「里親控除」なる、税制面での優遇も魅力的だと思う。自然豊かな高山市と、保護猫活動に力を入れているまちとしてのイメージは相性もいいと思う。
- ・ 暮らす人、訪れる人がしあわせを実感するまちと書かれているが、市役所職員の身内は残業がひどすぎて家族の時間すら全く作れていない。市民を大事にされているのは分かるが、まずは市役所職員をもっと大事にした方が良くと思う。
- ・ 土地の価格が高い。県外出身者は家を建てたくても、土地が高くて困っている。
- ・ 住民税は安くないのか。家計への負担が大きい。
- ・ 時間的に余裕が出てきたので、これからは地域のために役に立つ事に積極的に参加したい。これから市が益々発展し、都会に行ってしまったこども達が高山に戻って来て住みやすい環境になることを望んでいる。
- ・ 市として全体をどうするかというグランドデザインが示されていないので、政策が行き当たりばったりになっている。たとえばそのせいで中心部のバス通行や駐車場問題が未だに解決出来ないでいる。全体像は抽象的でなく具体的なイメージの提示が必要。地域文化伝統を尊重しない外資や外国人が土地・建物を購入して営業し始めてから騒ぐのではなく、予め予測して法整備しておくべき。観光については来高者数ではなく、消費金額を指標にするべきと思う。福祉や人口減少の問題は市民の可処分所得が増えれば解決していく問題なので、いかに市民の懐が豊かになるかを考えて行政運営をしてもらいたい。
- ・ アンケートの回答がどこまで市政に反映されるのかが疑問である。
- ・ このアンケートの設問が多すぎる。多角的に検討したいという意欲は察するが、半分くらいに絞ってほしい。
- ・ 若者の数が非常に少ないと感じる。街を歩いていても、同世代の人と出会うことがほとんどない。地元に残って家庭を築いたファミリー層や高齢者、外国人が主な居住層となっており、若

者の姿がほとんど見られない。駅周辺や古い町並など、一部のエリアは整備されていて雰囲気があるが全体としては活気に欠けており、住み続けたいと思う魅力に乏しいと感じる。実際、私の周囲でも高山に残りたいと考えている人は少なく、観光地としての魅力はあっても、定住したいと感じる人が少ないのが現状である。インバウンド需要の影響でホテル代も非常に高く、私自身も宿泊をためらうほど。そのため、友人を気軽に高山に招くことも難しくなっている。

- ・私は高山の伝統文化や歴史に共感し、転入してきた。そのため、人口増や地域の活性化のためには、こうした伝統をベースにした魅力発信を強化するべきだと考えている。企業誘致や、ポピュラーなブランド・店舗・施設の誘致、また「飛騨高山」ならではのコラボレーション商品などを通じた集客も一つの有効な手段かと。伝統と現代的な魅力の融合により、観光客だけでなく若者にとっても「住みたい」「関わりたい」と思える地域にしていくことが必要だと感じている。
- ・故郷を大切にしたい気持ちを持ち続けたい。
- ・高山地域と支所地域では、まちづくりに求められる政策の優先順位が異なる可能性がある。アンケートで得られた地域ごとの強みや弱みを踏まえた、その地域に暮らす人にとって最適となる計画が策定されることを望む。
- ・私は転勤族で色々なまちに住んできた。住民票の転入手続き1つに関しても、活性しているまちでは、受付時の対応、説明、施策から「このまちを好きになってください。このまちを知ってください。このまちに住み続けてください」というメッセージが伝わってくる。しかし高山市ではそれをあまり感じとることが出来ず、業務的で排他的な印象が感じられた。それ以外でも高山市は他のまちに比べ閉鎖・閉塞感を強く感じる。他の地区と比べ田舎なので仕方ない部分も多いかと思うが、まだまだ改善すべき点が多い。高山にこのまま住み続けたい、と思うまちづくりに期待している。
- ・建築関係の仕事をしているが、根本的に建築単価の低下が問題である。低コスト住宅等の流行や世間全般のニーズの変化もあると思うが、早く安くによる品質低下、それによる賃金低下、建築全般の魅力の低下による人材不足などがある。一度下がったものが上がるのは余程の事がない限りは難しいので、もし何かいい方策があればお願いしたい。
- ・高齢化が一層進むことが確実な中で、市民に優しいまちづくりに期待している。
- ・支所地域は取り残され感があり、公共交通機関の不足や情報格差を感じる。高山地域と比較して発展や行政サービスなど全てにおいて遅れていると感じるため、行政には地域全体の把握と取組みを希望する。
- ・このアンケート結果によって、バランスの取れた市政運営を望む。特にものづくりで生計を建てている方達と生活困窮者が安心して生活出来るまちづくりを希望する。
- ・市は観光がメインだが、古い町並や朝市は観光客が楽しむところになってしまい、市民はなかなか行くことがない。わざわざ有料駐車場に停めてまで行かなくていいか、と思ってしまうので、駐車場に市民割引があると嬉しい。また観光業だけに税金を多く使うのではなく、市民の生活のためにも使ってほしい。そしてそれを何に使ったのかわかりやすく広報などで伝えてもらえたら嬉しい。関税などの問題はありますが、飛騨牛や飛騨家具など素晴らしいものは今後も海外に広めていきたい。
- ・支所地域は町内等の出役が集中するなど負担が多い。今現在11の役員を兼任しているが、支所地域に他の町と同じような展開を求めるのは酷である。支所地域だから何とかするといいいながら、結局は高山地域に居住を移す人が多いのであまり期待はしていない。それより支所地域の負担軽減を考慮して欲しい。

- ・ こどもの事に関する助成は、上限など設けず財源を確保すべき。若い世帯の流出を防ぎたいのなら、郡上市の様に小学校の給食費を無料化にするなど、子育てしやすい環境を作るべきだ。観光地として海外からの需要が多いのだから、外国人価格の設定をし、地域に還元すべきである。観光地はどこも価格が高騰しているが、例えばバスなどの公共交通機関も値段を変えるべき。白川郷などは入村料を取る、乗鞍スカイラインもマイカー規制は繁忙期のみにして、高額でもマイカーに戻して観光客を誘致したりするなど、稼げるところで稼いでおらずもったいない。ホテルの乱立で雇用は発生しているが、安定していないしサポート体制が整っていない。
- ・ 最近、高山の良さがどんどん薄れてきている気がする。市幹部は「どうあるべきか？」を真剣に考え、リーダーシップを取って欲しい。市も会社と同じである。どうすれば市民も観光客も高山のファンになってもらえるか常に考えて活動して欲しい。
- ・ 税負担の軽減は、市民の生活の質向上に直結する。特に、子育て世帯や高齢者に対する税制優遇措置を講じることで、生活の安定を支援することができる。また、企業の税負担を軽減することで、事業の拡大や雇用創出を促し、地域経済の活性化につなげることが期待できる。
- ・ 人口を増やす努力・居続けてもらう努力は大切だが、どう頑張っても大学や就職で外に出て行ってこどもの数が減り、老人の割合が増えて過疎化していくと思う。その中で取捨選択しながら、住みたい人が住み続けられるまちづくりが大切だと思う。
- ・ 広大な市域に高齢化する市民、観光産業もいつまでもつのか。不安しか感じません。
- ・ 官民が協力し合って今何が市民に求められているか、よく話し合いよく議論してほしい。観光にばかり特化せず、様々な分野での議論が必要。観光以外の職が少ないのは致命的で人口減少に歯止めがかからないと思う。医療に関しても不安しかなく、結局は高山では助からないとほとんどの市民が諦めている。子育てに関しても、市がどこまで何をしたいか分かりにくい。
- ・ 将来的にインバウンドが低調になる可能性もあるので、他の産業の発展にも多くのリソースを使うべきだ。
- ・ 20代の人口バランスが少なすぎて、アルバイト等の労働者の人口が少なく高齢者しか雇用できていない。経済的な競争力や良い人材が確保できなければ、他の地方同様に高齢化だけが進み、誰も住みたがらないまちに変わってしまう。インバウンドで経済力がある今のうちに大学、専門学校の設立をするべき。
- ・ 原山公園や市民プール等の施設が整えられてありがたいが、高山は雪が積もるため冬季期間におけるこどもの遊び場が不足している。幼いこどもが遊べる広い屋内施設の充実を希望する。木っずテラスがオープンしたが、走り回りたい時期のこどもにとっては狭い。他地区のように大型エアースリッパやアスレチック遊具などが設置された、室内でものびのび体を使って遊べるような施設を希望する。また、大型商業施設とまでは言わずとも、買い物を一度で済ませられるエリアがあるとありがたい。こどもを連れた買い物はかなり時間がかかる。スーパーやドラッグストアなど何箇所かで用事を済ませたい時に、わざわざこどもを車に乗せて駐車場を移動するのは本当に大変。同じ施設内で全ての買い物ができる商業施設があると助かる。または、スーパーやドラッグストア、100円ショップや薬局などの施設を同じ駐車場で利用できる合同エリアを希望する。
- ・ 生活環境について、市政に希望するものは生活のコストを下げることである。私自身は移住者だが、他のまちと比べて家賃が高いということ、冬の間のコストが膨大になるという点については、移住者、若い世代にとっては大きな負担だと感じている。いくら高山というまちが魅力的でも住み続けることができなければ行政、市民お互いにとっていい結末にはならないと思う。

- ・ このように市民にアンケートを実施し、直接、市民の声を聞くという取り組みは素晴らしいと思う。事務作業等、大変かと思うが、ぜひ調査に留まらず、意味のあるものにしてほしい。
- ・ 広大な面積の高山市において、限界集落に係るインフラ整備はやめるべき。消滅集落は自然に返し自然保護区とし、各中心住居地と自然保護区を完全分離する。飛驒の大自然と農林業を活性化させ、長距離の遊歩道やハイキングコース、サイクリングコースやマラソンコースなどを整備し、エコツーリズム産業に活かしてはどうか。もっと規模の大きな自然観光整備の計画をしてほしい。各中心部へ、災害にも対応した循環型の集合住宅を整備し、空き家対策をし、自然保護区と分離したスマートシティを目指してはどうか。
- ・ 市は、他自治体と比べても立地的に企業が参入しにくい場所に位置していると思う。物流面などにおいて、特にそう思う。市には素晴らしい産業や独自の文化があるので、地域ブランドを守ってさらに発信をして発展して行ってほしいと思う。
- ・ 市内の公園はいろいろ整備されているが支所地域の公園の整備もして欲しい。支所地域のこどもがクラブ活動など高山地域の方まで通うのに親の負担が大きすぎる、高校についても交通費の負担が大きく、そのために高山地域に移住する人もいると聞いたことがある。今後自分のこどもが大きくなったらと思うと不安が大きい。
- ・ 人口減少や高齢化は中山間地域に限った事ではなくどこへ行っても同じ事、少子高齢化に特化した施策を行ったとしても費用対効果を考えると場合によっては意味のない結果になってしまう。市は何故、能登に近い場にありながら市としてボランティアを募るなどの行動を起こさなかったのか。少子高齢化や自然環境の改善が図る事ができるのは人の力だと思う。お金を掛けるのではなく人を動かすリーダーシップをお願いしたい。
- ・ 各世代の方々を募って、色んな意見を取り入れて、地域を活かす事が大切だと思う。
- ・ 大人になってもう一度勉強したいと思ってもこどもを預けられる場所がなく、学び直しや資格の取得が出来ないことが困っている。固定資産税が高いし、土地もほかの地域と比べると高いので若者が家を建てるのはハードルが高い。せっかく家を建てても生活するのがやっとなのである。
- ・ 飛驒の人は身内(親戚・友人・知人)の目は異常に気にするが、それ以外の人には思いやりがないように感じられる。そのため、見ている範囲が狭く、社会全体の調和への意識が低いと思う。また、いろいろな民間レベルでの飛驒を発信する活動があるが、比較的他所から来て飛驒の良さに気づいた移住者が率先して引っ張って発信しているように思う。
- ・ 市県民税が高いので若者が住みたがらない、雇用の場が少ないので外に出て行く。固定資産税も高すぎる。もっと歩道の雪かきをしてほしい。
- ・ 私にとって高山は穏やかで過ごしやすいまちである。仕事のために飛驒市から移った際、若者定住促進補助金をいただいたことも大変ありがたかった。一方で、こどもや高齢の家族もおらず、教育や福祉関係の施設に関わりがない私としては、もう少し現役世代の人へ目を向けて欲しいと日々感じる。大きな企業も少なく職種も限られている土地において、給与の低さや家賃の高さは目を見張るものがあり、それゆえに実際に市外に出ていく友人を何人も見て来た。更に医療や教育に関しても満足ではないことは少子化にも繋がっていると思う。もしも自分が病気になったら高山から出て、安心して新しい医療サービスを受けたいと言う気持ちもある。市としてもなにか対策をとってほしい。
- ・ 道路が整備され人や物が行き来しやすくする事が重要だと思う。独身の男女が出会い交流するきっかけ(イベントや場所)が増えると良いと思う。
- ・ どの人もみんなが満足のいく生活環境を整えるのは難しいと思う。理想は何不自由なく生活でできることである。自分は60代前半だが、一回り上の世代の方達が支えて来てくれた事を私達

の世代では人数的にも継承することは難しく、また国策により老後の設計が変更されることで今後の生活に不安が生じている。寿命が延びても体力を維持することは大変である。今の生活を維持するにはどうすれば良いかと思案の日々だ。先祖からの財産を守り続けなければならない、高山が好きだから住み続けたい、というだけでは、生活していくことが将来、無理になる時代が来るのではないかと。行政機関も色々と策をねっていると思うが、高山は誰のためにどこに向かっていくのだろうか。

- ・ 返答され集計した市民の声にどの様に対応し、結果が出たのかも知りたい。
- ・ 素晴らしいまちづくりの理念を体现するためには、環境整備や組織作りといった形を整える以前に、このまちが「人」を大切にしていることが伝わるのが重要だと感じる。人とは「すべての人」で、暮らす人・訪れる人が「しあわせ」を実感するためには、その「まちづくり」の前線に位置する働く人が、まずは「しあわせ」を感じているかが最重要。多くのことを「こなす」やり方ではなく、マンパワーや時代の流れ、実情を受け入れ、慣例に基づいた行事や組織のあり方に縛られず、限界が来ていることは「手放す」といったあり方が、ひいてはまち全体の「しあわせ」への近道だと思う。分野ごとの課題をそれぞれに洗い出すだけでなく、すべてのことを成す根本の「人」にフォーカスしたまちであることを願う。
- ・ 映画館をつくってほしい。高山が舞台の映画が いくつも上映されているのに高山市民が高山で観れないのはおかしいと思う。
- ・ 行政をコンパクト化して、公務員がやるべき仕事の見直しをしてほしい。
- ・ 古い町並も、都会からの店があり高山らしさを感じなくなってしまうている。スマホで写真を撮る人も多く、電柱の地中化をもっと進めたら雰囲気のある写真が撮れるのではないか。古い町並などもっと市が把握・指導していけば、先般問題になったパチンコ店が出来てしまうこともなかったはずである。車椅子やベビーカーを使っている人が多いにも関わらず、歩道もバリアフリーとは言い難く、ガタガタとわずかな段差で揺れることが多いのも残念である。優しいまちづくりが望まれる。
- ・ 市民が暮らしやすい市を目指し、最優先課題が何かを見極め、1つ1つ着実に確実に改善・改革をお願いしたい。
- ・ 市民が無料で使える駐車場があると嬉しい。
- ・ 市は閉鎖的な町だと感じる。よそ者の受け入れが出来ていない。協力隊はある意味、都市で働けない人がうまくお金をもらえるアルバイト。本気で働く気の人には何の支援もない。町内会への入会金もあるし、地元の人間がもっている資源や権利は使わせてもらえない。これではこのまちはダメになる。
- ・ 給与水準がとても低いにも関わらず、物価も税金も高い。このような状態のなかで雇用の場も少なく、若者の減少に歯止めがかかると職員は思っているのか。もっと真剣に行政サービスの提供、住民の満足度の向上に目を向けるべきでは。公務員は自分の耳の痛い意見を黙ってやり過ごす感がある。私の今回の一意見がどのようにとりまとめられ反映されていくのか注視しておきたい。今回のアンケートがただの紙代の無駄にならないよう、真剣に取り組んでいただきたい。色々意見したが、最後のとりではやはり行政である。今後の市の発展に期待している。
- ・ まちづくりとは生活の結果であって暮らしの姿そのものなのではと思うことがある。イベントや行事を行うよりも堅実な生活基盤を支える取り組みが地方自治体として必要なこと。どのように暮らしたいかを住民たちも哲学しなければならない。そのプロセスが破綻してしまうと地域力は失われてしまう気がする。

- ・火葬場の建設、駅西の開発などあまりに稚拙すぎる。時間がかかりすぎて、しかるべきコンサル等に相談すればいいが、それさえできないのかと思う。駅西の開発など駅舎を新しくする際に同時に計画すべきだった。
- ・映画館を新設してほしい。
- ・82才なので長寿会に加入している。若い人が入られないので、いつまでも役をやっている。神社掃除や体操もやっている。
- ・早めの対応と、実際の運営について見解をわかりやすく発表してほしい。本当に意味のあるアンケート結果にしてほしい。
- ・高齢のため行事に参加することがあまりないが、それぞれ声を掛け合って、楽しく暮らせていてありがたい。
- ・人口が減少し高齢化が進む中、高根地域に新しい支所、診療所を建設していただき感謝している。先生に住民を診ていただけることが一番の安心要素である。たかね号の運営も助かっている。市内への乗り入れができればありがたい。
- ・観光ばかりに注力して、その他産業、事業は人口減少のなかで夢が持てない。インフラ事業への助成、その他雇用に観光財源で補助するなど、両立を目指すためには宿泊税以外も検討すべき。それでも外国人は必ず訪高する。諸外国の収入はご存じか。今は完全なオーバーツーリズムで早急に対策が必要である。これ以上安い日本を売りにするのは勘弁してほしい。こども達の未来のための高山が、高齢者と外国人観光客に侵食されるのを見たくないの、将来的には高山を離れることも考えている。冬の雪またじも大変なので、それもひとつの判断材料である。働き盛り世代にかなりの負担をかけていることを理解してほしい。
- ・市内にいつでも利用できる映画館があればいいのと思う（低額の協同出資をするなど）。
- ・我々の住む地域では道路や農地や水路等が老朽化している。町内会から情報提供しても取り上げてもらえるのはごく一部で、思うように整備されない。予算的なこともあるだろうが、進めてほしいと思う。支所地域へも予算の配分を増やしていただきたい。
- ・資本主義だから仕方がないのかもしれないが、大阪・京都の土地が海外企業に買われ段々日本の良さがなくなりつつあることを、関西出身の私は帰省のたびに実感する。市街地でも海外企業が不動産を買われているという噂を耳にすることがある。市の条例でなんとか歯止めをかけられないものか。
- ・市は観光地が主体。多くの寺、町並みがあり、観光もある程度は必要と思うが、市民の生活が第一だとも思う。市民が外に出てしまう原因は、こどもや家族が楽しめる場所の少なさがあるのではないか。
- ・国策で昭和20年代に山林に植えた木が山々を覆いつくし、大雪や雨で倒木、山が荒れ放題になっていて自然がいっぱいと言えるのか疑問。高齢化により田畑がいつの間にか草木林と化し、谷が土砂でせき止められ、水害が発生しているところも多々ある。
- ・これからも「住みやすい高山市」に期待している。
- ・温泉、広い公園、病院が少ない。
- ・1、2月のみでも暖房費の助成があると助かる。
- ・将来の市を考え、不在者住宅を周辺地域の市民の住居として考える必要があるのではないか。
- ・税金について、子育て世帯の減税をしてほしい。住民税も高山市は高い。車や固定資産税もあり、こどもにお金をかけたくてもそちらにとられる。手当てではなく毎月の税金を減らしてほしい。子育て世帯だけでも減税があって住みやすくならなければ住む人は減っていくと思う。
- ・積雪による日々の疲弊、屋根の雪下ろし補助など対策して欲しい。

- ・ 農業・林業に対する国の支援があまりに少ないというか無策に等しい。地方自治体としては財源の制約があるが、独自の振興策を積極的に推進すべきと考える。
- ・ 市の古い体制を見直すことが必要だと感じる。昔のような行政では若い人はどんどん離れていく。
- ・ この地域は給与所得が低いと思っている。子育て世帯に対する出産から成人に至るまでの経済負担をなくしてやるとで人口減少対策を計らないと限界集落が増えるばかりで心配になる。全国に先駆けて人口の自然増加のまちを目指してはどうか。
- ・ 市役所の窓口対等について、ほとんどの人がただ仕事をこなしているという感じで、あまり利用しない人にとってはいつも冷たい対応だと感じる。窓口の時間が決まっているのでその都合をつけて行っているのに、話し方も冷めていていつも不快に感じて帰っている。安定した給与をもらっているからなのか。もっと親身な対応をしていただきたい。
- ・ 周りに未婚者がたくさんいて将来が心配である。少子化の原因にもなると思う。対策に期待している。
- ・ 法人の本拠地が市にないと法人税も入ってこないで、市が観光を推すのもわかるが、民宿などの外国人が経営のルールを守っているのか。不確かな業者も多くなっている。地方の運営がジリ貧のなかで市はよくやっていると思うが、大きな企業がもっとないと、市の人口は減少していくであろう。社会保障（社会保険、厚生年金）を掛けていない会社への補助金など削ってほしい。私事ではあるが、４００万円の利益を出しても、税金と中間納税で３００万円とられてしまうと雇われの方がいいと思える。補助金も自動車、建物などではなく、業種によってはほぼもらえない。社会保障などを掛けられるまともな企業が多くなること祈る。
- ・ 市では難しいかもしれないが、安楽死の議論などもしてほしい。
- ・ 市長のインスタグラムは親しみがあがり、わかりやすく情報発信されていると思う。
- ・ 何を一番考えるか、何が一番大事かということは言えないだろうけど、どこにいても皆人がいない、働き手がいらないと言っている。外国人をあてにしてばかりでは本当にダメだと思う。そういうことを大元からきちんと考えていかなければいけないと思う。こどもの産まれない地域ではなく、育てやすい地域であってほしいと思う。
- ・ 人口減少、市域の広さ、宿泊客の増加、高齢化の進行、伝統文化の継承など、市を存続するためには様々なファクターが相関している。大変であるが、進まなければならない。
- ・ 高山出身の国会議員を作って欲しい。
- ・ 市民に対する思いやりがないのでは。上の人たちばかりいい思いをして、私たちはパートを掛け持ちしてやっとで暮らしている。そういう人たちのことも考えてほしい。
- ・ 私の住んでいる地区でも空き家が増えていて人口が減少している。若い人たちが結婚して人口がふえることを祈っている。
- ・ 高山地域と周辺の支所地域での不公平さをとても感じる。交通機関や医療機関が不便で、高齢になるにつれ日常生活に不安を感じる。
- ・ 雪が降るのだから除雪しやすいように側溝を整備してほしい。除雪できない地域や家庭もあるので、「協力し合って」だけで済まさないでほしい。特にこれから高齢者が増えていくのだから。
- ・ 健康診断や免許更新等の時間帯や曜日をもっと幅広くとってほしい。午後からの時間も必要だと思う。
- ・ 市議会議員の数が多すぎると思う。同じくらいの人口の関市では２２名である。

- ・都市計画など聞こえのいいことを言っても人口は激減する。高山をどのようなまちにしたいのか、たかだか3, 4年先ではなく50年先を見据えて考えてほしい。もっと高山市独自の施策を考えてほしい。
- ・市長の公約を守るため、の計画はおかしい。公約は市民の声ではない、公約は市長の声でありそのために施策に取り組むのはおかしくないか。議会を通すために適当な言葉を並べ、市民のためと謳い、本当に無駄遣いをしていないか。市民の生活を守るためではなく、市長の公約を守るために行政が働くのはおかしいと思う。
- ・高山はガソリンをはじめ物価が高いと感じる。
- ・市で豊かに生きるため、ボランティア等市に協力したいと思っているが、どうすればいいのかわからない。
- ・今は自分で運転できるのでいいが、それが出来なくなればここでの暮らしは諦めなければいけないのかと思うと不安である。まち協の活動は、地域格差が大きいように思う。なんとかここで幸せに暮らし続けられるよう自分でも考えてみようと思う。行政にも期待している。
- ・合併前の話ではあるが、当時の議長が苦渋の選択で合併するが、今からは組織も大きくなり暮らしも豊かになっていくと話していた。しかし依然として、合併前の方がよかったように思う。
- ・60代になり孫と生活して市がこどもの住みやすいまちになってほしいと思うことが多くなった。高齢者やこどもが笑顔で過ごす時間があれば、ふるさととして愛されるまちになると思う。
- ・観光客が来ればそれでいいという感じのまちになってきていることを年々強く感じる。一部の儲け主義ではなく、そこに暮らしている人、特にこどもとその親が幸せな顔をしているかが大事だと思う。
- ・市内に娯楽施設が少ない。映画館もない。医療福祉も遅れている。
- ・観光客の増加でにぎわっているが、地域住民としては物価の上昇で気軽に市内を楽しめないなど生活しづらくなっている。市営駐車場や宿泊施設の割引など、市民の特権や優遇制度を設けて市民でよかったと思えるようにしてほしい。
- ・市域が広いので末端までなかなか目が届いていないように思う。自然の素晴らしいところがたくさんある。手をあまり加えることなく、多くの人に知ってもらえればと思う。宇津江四十八滝なども外国人が多いが、もっと地元の人にも来て欲しい。
- ・花里地区に住んでいるが、近隣の町内も含め小中学校に通っているこどもがいないのか、こどもの声が聞こえない年寄りの町になっている。観光客が来る町でもない。町の中に小さくても憩える公園があればいいねという声をよく聞く。お年寄りほとんど家にこもったきりである。八軒町通りから北方面に、人が集える魅力があればいつも思う。
- ・平成の大合併で周辺部の土地や家屋の固定資産評価が途端に高騰し、昭和50年半ばに建て替えた家屋の資産税が半世紀経過の現在も年30万円弱支払い続け、後継者もおらず、これからどうすればいいか大変苦慮しているとの声をよく聞く。高山地域と支所地域の格差を見直し、皆が安心して暮らせる市政を行ってほしい。
- ・市の取組みが少しでも市民に認められるように、無理のない目標を立てることが大事だと思う。
- ・交通の便が悪く、富山や愛知に行くのに2時間掛かるのが負担。買い物が不便なのでイオンやコストコなど大型スーパーを誘致してほしい。医療体制も弱く、皮膚科や小児科は少ないうえに医師が高齢化している。観光に力を入れているが、市民は住みにくくなるばかりだ。
- ・市がどのようなことを行っているのかよくわからない。市民と行政の距離感がまだまだあると思う。若年層の雇用も今後どのようにしていくのか、具体的に検討してほしい。

- ・ 若者にとって魅力がある職場や遊び場がないから高山から外に出て行ってしまう。他市に比べて市県民税が高いから誰も戻ってこない。高山祭は春も秋も町内任せで限界がきている。年寄りばかりで若者は出ないから、高山祭の日だけ市役所を休みにして市の職員が手伝うなりしないと、維持ができないと思う。
- ・ 人口減少・少子化対策を考えたので列挙する。
 - 若者の経済不安を解消し、定住移住を図る
 - 若者の出会いの機会を増やすための方策を確立する
 - 子育て・養育等に対し、資金の支援策を強化する
 - 子育て・定住・移住支援のために外国語教育を充実させる
 - 観光・産業・農業の充実と経営の安定を図る
- ・ 工業・商業を活性化すれば、若者の安定した職場になり、市税の安定にも繋がると思う。林業ではもっと間伐材を活用すればいいと思う。
- ・ 高山に移住し40年が過ぎた。こどもたちも独立して夫婦だけになったが、他県に出たこどもたちも自然豊かで伝統文化のある高山出身であることが誇りのようで、郷土愛にあふれている。帰省するたびに地元の友達に会い、孫を連れて市民プールや原山公園で楽しんでおり感謝している。自身は児童関連の仕事に従事しこどもたちと関わっている。微力ながら子育ての支援ができていることを幸せに思っている。
- ・ 高山に住み続けたいと思うこども達がどれくらいいるだろうか。雇用も大切だが、高山が見世物になり、収益化・合理化に追われてしまうのが悲しい。こどもが生まれ育った場所に戻りたいと思う、または大切に思うために、こどもの時から地域に関われるように、行政として力をいれてほしい。スローガンのような目標ではなく、具体的な取り組みの効果を数値化して示すと、ムダやムリがよくわかるのではないかなと思う。
- ・ 車の運転ができなくなったときに、移動手段に不安がある。介護保険を受けるまでの間、気楽に交流し続けられるような場があると嬉しい。
- ・ 何事においてもそうだが「前例がない」という断り文句にうんざりしている。市が先進的に前例を作る市になってほしいと思う。
- ・ 市が観光にばかり力をいれているせいで市民の不満が募っている。小さいこどもが遊べる場所が少ないし、若者が働きたいと思う職場も少なすぎる。高山に帰ってきたくても、求人が少ないので市外で就職するしかない。それなのにUターン就職とかありえない。映画館もなく、市民が楽しめる場所が少なすぎる。
- ・ 夫は消防団に所属しており、真面目に参加しているだけで悪くないが、全く応援する気持ちにもなれなかった。出初め式など素晴らしいところもあるが、消防団の飲み会や旅行はとても下品だと聞いている。古い悪しき習慣やよく分からないしがらみやしきたりは時代遅れだと思う。



高 山 市
まちづくりアンケート